

資 料 編

目 次

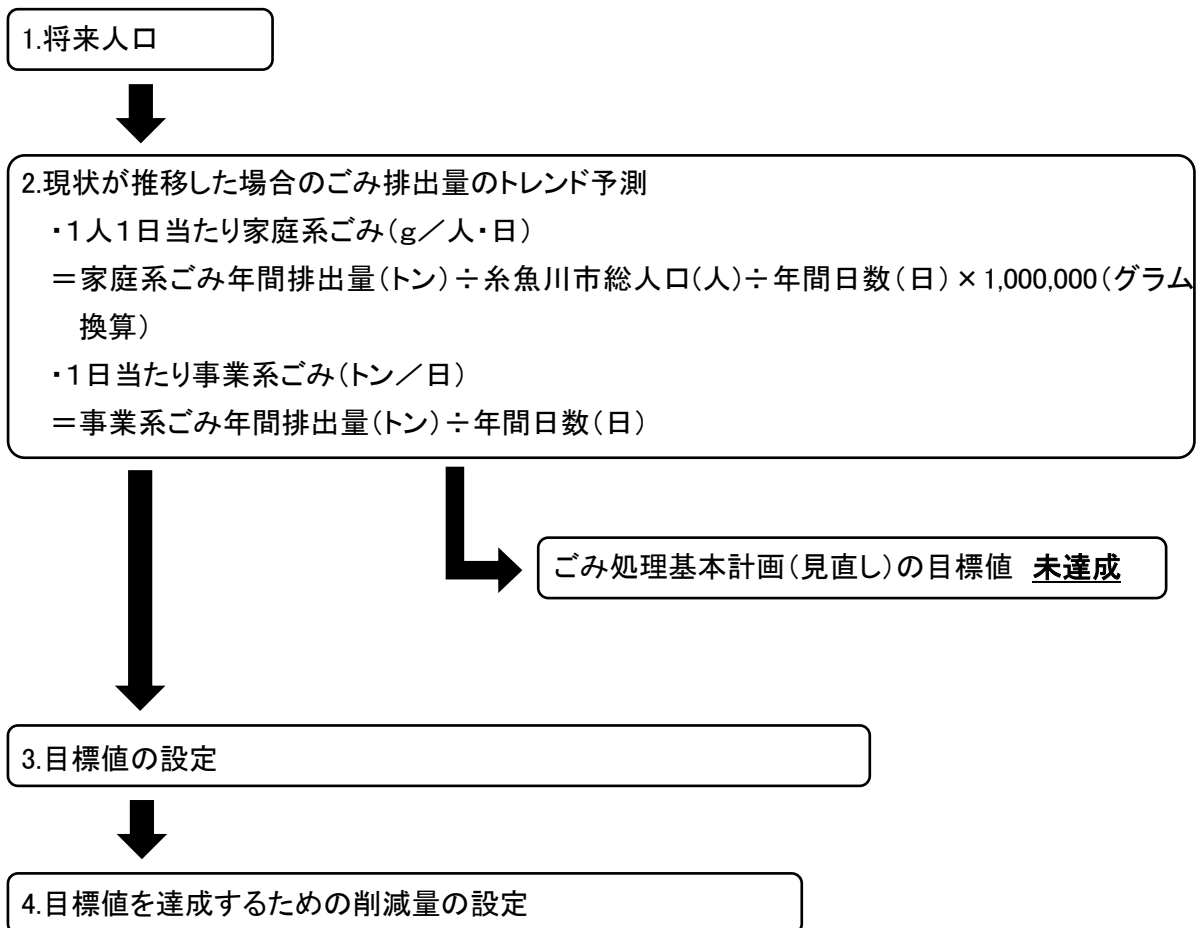
糸魚川市のごみ排出量の予測と目標	資-1
1.計画期間及び目標年度	資-2
2.将来人口	資-3
3.現状の傾向が推移した場合のごみ排出量の予測	資-4
4.目標値の設定（県等の目標値を達成する場合）	資-9
5.目標値を達成するための削減量	資-11
6.削減量の詳細	資-12
 糸魚川市の生活排水の予測と目標	資-19
1.将来人口	資-20
2.現状の傾向が推移した場合の生活排水処理形態別人口の予測	資-21
3.施策を実施した場合の生活排水処理形態別人口の予測	資-22
 糸魚川市廃棄物減量等推進審議会委員	資-23
糸魚川市廃棄物減量等推進審議会における審議経過	資-24
 パブリックコメントで寄せられたご意見と市の考え方	資-25
 市民アンケート	資-26
高校生アンケート	資-43
事業所アンケート	資-59

糸魚川市のごみ排出量の予測と目標

糸魚川市の実績値に基づき、現状の傾向が推移した場合のごみ排出量の予測を行った結果、ごみ処理基本計画（見直し）の目標値（平成31年）は達成できない見通しとなりました（表2参照）。

そこで、一般廃棄物処理基本計画の策定に当たり、新たな目標値を設定し、目標を達成する場合の削減量を計算しました。

予測は次のような手順で行いました。



1. 計画期間及び目標年度

計画期間は、令和2年度を初年度とし、令和11年度までの10年間とします。

中間目標年度は、令和7年度とします。また、最終計画年度の目標は令和11年度とします。

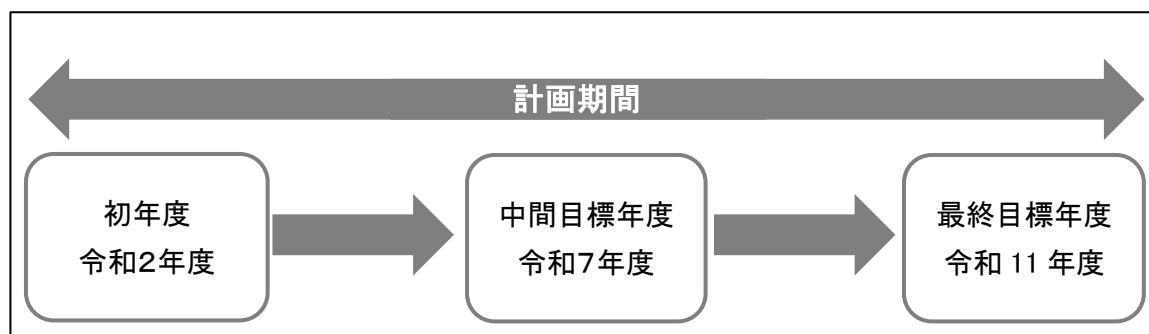


図1 目標年度

前計画では国や県の目標年度と、糸魚川市ごみ処理基本計画の目標年度を一致させていました。

しかし、下記に示すとおり、現在新潟県第2次循環型社会形成推進計画の目標年度は令和2年度であるため、今回策定の計画の中間目標年度は、第四次循環型社会形成推進基本計画の目標年度と合わせ令和7年度とします。

県の目標年度（新潟県第2次循環型社会形成推進計画）：令和2年度

国の目標年度（第四次循環型社会形成推進基本計画）：令和7年度



今回策定の糸魚川市一般廃棄物処理基本計画 中間目標年度：令和7年度
最終目標年度：令和11年度

2. 将来人口

今回策定する計画で使用する人口の実績や将来人口は以下のとおりとします。

- 総人口実績：住民基本台帳人口（各年4月1日）
- 将来人口：人口ビジョン¹の推計値（令和7年、12年） 推計値間は直線補完した値

表1 総人口の実績と将来人口

年	実績	人口ビジョン	将来人口
H26.4.1	46,144		
H27.4.1	45,493		
H28.4.1	44,769		
H29.4.1	43,961		
H30.4.1	43,352		
R7(中間目標年度)		40,745	40,745
11(目標年度)			39,125
12		38,720	

※実績値は各年4月1日（住民基本台帳人口）

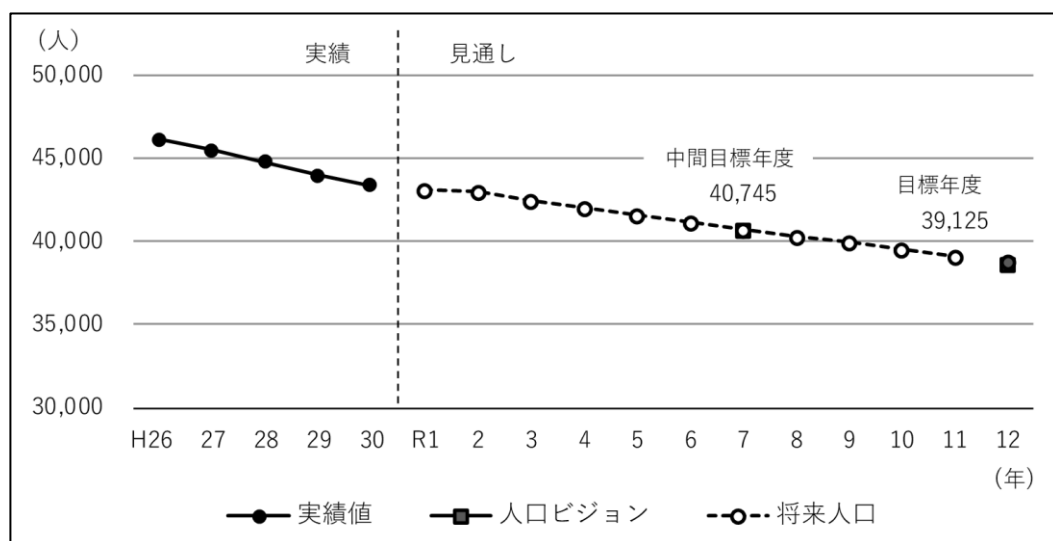


図2 総人口の実績と将来人口

¹ 人口ビジョン:平成30年11月30日 第1次改訂の「糸魚川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」であり、本市の人口の現状と将来展望を示した統計資料です。

3. 現状の傾向が推移した場合のごみ排出量の予測

現状の傾向が推移した場合のごみ排出量と見直し計画の目標値（令和元年度）を比較しました。

現状の傾向が推移した場合のごみ排出量は、人口ビジョンにおける推計値やごみ排出量の実績の傾向（トレンド予測）に基づき予測を行いました。

予測の結果、令和元年度のごみ排出量は 1,006g/人日となり、見直し計画の目標値を達成できない予測となりました。また、令和 11 年度のごみ排出量は 1,024 g となり、その後も増加する傾向となりました。

表 2 現状の傾向が推移した場合のごみ排出量

		見直し 計画 目標値	現状の傾向が 推移した場合			
		R元 (2019)	実績値	R元 (2019)	R7 (2025)	R11 (2029)
			H30 (2018)			
1人1日当たり排出量	g/人日	924	1,005	1,006	1,016	1,024
1人1日当たり家庭系ごみ (資源除く)	g/人日	584	635	635	635	635
事業系ごみ	t/年	2,300	2,688	2,697	2,690	2,690
総排出量	t/年	14,542	15,902	15,888	15,109	14,617

□は目標値未達成

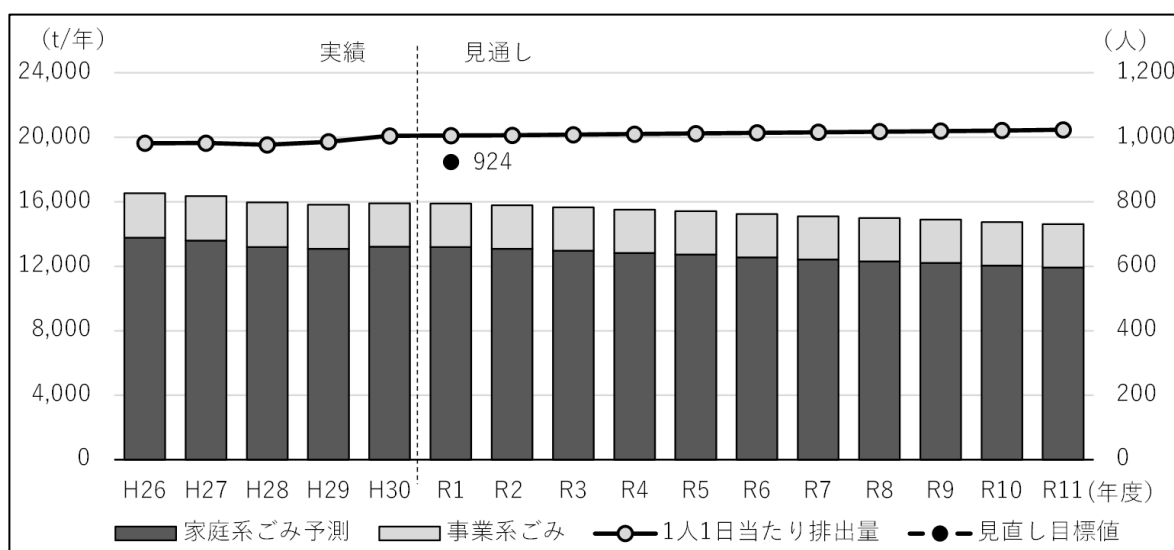


図 3 現状の傾向が推移した場合のごみ排出量

表 3 現状の傾向が推移した場合のごみ排出量(一覧)(1)

項目\年度	単位	実績					見通し				
		H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(1) 総人口（住民基本台帳4月1日）	人	46,144	45,493	44,769	43,961	43,352	43,156	42,960	42,517	42,074	41,631
(2) 日数	日	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366
(3) ごみ排出量	t/年	16,535.805	16,357.391	15,967.176	15,825.223	15,902.293	15,888	15,785	15,650	15,514	15,421
(4) 燃やせるごみ	t/年	12,255.695	12,068.120	11,833.255	11,781.765	11,764.740	11,756	11,683	11,590	11,497	11,435
(5) 燃やせないごみ	t/年	990.920	1,047.400	956.370	900.390	969.790	970	963	953	943	936
(6) 資源ごみ	t/年	3,289.190	3,241.871	3,177.551	3,143.068	3,167.763	3,162	3,139	3,107	3,074	3,050
(7) 家庭系ごみ	t/年	13,767.150	13,600.201	13,196.281	13,094.288	13,214.698	13,191	13,095	12,960	12,824	12,724
(8) 燃やせるごみ	t/年	9,506.620	9,333.310	9,084.320	9,072.710	9,097.575	9,081	9,015	8,922	8,829	8,760
(9) 委託	t/年	9,230.710	9,010.565	8,784.210	8,746.120	8,765.765	8,750	8,687	8,597	8,508	8,441
(10) 持込	t/年	187.690	229.490	205.300	204.405	201.275	201	199	197	195	194
(11) 免除	t/年	88.220	93.255	94.810	122.185	130.535	130	129	128	126	125
(12) 燃やせないごみ	t/年	971.340	1,025.020	934.410	878.510	949.360	948	941	931	921	914
(13) 委託	t/年	952.940	1,006.455	915.120	853.375	926.060	925	918	908	898	892
(14) 持込	t/年	18.400	18.565	19.290	25.135	23.300	23	23	23	23	22
(15) 資源ごみ	t/年	3,289.190	3,241.871	3,177.551	3,143.068	3,167.763	3,162	3,139	3,107	3,074	3,050
(16) プラスチック容器包装	t/年	399.019	391.500	394.575	399.757	399.215	399	396	392	387	384
(17) 白色トレイ	t/年	6.222	5.738	5.230	4.932	4.770	5	5	5	5	5
(18) ペットボトル	t/年	113.368	116.435	116.223	116.182	124.422	124	123	122	121	120
(19) びん類	t/年	335.325	343.883	329.184	328.973	311.919	311	309	306	303	300
(20) 金物類、小型家電類	t/年	574.510	576.105	557.420	545.900	573.015	572	568	562	556	552
(21) 紙パック	t/年	7.610	7.710	7.175	6.900	6.870	7	7	7	7	7
(22) 紙類	t/年	1,573.755	1,522.450	1,496.805	1,443.510	1,440.395	1,438	1,427	1,411	1,397	1,387
(23) 布類	t/年	173.475	165.015	160.920	168.225	180.075	180	178	177	175	173
(24) 紙シュレッダー	t/年	48.220	53.680	44.210	45.910	46.590	46	46	46	45	45
(25) 廃乾電池・蛍光灯等	t/年	32.050	32.615	31.769	29.719	30.362	30	30	30	29	29
(26) 廃食用油	t/年	25.636	26.740	34.040	53.060	50.130	50	50	49	49	48
(27) 事業系ごみ	t/年	2,768.655	2,757.190	2,770.895	2,730.935	2,687.595	2,697	2,690	2,690	2,690	2,697
(28) 燃やせるごみ	t/年	2,749.075	2,734.810	2,748.935	2,709.055	2,667.165	2,675	2,668	2,668	2,668	2,675
(29) 燃やせないごみ	t/年	19.580	22.380	21.960	21.880	20.430	22	22	22	22	22

項目\年度	単位	実績					見通し				
		H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(30) 1人1日当たりの排出量	g/人日	981.79	982.40	977.14	986.26	1,004.98	1,005.88	1,006.67	1,008.46	1,010.22	1,012.08
(31) 家庭系ごみ	g/人日	817.40	816.81	807.57	816.06	835.13	835.13	835.13	835.13	835.13	835.13
(32) 燃やせるごみ	g/人日	564.44	560.54	555.93	565.43	574.94	574.94	574.94	574.94	574.94	574.94
(33) 燃やせないごみ	g/人日	57.67	61.56	57.18	54.75	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(34) 資源ごみ	g/人日	195.29	194.70	194.46	195.88	200.19	200.19	200.19	200.19	200.19	200.19
(35) 家庭系ごみ（資源除く）	g/人日	622.11	622.11	613.11	620.18	634.94	634.94	634.94	634.94	634.94	634.94
(36) 1人1日当たり排出量（資源除く）	g/人日	786.50	787.70	782.69	790.37	804.79	805.69	806.48	808.25	810.05	811.91
(37) 1日当たりの事業系ごみ	t/日	7.59	7.53	7.59	7.48	7.36	7.37	7.37	7.37	7.37	7.37
(38) 燃やせるごみ	t/日	7.53	7.47	7.53	7.42	7.31	7.31	7.31	7.31	7.31	7.31
(39) 燃やせないごみ	t/日	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06

表 3 現状の傾向が推移した場合のごみ排出量(一覧)(2)

項目\年度	単位	見通し						備考 (予測部分の算出式)
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(1) 総人口 (住民基本台帳4月1日)	人	41,188	40,745	40,340	39,935	39,530	39,125	R7は人口ビジョン
(2) 日数	日	365	365	365	366	365	365	年間日数
(3) ごみ排出量	t/年	15,245	15,109	14,986	14,903	14,739	14,617	(7) + (27)
(4) 燃やせるごみ	t/年	11,311	11,218	11,133	11,078	10,963	10,879	(8) + (28)
(5) 燃やせないごみ	t/年	924	914	905	899	888	879	(12) + (29)
(6) 資源ごみ	t/年	3,010	2,977	2,948	2,926	2,888	2,859	(15)
(7) 家庭系ごみ	t/年	12,555	12,419	12,296	12,206	12,049	11,927	Σ ((8)、 (12) 、 (15))
(8) 燃やせるごみ	t/年	8,643	8,550	8,465	8,403	8,295	8,211	(32) * (1) * (2) /10^6
(9) 委託	t/年	8,328	8,239	8,157	8,097	7,993	7,913	(8) - (10) - (11)
(10) 持込	t/年	191	189	187	186	183	181	(8) * H30年度の割合
(11) 免除	t/年	124	122	121	120	119	117	(8) * H30年度の割合
(12) 燃やせないごみ	t/年	902	892	883	877	866	857	(33) * (1) * (2) /10^6
(13) 委託	t/年	880	870	861	856	845	836	(12) - (14)
(14) 持込	t/年	22	22	22	21	21	21	(12) * 年度の割合
(15) 資源ごみ	t/年	3,010	2,977	2,948	2,926	2,888	2,859	(34) * (1) * (2) /10^6
(16) プラスチック容器包装	t/年	379	375	371	369	364	360	(1) * (2) * H30年度の排出量
(17) 白色トレイ	t/年	5	4	4	4	4	4	(1) * (2) * H30年度の排出量
(18) ペットボトル	t/年	118	117	116	115	113	112	(1) * (2) * H30年度の排出量
(19) びん類	t/年	296	293	290	288	284	281	(1) * (2) * H30年度の排出量
(20) 金物類、小型家電類	t/年	544	539	533	529	522	517	(1) * (2) * H30年度の排出量
(21) 紙バック	t/年	6	6	6	6	6	6	(1) * (2) * H30年度の排出量
(22) 紙類	t/年	1,370	1,354	1,342	1,332	1,315	1,302	(15) - Σ ((16)～(21)、 (23)～(26))
(23) 布類	t/年	171	169	168	166	164	163	(1) * (2) * H30年度の排出量
(24) 紙シュレッダー	t/年	44	44	43	43	42	42	(1) * (2) * H30年度の排出量
(25) 廃乾電池・蛍光管等	t/年	29	29	28	28	28	27	(1) * (2) * H30年度の排出量
(26) 廃食用油	t/年	48	47	47	46	46	45	(1) * (2) * H30年度の排出量
(27) 事業系ごみ	t/年	2,690	2,690	2,690	2,697	2,690	2,690	(28) + (29)
(28) 燃やせるごみ	t/年	2,668	2,668	2,668	2,675	2,668	2,668	(2) * (38)
(29) 燃やせないごみ	t/年	22	22	22	22	22	22	(2) * (39)

項目\年度	単位	見通し						備考 (予測部分の算出式)
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(30) 1人1日当たりの排出量	g/人日	1,014.06	1,015.94	1,017.79	1,019.62	1,021.52	1,023.55	(3) / (1) / (2) *10^6
(31) 家庭系ごみ	g/人日	835.13	835.13	835.13	835.13	835.13	835.13	Σ ((32) ～ (34))
(32) 燃やせるごみ	g/人日	574.94	574.94	574.94	574.94	574.94	574.94	H30年度実績
(33) 燃やせないごみ	g/人日	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	H30年度実績
(34) 資源ごみ	g/人日	200.19	200.19	200.19	200.19	200.19	200.19	H30年度実績
(35) 家庭系ごみ (資源除く)	g/人日	634.94	634.94	634.94	634.94	634.94	634.94	(31) - (34)
(36) 1人1日当たり排出量 (資源除く)	g/人日	813.84	815.77	817.57	819.43	821.36	823.35	((3) - (6))/(1) / (2) *10^6
(37) 1日当たりの事業系ごみ	t/日	7.37	7.37	7.37	7.37	7.37	7.37	(38) + (39)
(38) 燃やせるごみ	t/日	7.31	7.31	7.31	7.31	7.31	7.31	H30年度実績
(39) 燃やせないごみ	t/日	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	H30年度実績

表 4 現状の傾向が推移した場合の処理処分量(一覧)(1)

項目\年度		単位	実績					見通し				
			H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(40)	燃やせるごみ処理量	t/年	12,255.695	12,068.120	11,833.255	11,781.765	11,764.740	11,756	11,683	11,590	11,497	11,435
(41)	処理内訳	炭化物（資源）	t/年	2,771.000	2,725.000	2,709.000	2,713.000	2,635.000	2,633	—	—	—
(42)		鉄（資源）	t/年	12.000	9.000	9.000	8.600	9.600	9	—	—	—
(43)		アルミ（資源）	t/年	1.000	1.000	0.300	0.500	0.800	1	—	—	—
(44)		ばいじん	t/年	286.000	262.000	266.000	288.000	337.000	336	334	331	329
(45)		焼却残渣	t/年	—	—	—	—	—	—	1,285	1,275	1,265

項目\年度		単位	実績					見通し				
			H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(46)	資源化処理量（燃やせないごみ）	t/年	990.920	1,047.400	956.370	900.390	969.790	970	963	953	943	936
(47)	処理内訳	プラスチック（資源）	t/年	527.180	535.740	528.970	505.790	508.340	508	505	500	494
(48)		金属類（資源）	t/年	87.960	107.180	57.460	109.050	110.050	110	109	108	107
(49)		ガラス類（資源）	t/年	34.790	49.630	57.670	58.820	66.470	66	66	65	64
(50)		不燃残渣（資源）	t/年			24.440	145.950	193.770	194	192	190	188
(51)		ビデオテープ（資源）	t/年	9.310	27.340	9.270	5.120	12.010	12	12	12	12
(52)		不燃残渣	t/年	331.680	327.510	278.560	139.810	125.660	126	125	124	122

項目\年度		単位	実績					見通し				
			H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(53)	資源化量	t/年	6,732.430	6,696.761	6,573.661	6,689.898	6,703.803	6,695	5,308	5,257	5,205	5,168
(54)	炭化物	t/年	2,771.000	2,725.000	2,709.000	2,713.000	2,635.000	2,633	—	—	—	—
(55)	焼却灰セメント原料	t/年	—	—	—	—	—	—	1,285	1,275	1,265	1,258
(56)	プラスチック（処理後資源）	t/年	527.180	535.740	528.970	505.790	508.340	508	505	500	494	491
(57)	金属類（処理後資源）	t/年	100.960	117.180	66.760	118.150	120.450	120	109	108	107	106
(58)	ガラス類（処理後資源）	t/年	34.790	49.630	57.670	58.820	66.470	66	66	65	65	64
(59)	その他（処理後資源）	t/年	9.310	27.340	33.710	151.070	205.780	206	204	202	200	199
(60)	プラスチック容器包装	t/年	399.019	391.500	394.575	399.757	399.215	399	396	392	387	384
(61)	白色トレイ	t/年	6.222	5.738	5.230	4.932	4.770	5	5	5	5	5
(62)	ペットボトル	t/年	113.368	116.435	116.223	116.182	124.422	124	123	122	121	120
(63)	びん類	t/年	335.325	343.883	329.184	328.973	311.919	311	309	306	303	300
(64)	金物類、小型家電類	t/年	574.510	576.105	557.420	545.900	573.015	572	568	562	556	552
(65)	紙パック	t/年	7.610	7.710	7.175	6.900	6.870	7	7	7	7	7
(66)	紙類	t/年	1,573.755	1,522.450	1,496.805	1,443.510	1,440.395	1,438	1,427	1,411	1,397	1,387
(67)	布類	t/年	173.475	165.015	160.920	168.225	180.075	180	178	177	175	173
(68)	紙シュレッダー	t/年	48.220	53.680	44.210	45.910	46.590	46	46	46	45	45
(69)	廃乾電池・蛍光灯等	t/年	32.050	32.615	31.769	29.719	30.362	30	30	30	29	29
(70)	廃食用油	t/年	25.636	26.740	34.040	53.060	50.130	50	50	49	49	48
(71)	リサイクル率（資源ごみのみ）	%	19.9%	19.8%	19.9%	19.9%	19.9%	19.9%	19.9%	19.9%	19.8%	19.8%
(72)	リサイクル率	%	40.7%	40.9%	41.2%	42.3%	42.2%	42.1%	33.6%	33.6%	33.6%	33.5%

項目\年度		単位	実績					見通し				
			H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(73)	最終処分量	t/年	617.680	589.510	544.560	427.810	462.660	462	459	455	451	448
(74)	ばいじん等	t/年	286.000	262.000	266.000	288.000	337.000	336	334	331	329	327
(75)	焼却灰等	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(76)	不燃残渣	t/年	331.680	327.510	278.560	139.810	125.660	126	125	124	122	121

表 4 現状の傾向が推移した場合の処理処分量(一覧)(2)

項目\年度		単位	見通し						備考（予測部分の算出式）
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(40)	燃やせるごみ処理量	t/年	11,311	11,218	11,133	11,078	10,963	10,879	(4) と同値
(41)	処理内訳	炭化物（資源）	t/年	—	—	—	—	—	(40) * H30年度の割合
(42)		鉄（資源）	t/年	—	—	—	—	—	(40) * H30年度の割合
(43)		アルミ（資源）	t/年	—	—	—	—	—	(40) * H30年度の割合
(44)		ばいじん	t/年	323	321	318	317	314	(40) * H30年度の割合
(45)		焼却残渣	t/年	1,244	1,234	1,225	1,219	1,206	(40) * 0.11

項目\年度		単位	見通し						備考（予測部分の算出式）
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(46)	資源化処理量（燃やせないごみ）	t/年	924	914	905	899	888	879	(5) と同値
(47)	処理内訳	プラスチック（資源）	t/年	484	479	474	471	465	(46) * H30年度の割合
(48)		金属類（資源）	t/年	105	104	103	102	101	(46) * H30年度の割合
(49)		ガラス類（資源）	t/年	63	63	62	62	61	(46) * H30年度の割合
(50)		不燃残渣（資源）	t/年	185	183	181	180	177	(46) * H30年度の割合
(51)		ビデオテープ（資源）	t/年	11	11	11	11	11	(46) * H30年度の割合
(52)		不燃残渣	t/年	120	118	117	117	115	(46) * H30年度の割合

項目\年度		単位	見通し						備考（予測部分の算出式）
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(53)	資源化量	t/年	5,102	5,051	5,004	4,971	4,909	4,864	Σ（(54) ～ (70)）
(54)	炭化物	t/年	—	—	—	—	—	—	(41) と同値
(55)	焼却灰セメント原料	t/年	1,244	1,234	1,225	1,219	1,206	1,197	焼却灰のセメント原料化
(56)	プラスチック（処理後資源）	t/年	484	479	474	471	465	461	(47) と同値
(57)	金属類（処理後資源）	t/年	105	104	103	102	101	100	(42) + (43) + (48)
(58)	ガラス類（処理後資源）	t/年	63	63	62	62	61	60	(49) と同値
(59)	その他（処理後資源）	t/年	196	194	192	191	188	187	(50) + (51)
(60)	プラスチック容器包装	t/年	379	375	371	369	364	360	(16) と同値
(61)	白色トレイ	t/年	5	4	4	4	4	4	(17) と同値
(62)	ペットボトル	t/年	118	117	116	115	113	112	(18) と同値
(63)	びん類	t/年	296	293	290	288	284	281	(19) と同値
(64)	金物類、小型家電類	t/年	544	539	533	529	522	517	(20) と同値
(65)	紙パック	t/年	6	6	6	6	6	6	(21) と同値
(66)	紙類	t/年	1,370	1,354	1,342	1,332	1,315	1,302	(22) と同値
(67)	布類	t/年	171	169	168	166	164	163	(23) と同値
(68)	紙シュレッダー	t/年	44	44	43	43	42	42	(24) と同値
(69)	廃乾電池・蛍光灯等	t/年	29	29	28	28	28	27	(25) と同値
(70)	廃食用油	t/年	48	47	47	46	46	45	(26) と同値
(71)	リサイクル率（資源ごみのみ）	%	19.7%	19.7%	19.7%	19.6%	19.6%	19.6%	(6) / (3) *100
(72)	リサイクル率	%	33.5%	33.4%	33.4%	33.4%	33.3%	33.3%	(53) / (3) *100

項目\年度		単位	見通し						備考（予測部分の算出式）
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(73)	最終処分量	t/年	443	439	435	434	429	425	(74) + (76)
(74)	ばいじん等	t/年	323	321	318	317	314	311	(44) と同値
(75)	焼却灰等	t/年	—	—	—	—	—	—	全量リサイクル
(76)	不燃残渣	t/年	120	118	117	117	115	114	(52) と同値

4. 目標値の設定（県等の目標値を達成する場合）

国や県では循環型社会の構築を進めるために、これまでに、第四次循環型社会形成推進基本計画（国の目標値が定められている）、新潟県第2次循環型社会形成推進計画（県の目標値が定められている）を策定してきました。本市でも循環型社会の構築を推進するために、今回の市の計画を策定するにあたり、国や県の計画の目標値を参考に新たな市の目標値を設定することとしました。

表 5 目標値（県等の目標値を達成する場合）

	実績値		目標値		目標値の設定の根拠
	H12 (2000)	H25 (2014)	R7 (2025)	R11 (2029)	
1人1日当たりごみ排出量 (g/人日)	-	-	911	909	総排出量÷人口÷365×1,000,000（グラム換算） $911 = 13,554 \div \text{令和7年度人口} 40,745 \div 365 \times 1,000,000$ 糸魚川市の令和7年度家庭系ごみ＝ 11,436 糸魚川市の令和7年度事業系ごみ＝ 2,118 糸魚川市の令和7年度総排出量＝ 13,554 $909 = 12,985 \div \text{令和11年度人口} 39,125 \div 365 \times 1,000,000$ 糸魚川市の令和11年度家庭系ごみ＝ 10,867 糸魚川市の令和11年度事業系ごみ＝ 2,118 糸魚川市の令和11年度総排出量＝ 12,985
1人1日当たり家庭系ごみ (資源除く) (g/人日)	-	626	551	543	R7年度においてH25年度実績に対し12%減 12%の計算方法 第2次新潟県資源循環型社会推進計画より (H25年度798g-R2年度目標700g)/798g R11年度においてH25年度実績に対し13.3%減
事業系ごみ (t/年)	3,472	-	2,118	2,118	R7年度においてH12年度実績に対し39%減 39%減の計算方法 第四次循環型社会形成推進基本計画より (H12年度1,799万t-R7年度目標1,100万t)/1,799万t R11年度においてH12年度実績に対し39%減

- ・家庭系ごみ(資源除く) : 県の基準、令和7年度に平成25年度から12%削減
令和11年度に平成25年度から13.3%削減
- ・事業系ごみ : 国の基準、令和7年度に平成12年度から39%削減
令和11年度に平成12年度から39%削減

中間目標年度の令和7年度の目標値を、1人1日当たり家庭系ごみ（資源除く）では、平成25年度から12%削減し、551g/人日とします。事業系ごみは平成12年度から39%削減し、2,118t/年とします。1人1日当たりごみ排出量は、総排出量から算出し、911g/人日とします。

また、最終計画年度の令和11年度の目標値を、1人1日当たり家庭系ごみ（資源除く）では、プラスチック類、食品ロスの削減をさらに推進することにより平成25年度から13.3%削減し、543g/人日とします。事業系ごみは2,118t/年を維持するものとします。1人1日当たりごみ排出量は909g/人日とします。

表 6 目標値設定の考え方

糸魚川市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）				
目標年度 平成27年度				
	目標値	設定基準	根拠	
1人1日当たり家庭系ごみ（資源除く）	g/人日	550	平成12年度実績に対し約20%減	第二次循環型社会形成推進基本計画
事業系ごみ	t/年	2,700	平成12年度実績に対し約20%減	第二次循環型社会形成推進基本計画
1人1日当たりごみ排出量	g/人日	890	平成12年度実績に対し約10%減	第二次循環型社会形成推進基本計画



糸魚川市一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）中間見直し				
目標年度 令和元年度				
	目標値	設定基準	根拠	
1人1日当たり家庭系ごみ（資源除く）	g/人日	584	平成25年度実績に対し約8%減	第2次新潟県資源循環型社会推進計画 (県の平成25年度1,039g・県の目標値957g)/1,039g=約8%
事業系ごみ	t/年	2,300	平成12年度実績に対し約35%減	第三次循環型社会形成推進基本計画 (国の平成12年度1,799万t・国の目標値1,170万t)/1,799万t=約35%
1人1日当たりごみ排出量	g/人日	924	総排出量÷人口÷365×1,000,000（グラム換算） =14,542÷令和元年度人口43,110÷365×1,000,000	糸魚川市の令和元年度家庭系ごみ= 12,342 糸魚川市の令和元年度事業系ごみ= 2,300 糸魚川市の令和元年度総排出量= 14,542



新糸魚川市一般廃棄物基本計画				
目標年度 令和7年度				
	目標値	設定基準	根拠	
1人1日当たり家庭系ごみ（資源除く）	g/人日	551	平成25年度実績に対し12%減	第2次新潟県資源循環型社会推進計画 (県の平成25年度798g・県の目標値700g)/798g=12% 平成25年度626g×(100%-12%)=551g H30年度636g-削減量84g=551g
事業系ごみ	t/年	2,118	平成12年度実績に対し39%減	第四次循環型社会形成推進基本計画 (国の平成12年度1,799万t・国の目標値1,100万t)/1,799万t=39% 平成12年度3,472t×(100%-39%)=2,118t 1人1日当たりの事業系ごみH30年度170g-削減量28g=142g H30年度2,688t÷H30人口43,352人÷365日×1,000,000(トン換算)=170g R7年度2,118t÷R7人口40,745人÷365日×1,000,000(トン換算)=142g
1人1日当たりごみ排出量	g/人日	911	総排出量÷人口÷365×1,000,000（グラム換算） =13,554÷令和7年度人口40,745÷365×1,000,000	糸魚川市の令和7年度家庭系ごみ= 11,436g 家庭系ごみ=燃やせるごみ7,491t+燃やせないごみ703t+資源ごみ3,242t=11,436t 燃やせるごみ=497g×R7人口40,745人×365日÷1,000,000(トン換算)+プラ100t=7,491t 燃やせないごみ=54g×R7人口40,745人×365日÷1,000,000(トン換算)+プラ100t=703t 資源ごみ=218g×R7人口40,745人×365日÷1,000,000(トン換算)=3,242t 1人1日当たり家庭系燃やせるごみ 497g H30年度1人1日当たり家庭系燃やせるごみ575g-削減目標量78g=497g 1人1日当たり家庭系燃やせないごみ 54g H30年度1人1日当たり家庭系燃やせないごみ60g-削減目標量6g=54g 1人1日当たり家庭系資源ごみ 218g H30年度1人1日当たり家庭系資源ごみ200g+燃やせるごみからの分別目標量18g=218g 糸魚川市の令和7年度事業系ごみ= 2,118g 糸魚川市の令和7年度総排出量= 13,554g 1人1日当たりごみ排出量911g=H30年度1,005g-家庭系削減目標66g-事業系削減目標28g
目標年度 令和11年度				
	目標値	設定基準	根拠	
1人1日当たり家庭系ごみ（資源除く）	g/人日	543	平成25年度実績に対し13.3%減	発生抑制の取り組みを更に進める。 R7年度1人1日当たり家庭系ごみ（資源除く）551g-削減努力8g=543g 削減努力=プラスチック類削減4g+食品ロスの削減及び水切り4g=8g プラスチック類の削減はR8年度からR11年度までに4g 食品ロスの削減及び水切りはR8年度からR11年度までに4g (H25年度1人1日当たり家庭系ごみ（資源除く）626g-R11年度543g)/626g=13.3% H30年度635g-削減量92g=543g
事業系ごみ	t/年	2,118	平成12年度実績に対し39%減	第四次循環型社会形成推進基本計画 (国の平成12年度1,799万t・国の目標値1,100万t)/1,799万t=39% 平成12年度3,472t×(100%-39%)=2,118t 1人1日当たりの事業系ごみH30年度170g-削減量22g=148g H30年度2,688t÷H30人口43,352人÷365日×1,000,000(トン換算)=170g R11年度2,118t÷R11人口39,125人÷365日×1,000,000(トン換算)=148g
1人1日当たりごみ排出量	g/人日	909	総排出量÷人口÷365×1,000,000（グラム換算） =12,985÷令和11年度人口39,125÷365×1,000,000	糸魚川市の令和11年度家庭系ごみ= 10,867g 家庭系ごみ=燃やせるごみ7,083t+燃やせないごみ671t+資源ごみ3,113t=10,867t 燃やせるごみ=489g×R11人口39,125人×365日÷1,000,000(トン換算)+プラ100t=7,083t 燃やせないごみ=54g×R11人口39,125人×365日÷1,000,000(トン換算)+プラ100t=671t 資源ごみ=218g×R11人口39,125人×365日÷1,000,000(トン換算)=3,113t 1人1日当たり家庭系燃やせるごみ 489g H30年度1人1日当たり家庭系燃やせるごみ575g-削減目標量86g=489g 1人1日当たり家庭系燃やせないごみ 54g H30年度1人1日当たり家庭系燃やせないごみ60g-削減目標量6g=54g 1人1日当たり家庭系資源ごみ 218g H30年度1人1日当たり家庭系資源ごみ200g+燃やせるごみからの分別目標量18g=218g 糸魚川市の令和11年度事業系ごみ= 2,118g 糸魚川市の令和11年度総排出量= 12,985g 1人1日当たりごみ排出量909g=H30年度1,005g-家庭系削減目標74g-事業系削減目標22g

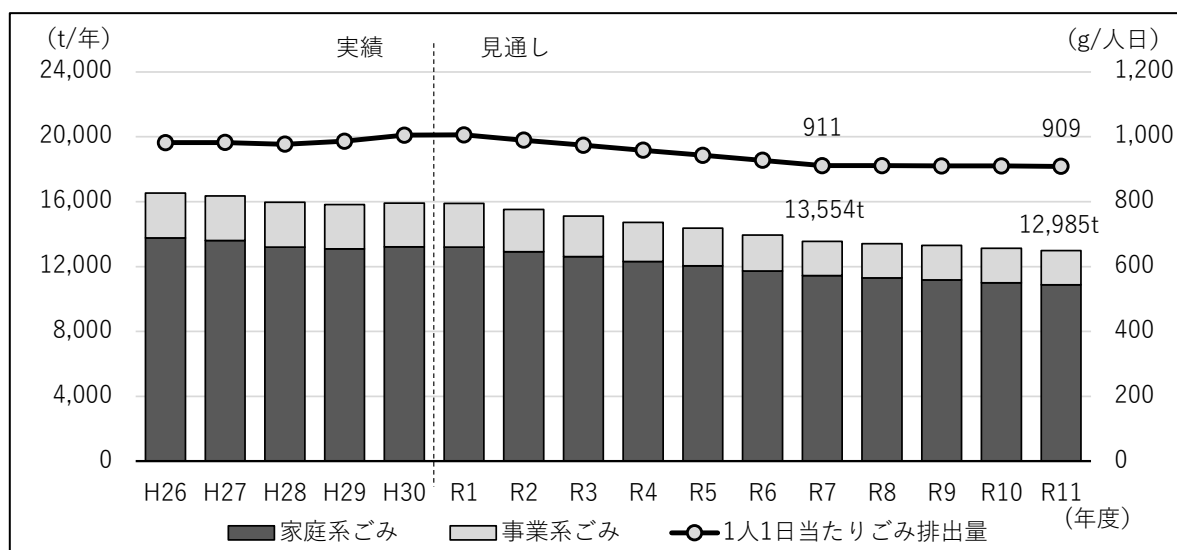


図 4 目標値を達成する場合のごみ排出量

5. 目標値を達成するための削減量

新たな目標を達成するために、次のように削減します。

目標値を達成するための削減量

- ごみ総排出量(家庭+事業) : **94g/人日(家庭系 66g+事業系 28g)**以上削減します。

(平成 30 年度実績値 1,005g/人日-令和7年度目標値 911g/人日)

- 家庭系ごみ(資源除く) : **84g/人日**以上削減します。

(平成 30 年度実績値 635g/人日-令和7年度目標値 551g/人日)

- 事業系ごみ : **570t/年(28g/人日)**以上削減します。

(平成 30 年度実績値 2,688 t/年-令和7年度目標値 2,118 t/年)

6. 削減量の詳細

排出されたごみの内、削減できそうなごみがどの程度含まれているかを算出しました。

本市では、ごみ組成分析（乾ベース）を行っています。これはごみを乾燥させた状態です。そのため、本市のごみ組成分析結果（乾ベース）（平成26年度～平成29年度）と環境省が実施している家庭ごみの組成調査（平成30年度）を組み合わせ、ごみ集積所に排出された状態に近いごみ質（湿ベース）を算出し、家庭系ごみの削減可能な量の詳細を算出しました。

燃やせるごみには紙類や厨芥類、水分が多く含まれているため、それらを削減することで目標値の達成が見込まれます。家庭系ごみは84g/人日、事業系ごみは28g/人日削減できると、3つの目標値が達成される見込みです。なお、家庭系ごみの削減量84g/人日ですが、燃やせるごみに含まれている紙類18g/人日を資源ごみに分別するため、実質66g/人日の削減となります。

表7 削減量の詳細

<家庭系ごみ>

		平均ごみ質 (湿ベース)	H30 燃やせるごみ 内訳	原単位	削減・ 増加目標	削減・ 増加割合	削減対策	
		%	t/年	g/人・日	g/人・日	%		
燃やせるごみ	組 成	紙類	37.9	3,448	218	18	8.3	紙類の分別
		布類	4.6	418	26			
		木・竹・ワラ類	17.4	1,583	100			
		プラスチック類	12.4	1,128	71	10	14.1	レジ袋の削減
		ゴム・皮革類	3.2	291	18			
		厨芥類	19.6	1,783	113	20	17.7	食べ残し等の削減
		不燃物類	0.4	36	2			
		その他	4.5	411	27			
	合計①	100.0	9,098	575	48			
	三 成 分	水分	43.1	3,917	248	30	12.1	水切りの強化
		灰分	52.5	4,779	302			
		可燃分	4.4	402	25			
		合計②	100.0	9,098	575	30		
燃やせないごみ③			949	60	6	10.0	長期使用などによる排出削減	
小計	削減目標 ①+②+③				84		=48+30+6	
資源ごみ※（組成 紙類）④			3,168	200.0	18	9.0	さらなる資源回収の促進	
合計	ごみ排出削減量 ①+②+③-④		削減目標84g - ごみを資源化する量18g = 66g					

※燃やせるごみからの分別

参考）環境省「一般廃棄物実態調査結果 施設整備状況」「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査 平成30年度調査」

<事業系ごみ>

	H30排出量内訳		削減目標		削減割合	削減対策
	t/年	g/人日	t/年	g/人日	%	
燃やせるごみ	2,667	-	570	-	21.4	紙類や厨芥類の資源化※3
燃やせないごみ	21	-	-	-	-	
削減目標 合計	2,688	170	570※1	28※2	21.2	

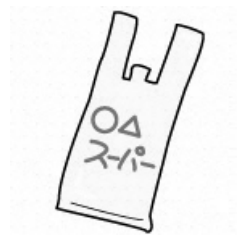
※1 2,688t-2,118tより算出しました。

※2 事業系ごみの目標値は、事業系ごみ平成30年度2,688t÷人口43,352人÷365日=170g/人日、事業系ごみ令和7年度2,118t÷人口40,745人÷365日×1,000,000（グラム換算）=142g/人日、削減量=170g/人日-142g/人日=28g/人日として算出しました。

＜削減対策例＞

●レジ袋の削減

レジ袋を含むプラスチックは燃やせるごみの12.4%を占めており、1人1日当たりに換算すると71gです。このうち約14%に当たる10gを、令和7年度までに削減する必要があります。これはレジ袋に換算すると約1枚となります（レジ袋（LL版）は1枚およそ10g）。できるだけレジ袋を断りましょう。分別して資源とすることは大切ですが、ごみとなるものを発生させないようにしましょう。



令和8年度以降は、レジ袋の削減に加えて、プラスチック類の削減を意識し、マイボトル、マイスプーン等を使用するなど、毎年1gの削減を積み重ねましょう。また、バケツ等のプラスチック製品は屋外に置いたままにすると、風で飛ばされたりして、海にまで運ばれてしまうことがあります。しっかり片付けて、海洋プラスチックごみとならないように努めましょう。

●食品ロスの削減

まだ食べることができる食品が大量に廃棄され、問題となっています。本市における厨芥類（生ごみ）は燃やせるごみの19.6%を占めており、1人1日当たりに換算すると113gです。このうち約18%に当たる20gを、令和7年度までに削減する必要があります。これはキャベツの葉約1/2枚分となります（キャベツ1枚およそ50g）。適量で無駄のない買い物、調理の工夫に取り組み、残さず食べましょう。調理くずは、生ごみ処理器などを活用し、生ごみの発生を抑制しましょう。



令和8年度以降も食品ロスの削減の取り組みに加え、外出時の注文の仕方を意識する、フードバンクに提供するなど、食品が無駄にならないように、水切りとあわせて毎年1gの削減を積み重ねましょう。

●水切りの強化

水分は燃やせるごみの半分近くを占めています。このうち、水切りなどで30gを削減する必要があります。これは大さじ2杯分となります（大さじの容量15mL（15g））。水切りの徹底を習慣にしましょう。



●紙類の資源化（家庭系ごみ（資源除く））

紙類は燃やせるごみの37.9%を占めており、1人1日当たりに換算すると218gです。このうち約8%に当たる18gを分別する必要があります。これは新聞紙に換算すると約1枚分となります。新聞だけでなく、ダイレクトメール等の分別に取り組みましょう。



県内各市町村の実績と本計画の目標を比較しました。

表 8 県内市町村の実績(平成 29 年度)と本計画の目標との比較

	1人1日当たりの 家庭系ごみ(資源除く) (単位:g)	事業系ごみ (単位:t)	1人1日当たりの ごみ排出量 (単位:g)
	本計画目標 551	本計画目標 2,118	本計画目標 911
	新潟県平均 489	新潟県平均 9,008	新潟県平均 1,017
	新潟県中央値 544	新潟県中央値 4,884	新潟県中央値 1,041
1	出雲崎町 300	粟島浦村 0	出雲崎町 716
2	長岡市 301	田上町 225	見附市 856
3	上越市 315	出雲崎町 255	長岡市 882
4	見附市 382	刈羽村 469	関川村 900
5	十日町市 432	関川村 492	聖籠町 901
6	柏崎市 436	加茂市 550	十日町市 916
7	妙高市 469	弥彦村 768	柏崎市 919
8	小千谷市 479	阿賀町 938	弥彦村 921
9	聖籠町 486	津南町 1,482	上越市 934
10	新潟市 492	湯沢町 1,778	刈羽村 967
11	新発田市 492	聖籠町 1,869	阿賀野市 979
12	刈羽村 512	糸魚川市 2,731	佐渡市 989
13	津南町 532	阿賀野市 3,486	糸魚川市 986
14	胎内市 537	佐渡市 4,404	新潟市 1,025
15	三条市 542	見附市 4,482	津南町 1,040
16	関川村 546	胎内市 5,286	阿賀町 1,041
17	魚沼市 554	小千谷市 5,728	魚沼市 1,079
18	南魚沼市 561	五泉市 5,869	田上町 1,083
19	弥彦村 575	魚沼市 6,054	小千谷市 1,090
20	燕市 603	十日町市 6,346	村上市 1,105
21	阿賀野市 610	妙高市 6,581	燕市 1,105
22	糸魚川市 620	村上市 7,137	新発田市 1,111
23	村上市 640	柏崎市 9,762	加茂市 1,133
24	佐渡市 728	南魚沼市 10,710	胎内市 1,133
25	阿賀町 743	燕市 11,098	南魚沼市 1,143
26	五泉市 776	三条市 18,053	三条市 1,166
27	湯沢町 896	新発田市 18,295	五泉市 1,183
28	加茂市 927	上越市 23,171	妙高市 1,194
29	田上町 933	長岡市 29,783	粟島浦村 1,416
30	粟島浦村 1,104	新潟市 82,442	湯沢町 1,647

※県内の各市町村の値は平成 29 年度一般廃棄物処理事業実態調査結果

表 9 目標値を達成する場合のごみ排出量(一覧)(1)

項目\年度	単位	実績					見通し				
		H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(1) 総人口（住民基本台帳4月1日）	人	46,144	45,493	44,769	43,961	43,352	43,156	42,960	42,517	42,074	41,631
(2) 日数	日	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366
(3) ごみ排出量	t/年	16,535.805	16,357.391	15,967.176	15,825.223	15,902.293	15,886	15,521	15,122	14,724	14,364
(4) 燃やせるごみ	t/年	12,255.695	12,068.120	11,833.255	11,781.765	11,764.740	11,756	11,490	11,102	10,716	10,358
(5) 燃やせないごみ	t/年	990.920	1,047.400	956.370	900.390	969.790	968	845	820	795	773
(6) 資源ごみ	t/年	3,289.190	3,241.871	3,177.551	3,143.068	3,167.763	3,162	3,186	3,200	3,213	3,233
(7) 家庭系ごみ	t/年	13,767.150	13,600.201	13,196.281	13,094.288	13,214.698	13,191	12,922	12,619	12,318	12,054
(8) 燃やせるごみ	t/年	9,506.620	9,333.310	9,084.320	9,072.710	9,097.575	9,081	8,911	8,619	8,330	8,068
(9) 委託	t/年	9,230.710	9,010.565	8,784.210	8,746.120	8,765.765	8,750	8,587	8,306	8,027	7,775
(10) 持込	t/年	187.690	229.490	205.300	204.405	201.275	201	197	190	184	178
(11) 免除	t/年	88.220	93.255	94.810	122.185	130.535	130	127	123	119	115
(12) 燃やせないごみ	t/年	971.340	1,025.020	934.410	878.510	949.360	948	825	800	775	753
(13) 委託	t/年	952.940	1,006.455	915.120	853.375	926.060	925	805	780	756	735
(14) 持込	t/年	18.400	18.565	19.290	25.135	23.300	23	20	20	19	18
(15) 資源ごみ	t/年	3,289.190	3,241.871	3,177.551	3,143.068	3,167.763	3,162	3,186	3,200	3,213	3,233
(16) プラスチック容器包装	t/年	399.019	391.500	394.575	399.757	399.215	399	396	392	387	384
(17) 白色トレイ	t/年	6.222	5.738	5.230	4.932	4.770	5	5	5	5	5
(18) ペットボトル	t/年	113.368	116.435	116.223	116.182	124.422	124	123	122	121	120
(19) びん類	t/年	335.325	343.883	329.184	328.973	311.919	311	309	306	303	300
(20) 金物類、小型家電類	t/年	574.510	576.105	557.420	545.900	573.015	572	568	562	556	552
(21) 紙バック	t/年	7.610	7.710	7.175	6.900	6.870	7	7	7	7	7
(22) 紙類	t/年	1,573.755	1,522.450	1,496.805	1,443.510	1,440.395	1,438	1,474	1,504	1,536	1,570
(23) 布類	t/年	173.475	165.015	160.920	168.225	180.075	180	178	177	175	173
(24) 紙シュレッダー	t/年	48.220	53.680	44.210	45.910	46.590	46	46	46	45	45
(25) 廃乾電池・蛍光管等	t/年	32.050	32.615	31.769	29.719	30.362	30	30	30	29	29
(26) 廃食用油	t/年	25.636	26.740	34.040	53.060	50.130	50	50	49	49	48
(27) 事業系ごみ	t/年	2,768.655	2,757.190	2,770.895	2,730.935	2,687.595	2,695	2,599	2,503	2,406	2,310
(28) 燃やせるごみ	t/年	2,749.075	2,734.810	2,748.935	2,709.055	2,667.165	2,675	2,579	2,483	2,386	2,290
(29) 燃やせないごみ	t/年	19.580	22.380	21.960	21.880	20.430	20	20	20	20	20

項目\年度	単位	実績					見通し				
		H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(30) 1人1日当たりの排出量	g/人日	981.79	982.40	977.14	986.26	1,004.98	1,005.76	989.82	974.42	958.81	942.73
(31) 家庭系ごみ	g/人日	817.40	816.81	807.57	816.06	835.13	835.13	824.13	813.13	802.13	791.13
(32) 燃やせるごみ	g/人日	564.44	560.54	555.93	565.43	574.94	574.94	561.94	548.94	535.94	522.94
(33) 紙類の分別	g/人日	-	-	-	-	-	-	3.00	6.00	9.00	12.00
(34) レジ袋の削減	g/人日	-	-	-	-	-	-	1.67	3.34	5.01	6.68
(35) プラ類削減努力	g/人日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(36) 厨芥類の削減	g/人日	-	-	-	-	-	-	3.33	6.66	9.99	13.32
(37) 水切りの徹底	g/人日	-	-	-	-	-	-	5.00	10.00	15.00	20.00
(38) 厨芥類削減努力	g/人日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(39) 燃やせないごみ	g/人日	57.67	61.56	57.18	54.75	60.00	60.00	59.00	58.00	57.00	56.00
(40) 資源ごみ	g/人日	195.29	194.70	194.46	195.88	200.19	200.19	203.19	206.19	209.19	212.19
(41) 紙類の分別	g/人日	-	-	-	-	-	-	3.00	6.00	9.00	12.00
(42) 家庭系ごみ（資源除く）	g/人日	622.11	622.11	613.11	620.18	634.94	634.94	620.94	606.94	592.94	578.94
(43) H25年度からの削減率	%	0.6%	0.6%	2.1%	0.9%	-1.4%	-1.4%	0.8%	3.0%	5.3%	7.5%
(44) R7年度からの削減量	g/人日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(45) 1人1日当たり排出量（資源除く）	g/人日	786.50	787.70	782.69	790.37	804.79	805.57	786.64	768.21	749.59	730.55
(46) 1日当たりの事業系ごみ	t/日	7.59	7.53	7.59	7.48	7.36	7.36	7.12	6.85	6.59	6.31
(47) 燃やせるごみ	t/日	7.53	7.47	7.53	7.42	7.31	7.31	7.07	6.80	6.54	6.26
(48) 燃やせないごみ	t/日	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05

表 9 目標値を達成する場合のごみ排出量(一覧)(2)

項目\年度	単位	見通し						備考(予測部分の算出式)
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(1) 総人口(住民基本台帳4月1日)	人	41,188	40,745	40,340	39,935	39,530	39,125	R7は人口ビジョン
(2) 日数	日	365	365	365	366	365	365	年間日数
(3) ごみ排出量	t/年	13,942	13,554	13,411	13,299	13,126	12,985	(7) + (27)
(4) 燃やせるごみ	t/年	9,960	9,589	9,486	9,404	9,282	9,181	(8) + (28)
(5) 燃やせないごみ	t/年	747	723	715	709	699	691	(12) + (29)
(6) 資源ごみ	t/年	3,235	3,242	3,210	3,186	3,145	3,113	(15)
(7) 家庭系ごみ	t/年	11,728	11,436	11,293	11,181	11,008	10,867	Σ((8)、(12)、(15))
(8) 燃やせるごみ	t/年	7,766	7,491	7,388	7,306	7,184	7,083	(32) * (1) * (2) / 10 ⁶ + 100(製品プラ)
(9) 委託	t/年	7,483	7,218	7,119	7,041	6,922	6,825	(8) - (10) - (11)
(10) 持込	t/年	172	166	163	161	159	157	(8) * H30年度の割合
(11) 免除	t/年	111	107	106	104	103	101	(8) * H30年度の割合
(12) 燃やせないごみ	t/年	727	703	695	689	679	671	(39) * (1) * (2) / 10 ⁶ - 100(製品プラ)
(13) 委託	t/年	709	686	678	672	662	655	(12) - (14)
(14) 持込	t/年	18	17	17	17	17	16	(12) * H30年度の割合
(15) 資源ごみ	t/年	3,235	3,242	3,210	3,186	3,145	3,113	(40) * (1) * (2) / 10 ⁶
(16) プラスチック容器包装	t/年	379	375	371	369	364	360	(1) * (2) * H30年度の排出量
(17) 白色トレイ	t/年	5	4	4	4	4	4	(1) * (2) * H30年度の排出量
(18) ペットボトル	t/年	118	117	116	115	113	112	(1) * (2) * H30年度の排出量
(19) びん類	t/年	296	293	290	288	284	281	(1) * (2) * H30年度の排出量
(20) 金物類、小型家電類	t/年	544	539	533	529	522	517	(1) * (2) * H30年度の排出量
(21) 紙バック	t/年	6	6	6	6	6	6	(1) * (2) * H30年度の排出量
(22) 紙類	t/年	1,595	1,619	1,604	1,592	1,572	1,556	(15) - Σ((16)~(21)、(23)~(26))
(23) 布類	t/年	171	169	168	166	164	163	(1) * (2) * H30年度の排出量
(24) 紙シュレッダー	t/年	44	44	43	43	42	42	(1) * (2) * H30年度の排出量
(25) 廃乾電池・蛍光灯等	t/年	29	29	28	28	28	27	(1) * (2) * H30年度の排出量
(26) 廃食用油	t/年	48	47	47	46	46	45	(1) * (2) * H30年度の排出量
(27) 事業系ごみ	t/年	2,214	2,118	2,118	2,118	2,118	2,118	R7年度=H12年度実績3472*(100%-39%)
(28) 燃やせるごみ	t/年	2,194	2,098	2,098	2,098	2,098	2,098	(27) - (29)
(29) 燃やせないごみ	t/年	20	20	20	20	20	20	H30年度実績

項目\年度	単位	見通し						備考(予測部分の算出式)
		R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(30) 1人1日当たりの排出量	g/人日	927.40	911.00	911.00	910.00	910.00	909.00	(3) / (1) / (2) * 10 ⁶
(31) 家庭系ごみ	g/人日	780.13	769.00	767.00	765.00	763.00	761.00	Σ((32)、(39)、(40))
(32) 燃やせるごみ	g/人日	509.94	497.00	495.00	493.00	491.00	489.00	H30年度実績 - Σ((33):(38))
(33) 紙類の分別	g/人日	15.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	紙類の分別
(34) レジ袋の削減	g/人日	8.35	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	レジ袋の削減
(35) プラスチック類削減努力	g/人日	-	-	1.00	2.00	3.00	4.00	プラスチック類削減努力
(36) 厨芥類の削減	g/人日	16.65	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	食べ残しの削減
(37) 水切りの徹底	g/人日	25.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	水切りの徹底
(38) 厨芥類削減努力	g/人日	-	-	1.00	2.00	3.00	4.00	厨芥類の削減や水切り努力
(39) 燃やせないごみ	g/人日	55.00	54.00	54.00	54.00	54.00	54.00	長期使用などによる排出削減
(40) 資源ごみ	g/人日	215.19	218.00	218.00	218.00	218.00	218.00	H30年度実績 + (41)
(41) 紙類の分別	g/人日	15.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00	(33) と同値
(42) 家庭系ごみ(資源除く)	g/人日	564.94	551.00	549.00	547.00	545.00	543.00	(31) - (40)
(43) H25年度からの削減率	%	9.8%	12.0%	12.3%	12.6%	12.9%	13.3%	(H25年度実績 626 - (42)) / 626
(44) R7年度からの削減量	g/人日	-	-	2.00	4.00	6.00	8.00	R7年度 - 比較年度
(45) 1人1日当たり排出量(資源除く)	g/人日	712.21	693.00	693.00	692.00	692.00	691.00	((3) - (6)) / (1) / (2) * 10 ⁶
(46) 1日当たりの事業系ごみ	t/日	6.06	5.80	5.80	5.78	5.80	5.80	(47) + (48)
(47) 燃やせるごみ	t/日	6.01	5.75	5.75	5.73	5.75	5.75	(28) / (2)
(48) 燃やせないごみ	t/日	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	(29) / (2)

表 10 目標値を達成する場合の処理処分量(一覧)(1)

項目\年度		単位	実績					見通し				
			H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(49)	燃やせるごみ処理量	t/年	12,255.695	12,068.120	11,833.255	11,781.765	11,764.740	11,756	11,490	11,102	10,716	10,358
(50)	処理内訳	炭化物	t/年	2,771.000	2,725.000	2,709.000	2,713.000	2,635.000	2,633	—	—	—
(51)		鉄	t/年	12.000	9.000	9.000	8.600	9.600	9	—	—	—
(52)		アルミ	t/年	1.000	1.000	0.300	0.500	0.800	1	—	—	—
(53)		ばいじん	t/年	286.000	262.000	266.000	288.000	337.000	336	329	318	306
(54)		焼却残渣	t/年	—	—	—	—	—	—	1,264	1,221	1,179

項目\年度		単位	実績					見通し				
			H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(55)	資源化処理量(燃やせないごみ)	t/年	990.920	1,047.400	956.370	900.390	969.790	968	845	820	795	773
(56)	処理内訳	プラスチック(処理後)	t/年	527.180	535.740	528.970	505.790	508.340	507	395	382	369
(57)		金属類(処理後)	t/年	87.960	107.180	57.460	109.050	110.050	110	107	104	102
(58)		びん類(処理後)	t/年	34.790	49.630	57.670	58.820	66.470	66	65	63	61
(59)		不燃残渣セメント	t/年	0.000	0.000	24.440	145.950	193.770	193	189	184	179
(60)		ビデオテープセメント	t/年	9.310	27.340	9.270	5.120	12.010	12	12	11	11
(61)		不燃残渣	t/年	331.680	327.510	278.560	139.810	125.660	125	122	119	116

項目\年度		単位	実績					見通し				
			H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(62)	資源化量	t/年	6,732.430	6,696.761	6,573.661	6,689.898	6,703.803	6,693	5,218	5,165	5,114	5,074
(63)	炭化物	t/年	2,771.000	2,725.000	2,709.000	2,713.000	2,635.000	2,633	—	—	—	—
(64)	焼却灰セメント原料	t/年	—	—	—	—	—	—	1,264	1,221	1,179	1,139
(65)	プラスチック(処理後)	t/年	527.180	535.740	528.970	505.790	508.340	507	395	382	369	358
(66)	金属類(処理後)	t/年	100.960	117.180	66.760	118.150	120.450	120	107	104	102	99
(67)	びん類(処理後)	t/年	34.790	49.630	57.670	58.820	66.470	66	65	63	61	60
(68)	その他	t/年	9.310	27.340	33.710	151.070	205.780	205	201	195	190	185
(69)	プラスチック容器包装	t/年	399.019	391.500	394.575	399.757	399.215	399	396	392	387	384
(70)	白色トレイ	t/年	6.222	5.738	5.230	4.932	4.770	5	5	5	5	5
(71)	ペットボトル	t/年	113.368	116.435	116.223	116.182	124.422	124	123	122	121	120
(72)	びん類	t/年	335.325	343.883	329.184	328.973	311.919	311	309	306	303	300
(73)	金物類、小型家電類	t/年	574.510	576.105	557.420	545.900	573.015	572	568	562	556	552
(74)	紙バック	t/年	7.610	7.710	7.175	6.900	6.870	7	7	7	7	7
(75)	紙類	t/年	1,573.755	1,522.450	1,496.805	1,443.510	1,440.395	1,438	1,474	1,504	1,536	1,570
(76)	布類	t/年	173.475	165.015	160.920	168.225	180.075	180	178	177	175	173
(77)	紙シュレッダー	t/年	48.220	53.680	44.210	45.910	46.590	46	46	46	45	45
(78)	廃乾電池・蛍光灯等	t/年	32.050	32.615	31.769	29.719	30.362	30	30	30	29	29
(79)	廃食用油	t/年	25.636	26.740	34.040	53.060	50.130	50	50	49	49	48
(80)	リサイクル率(資源ごみのみ)	%	19.9%	19.8%	19.9%	19.9%	19.9%	19.9%	20.5%	21.2%	21.8%	22.5%
(81)	リサイクル率	%	40.7%	40.9%	41.2%	42.3%	42.2%	42.1%	33.6%	34.2%	34.7%	35.3%

項目\年度		単位	実績					見通し				
			H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(82)	最終処分量	t/年	617.680	589.510	544.560	427.810	462.660	461	451	437	422	409
(83)	ばいじん等	t/年	286.000	262.000	266.000	288.000	337.000	336	329	318	306	296
(84)	焼却灰等	t/年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(85)	不燃残渣	t/年	331.680	327.510	278.560	139.810	125.660	125	122	119	116	113

表 10 目標値を達成する場合の処理処分量(一覧)(2)

項目\年度		単位	見通し						備考（予測部分の算出式）
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(49)	燃やせるごみ処理量	t/年	9,960	9,589	9,486	9,404	9,282	9,181	(4) と同値
(50)	処理内訳	炭化物	t/年	—	—	—	—	—	(49) * H30年度の割合
(51)		鉄	t/年	—	—	—	—	—	(49) * H30年度の割合
(52)		アルミ	t/年	—	—	—	—	—	(49) * H30年度の割合
(53)		ばいじん	t/年	285	274	271	269	265	(49) * H30年度の割合
(54)		焼却残渣	t/年	1,096	1,055	1,043	1,034	1,021	(49) * 0.11

項目\年度		単位	見通し						備考（予測部分の算出式）
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(55)	資源化処理量（燃やせないごみ）	t/年	747	723	715	709	699	691	(5) と同値
(56)	処理内訳	プラスチック（処理後）	t/年	344	331	327	324	319	((55) + 100)*H30年度の割合-100(製品プラ)
(57)		金属類（処理後）	t/年	96	93	93	92	91	((55) + 100)*H30年度の割合
(58)		びん類（処理後）	t/年	58	56	56	55	55	((55) + 100)*H30年度の割合
(59)		不燃残渣セメント	t/年	169	164	163	162	160	((55) + 100)*H30年度の割合
(60)		ビデオテープセメント	t/年	11	10	10	10	10	((55) + 100)*H30年度の割合
(61)		不燃残渣	t/年	110	107	106	105	104	((55) + 100)*H30年度の割合

項目\年度		単位	見通し						備考（予測部分の算出式）
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(62)	資源化量	t/年	5,009	4,951	4,902	4,863	4,801	4,750	Σ ((63) ～ (79))
(63)	炭化物	t/年	—	—	—	—	—	—	(50) と同値
(64)	焼却灰セメント原料	t/年	1,096	1,055	1,043	1,034	1,021	1,010	焼却灰のセメント原料化
(65)	プラスチック（処理後）	t/年	344	331	327	324	319	315	(56) と同値
(66)	金属類（処理後）	t/年	96	93	93	92	91	90	(57) と同値
(67)	びん類（処理後）	t/年	58	56	56	55	55	54	(58) と同値
(68)	その他	t/年	180	174	173	172	170	168	(59) + (60)
(69)	プラスチック容器包装	t/年	379	375	371	369	364	360	(16) と同値
(70)	白色トレイ	t/年	5	4	4	4	4	4	(17) と同値
(71)	ペットボトル	t/年	118	117	116	115	113	112	(18) と同値
(72)	びん類	t/年	296	293	290	288	284	281	(19) と同値
(73)	金物類、小型家電類	t/年	544	539	533	529	522	517	(20) と同値
(74)	紙バック	t/年	6	6	6	6	6	6	(21) と同値
(75)	紙類	t/年	1,595	1,619	1,604	1,592	1,572	1,556	(22) と同値
(76)	布類	t/年	171	169	168	166	164	163	(23) と同値
(77)	紙シュレッダー	t/年	44	44	43	43	42	42	(24) と同値
(78)	廃乾電池・蛍光灯等	t/年	29	29	28	28	28	27	(25) と同値
(79)	廃食用油	t/年	48	47	47	46	46	45	(26) と同値
(80)	リサイクル率（資源ごみのみ）	%	23.2%	23.9%	23.9%	24.0%	24.0%	24.0%	(6) / (3) *100
(81)	リサイクル率	%	35.9%	36.5%	36.6%	36.6%	36.6%	36.6%	(62) / (3) *100

項目\年度		単位	見通し						備考（予測部分の算出式）
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(82)	最終処分量	t/年	395	381	377	374	369	366	(83) + (85)
(83)	ばいじん等	t/年	285	274	271	269	265	263	(53) と同値
(84)	焼却灰等	t/年	—	—	—	—	—	—	全量リサイクル
(85)	不燃残渣	t/年	110	107	106	105	104	103	(61) と同値

糸魚川市の生活排水の予測と目標

糸魚川市の実績値に基づき、現状の傾向が推移した場合の生活排水の予測を行いました。
実績は、下水道接続人口や合併処理浄化槽人口等の水洗化・生活雑排水処理人口は減少しているものの、総人口も減少しているため、生活排水処理率は増加傾向です。
生活排水処理形態別人口の予測は以下のような流れで行いました。

1.将来人口



2. 現状の傾向が推移した場合の生活排水処理形態別人口の予測

- ・生活排水処理形態別人口の予測
- ・生活排水処理率の予測



3.施策を実施した場合の生活排水処理形態別人口の予測

- ・生活排水処理形態別人口の予測
- ・生活排水処理率の予測

1. 将来人口

使用する人口の実績や将来人口は以下のとおりとします。

- 総人口実績：住民基本台帳人口（各年度 3 月 31 日）
- 将来人口：人口ビジョン²の推計値（7 年、12 年） 推計値間は直線補完した値

表 11 総人口の実績と将来人口

年度	実績	人口ビジョン	将来人口
H26	45,493		
27	44,769		
28	43,961		
29	43,352		
30	42,590		
R7(中間目標年度)		40,745	40,745
11(目標年度)			39,125
12		38,720	

※実績値は各年度 3 月 31 日（住民基本台帳人口）

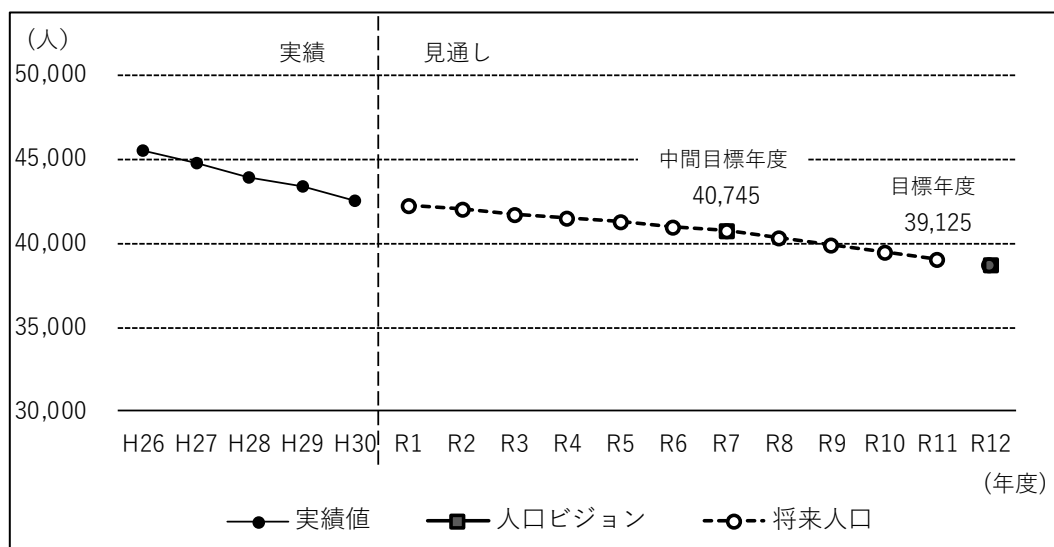


図 5 総人口の実績と将来人口

² 人口ビジョン:平成 30 年 11 月 30 日 第 1 次改訂の「糸魚川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」であり、本市の人口の現状と将来展望を示した統計資料です。

2. 現状の傾向が推移した場合の生活排水処理形態別人口の予測

現状の傾向が推移した場合の生活排水処理形態別人口の予測を表 12 に示します。

表 12 現状の移行が推移した場合の生活排水処理形態別人口(1)

区分 年度			実績					見通し					
			H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	
(1)	処理 形態 別 人 口	総人口（住民基本台帳3月31日）	人	45,493	44,769	43,961	43,352	42,590	42,326	42,062	41,798	41,534	41,270
(2)		水洗化・生活雑排水処理人口	人	41,591	41,134	40,643	40,265	39,659	39,441	39,224	38,983	38,749	38,521
(3)		下水道接続人口（水洗化人口）	人	35,192	34,841	34,509	34,872	34,396	34,224	34,052	33,880	33,708	33,536
(4)		農業集落排水施設接続人口	人	1,597	1,584	1,591	1,568	1,533	1,532	1,531	1,530	1,529	1,528
(5)		漁業集落排水施設接続人口	人	1,404	1,345	1,305	614	596	578	561	520	486	458
(6)		合併処理浄化槽人口	人	3,351	3,320	3,192	3,167	3,091	3,064	3,037	3,010	2,983	2,956
(7)		簡易排水	人	47	44	46	44	43	43	43	43	43	43
(8)		生活排水処理率	%	91.4%	91.9%	92.5%	92.9%	93.1%	93.2%	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%
(9)		単独処理浄化槽人口	人	1,790	1,677	1,542	1,461	1,394	1,385	1,375	1,374	1,370	1,364
(10)		非水洗化人口	人	2,112	1,958	1,776	1,626	1,537	1,500	1,464	1,441	1,415	1,385
(11)		し尿汲み取り人口	人	2,112	1,958	1,776	1,626	1,537	1,500	1,464	1,441	1,415	1,385
(12)		自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 12 現状の移行が推移した場合の生活排水処理形態別人口(2)

区分 年度			見通し							備考（予測部分の算出式等）
			R6	R7	R8	R9	R10	R11		
(1)	処理 形態 別 人 口	総人口（住民基本台帳3月31日）	人	41,006	40,745	40,340	39,935	39,530	39,125	R7は人口ビジョン
(2)		水洗化・生活雑排水処理人口	人	38,297	38,074	37,780	37,489	37,201	36,913	Σ（（3） ～ （7） ）
(3)		下水道接続人口（水洗化人口）	人	33,364	33,192	33,018	32,846	32,674	32,502	トレンド予測
(4)		農業集落排水施設接続人口	人	1,527	1,526	1,524	1,521	1,519	1,517	トレンド予測
(5)		漁業集落排水施設接続人口	人	434	413	395	379	365	351	トレンド予測
(6)		合併処理浄化槽人口	人	2,929	2,900	2,800	2,700	2,600	2,500	トレンド予測
(7)		簡易排水	人	43	43	43	43	43	43	H30 と同値
(8)		生活排水処理率	%	93.4%	93.4%	93.7%	93.9%	94.1%	94.3%	(2) / (1)
(9)		単独処理浄化槽人口	人	1,354	1,346	1,300	1,252	1,202	1,150	(1) -sum（（2） ,(10) ）
(10)		非水洗化人口	人	1,355	1,325	1,260	1,194	1,127	1,062	(11) + (12)
(11)		し尿汲み取り人口	人	1,355	1,325	1,260	1,194	1,127	1,062	トレンド予測
(12)		自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0人

3. 施策を実施した場合の生活排水処理形態別人口の予測

施策を実施した場合の生活排水処理形態別人口の予測を表 13 に示します。

表 13 施策を実施した場合の生活排水処理形態別人口(1)

区分 年度			実績					見通し				
			H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
(1)	総人口（住民基本台帳3月31日）	人	45,493	44,769	43,961	43,352	42,590	42,326	42,062	41,798	41,534	41,270
(2)	水洗化・生活雑排水処理人口	人	41,591	41,134	40,643	40,265	39,659	39,462	39,266	39,046	38,833	38,626
(3)	下水道接続人口（水洗化人口）	人	35,192	34,841	34,509	34,872	34,396	34,224	34,052	35,190	35,018	34,846
(4)	農業集落排水施設接続人口	人	1,597	1,584	1,591	1,568	1,533	1,532	1,531	220	219	218
(5)	漁業集落排水施設接続人口	人	1,404	1,345	1,305	614	596	578	561	520	486	458
(6)	合併処理浄化槽人口	人	3,351	3,320	3,192	3,167	3,091	3,085	3,079	3,073	3,067	3,061
(7)	簡易排水	人	47	44	46	44	43	43	43	43	43	43
(8)	生活排水処理率	%	91.4%	91.9%	92.5%	92.9%	93.1%	93.2%	93.4%	93.4%	93.5%	93.6%
(9)	単独処理浄化槽人口	人	1,790	1,677	1,542	1,461	1,394	1,375	1,353	1,343	1,329	1,311
(10)	非水洗化人口	人	2,112	1,958	1,776	1,626	1,537	1,489	1,443	1,409	1,372	1,333
(11)	し尿汲み取り人口	人	2,112	1,958	1,776	1,626	1,537	1,489	1,443	1,409	1,372	1,333
(12)	自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表 13 施策を実施した場合の生活排水処理形態別人口(2)

区分 年度			見通し						備考（予測部分の算出式等）
			R6	R7	R8	R9	R10	R11	
(1)	総人口（住民基本台帳3月31日）	人	41,006	40,745	40,340	39,935	39,530	39,125	R7は人口ビジョン
(2)	水洗化・生活雑排水処理人口	人	38,423	38,224	38,017	37,813	37,612	37,413	Σ ((3) ~ (7))
(3)	下水道接続人口（水洗化人口）	人	34,674	34,502	34,328	34,156	33,984	33,812	糸魚川市公共下水道事業経営戦略及び糸魚川市集落排水・浄化槽事業経営戦略を参考
(4)	農業集落排水施設接続人口	人	217	216	214	211	209	207	糸魚川市集落排水・浄化槽事業経営戦略を参考
(5)	漁業集落排水施設接続人口	人	434	413	395	379	365	351	トレンド予測
(6)	合併処理浄化槽人口	人	3,055	3,050	3,037	3,024	3,011	3,000	トレンド予測
(7)	簡易排水	人	43	43	43	43	43	43	H30 と同値
(8)	生活排水処理率	%	93.7%	93.8%	94.2%	94.7%	95.1%	95.6%	(2) / (1)
(9)	単独処理浄化槽人口	人	1,291	1,271	1,180	1,086	990	890	(1) -sum((2) ,(10))
(10)	非水洗化人口	人	1,292	1,250	1,143	1,036	928	822	(11) + (12)
(11)	し尿汲み取り人口	人	1,292	1,250	1,143	1,036	928	822	トレンド予測
(12)	自家処理人口	人	0	0	0	0	0	0	0人

糸魚川市廃棄物減量等推進審議会委員

役職	氏 名	区分／所属等
会 長	齋藤 伸一	糸魚川地域連合区長会 会長
副会長	小野垣 勝男	青海地域支館連絡協議会 八久保支館長
委 員	荒木 トモ工	糸魚川市消費者協会
	武田 徹	(一財)上越環境科学センター 技術部部長
	中山 久雄	元上越地域振興局環境センター長
	福崎 紀夫	元新潟工科大学 教授
	小野 聡	青海小学校長
	久保田 一男	能生地域区長連絡協議会 理事
	松澤 正善	須沢地区自治会 会長
	中澤 朝子	大野区代表
	山本 勝美	西海地区自治振興協議会理事
	石井 一治	能生商工会 理事
	松木 秀樹	糸魚川商工会議所 小売商業部会長
	斎藤 富貴子	青海町商工会 女性部長
	園田 満	株式会社サンエー能生店 店長
	大月 伸一	株式会社大月 代表取締役
	青木 竜児	カネヨ運輸株式会社 カネヨリサイクルセンター センター長
	葉萱 久尚	上越地域振興局健康福祉環境部 環境センター長

糸魚川市廃棄物減量等推進審議会における審議経過

年 月 日	内 容
令和元年8月9日	第1回 糸魚川市廃棄物減量等推進審議会 (1) 市民アンケート結果について (2) 糸魚川市のごみ排出量の予測と目標(案)について (3) 糸魚川市の生活排水の予測と目標(案)について (4) 糸魚川市の一般廃棄物及び生活排水の各種施策について (5) 意見交換(ワークショップ)
令和元年 11 月 5 日	第2回 糸魚川市廃棄物減量等推進審議会 (1) 糸魚川市のごみ排出量の予測と目標(案)について (2) 糸魚川市の生活排水の予測と目標(案)について (3) 高校生アンケート結果について (4) 基本理念、基本方針、施策の検討について (5) 第2次一般廃棄物処理基本計画(たたき台)について
令和元年 12 月 26 日	第3回 糸魚川市廃棄物減量等推進審議会 (1) 第2次一般廃棄物処理基本計画(素案)について (2) 施策検討の補足について (3) ごみ有料化に関して
令和2年3月24日	第4回 糸魚川市廃棄物減量等推進審議会 (1) 第2次糸魚川市一般廃棄物処理基本計画(案)のパブリックコメントについて (2) 第2次糸魚川市一般廃棄物処理基本計画(案)について

パブリックコメントで寄せられたご意見と市の考え方

意見を求めた案件名	第2次糸魚川市一般廃棄物処理基本計画（案）
公開期間	令和2年1月15日（水曜日）～2月14日（金曜日）
担当部署	環境生活課

◎意見への反映状況

- A 提出された意見を計画に反映、または一部を反映することとしたもの
- B 提出された意見が既に計画に記述済みのもの又は織り込み済みのもの等、変更をしないこととしたもの
- C 今回の計画には修正又は記述しないが、今後実施又は検討課題とするもの
- D 今回の計画には反映しないこととするもの

【ごみ処理施設及び有料化に関するご意見】

番号	寄せられたご意見の概要	市の考え方	反映
1	（1）2012年までに6回にわたって開かれた「糸魚川市ごみ処理施設あり方検討委員会」の「基本方針」「ごみ処理システムの検討」に概ね賛成。時期ごみ処理施設の整備にあたり方針に沿って進めてほしい。 （2）アンケートにおいて「分別区分が多い」という回答が増えたことについて市指定ごみ袋（有料）の導入はどうか。市指定のごみ袋を導入することは「均一従量制」ではなくなる事を指しますが、「公平性が増す」という事を周知することで住民の意識は高まると考えます。	お寄せいただいた意見の1点目につきましては、あり方検討委員会の基本方針に沿って整備を進めてまいります。引き続き市民の安心・安全を確保したうえで適切なごみ処理に努めてまいります。 2点目につきましては、第3章の第6節「発生抑制・排出抑制計画」の30ページ(13)に具体的な取組として「ごみの有料化の検討」の記載があります。今後も引き続き、ごみの減量化や排出抑制、リサイクルの推進に加え費用負担の公平化などにつながる家庭ごみの有料化を検討いたします。	B

市民アンケート

◇ 調査概要

1) 目的

2) 調査方法

- ① 調査対象者
糸魚川市在住の男女 1,000 人
- ② 調査期間
令和元年 5 月 20 日～令和元年 6 月 5 日
- ③ 調査方法
郵送による自記入調査法
- ④ 回収結果

対象者数	1,000
回収数	507
回収率	50.7%

◇ アンケートの集計方法

本アンケート調査は、以下の方法で集計を行った。

1) 問1・2・3・5・8・9について

「問1・2・3・5・8・9」は、選択肢から当てはまるものを1つ回答する質問であるため、2つ以上の回答があった場合は以下の方法で集計を行った。

- ① 隣接する2つの選択肢に回答があった場合は、番号の小さい選択肢を有効とした。
例) 「1 ② ③ 4」→「2」
- ② 隣接しない2つの選択肢に回答があった場合は、無回答として集計した。
例) 「① 2 ③ 4」→「無回答」
- ③ 3つ以上の選択肢に回答があった場合は、無回答として集計した。
例) 「① ② 3 4」→「無回答」

2) 問4について

「問4」は、分別区分ごとの排出量を記載する質問であるため、巾のある回答や小数点以下の回答があった場合は以下の方法で集計を行った。

- ① 巾のある回答があった場合は、最大値を有効とした。
例) 「2～3個」→「3個」
- ② 小数点以下の回答があった場合は、小数点以下を繰り上げた値を有効とした。
例) 「0.5個」→「1個」

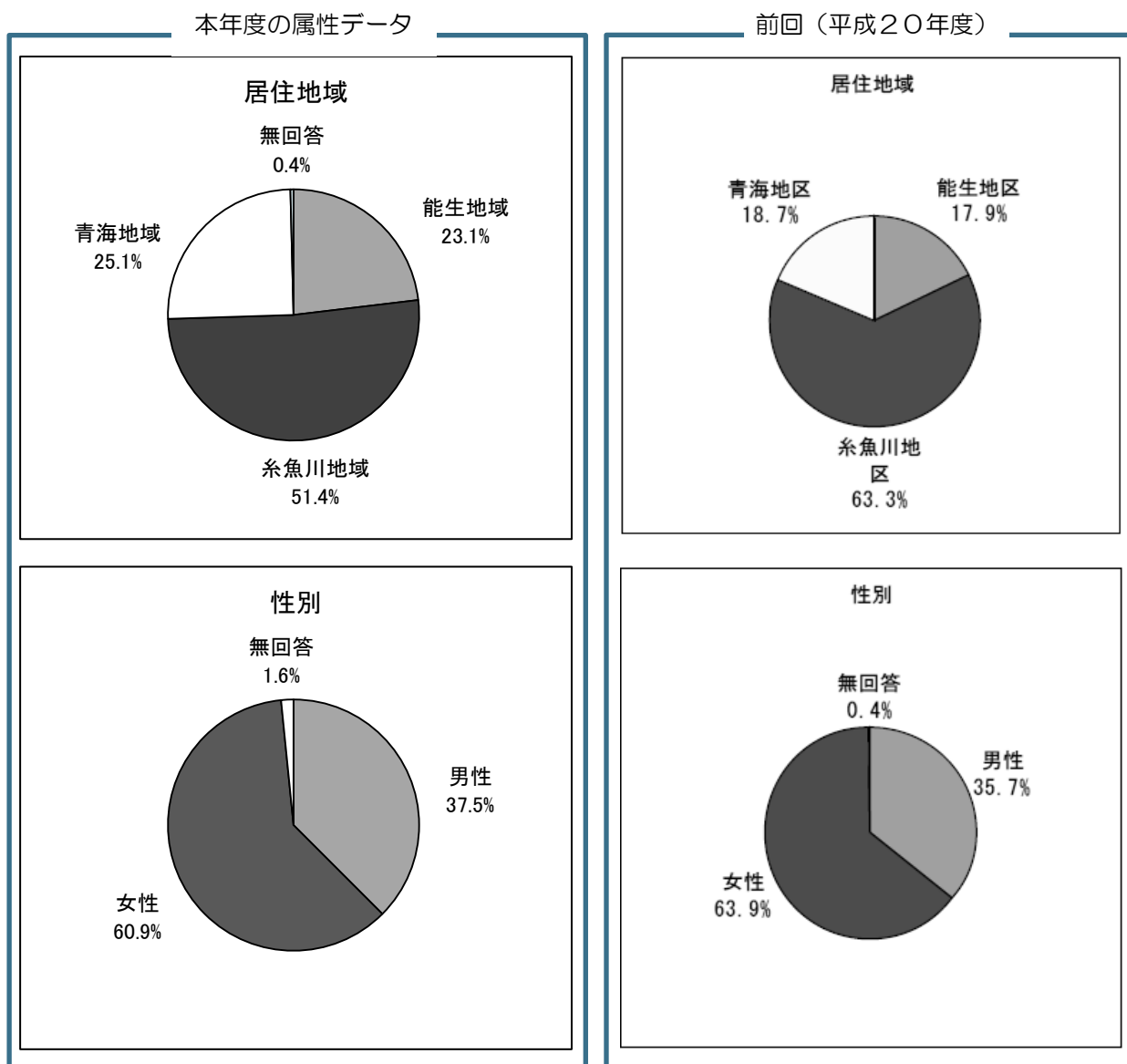
3) 問6について

「問6」は、選択肢から当てはまるものを1つ回答する質問であるが、2つ以上の回答があった場合も全て有効として集計を行った。

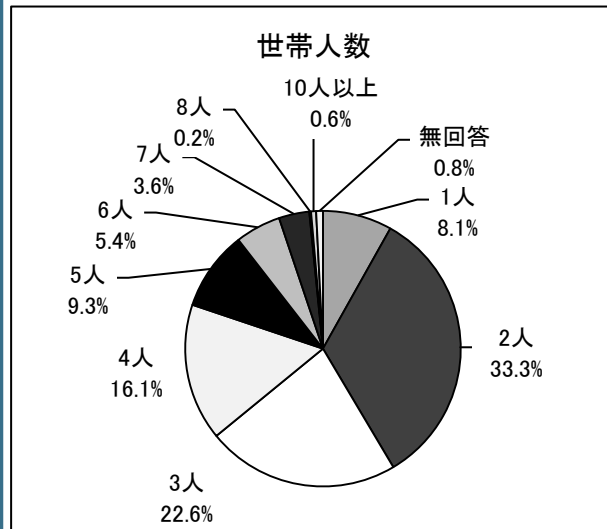
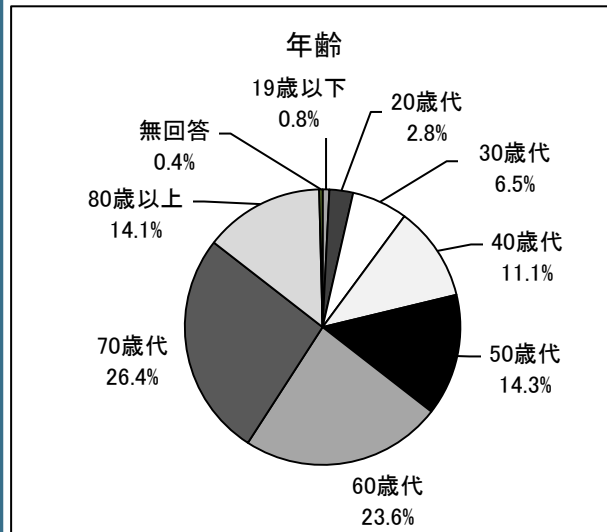
◇ サンプル（属性データ）

本アンケートは令和元年5月20日～令和元年6月5日に実施した。糸魚川市在住の市民1,000人を対象に調査票を郵送で配布し、507名（50.7%）の回答を得た。アンケートのサンプルは、本市人口の性別・年齢別・居住地域別の構成をもとに層化抽出した。

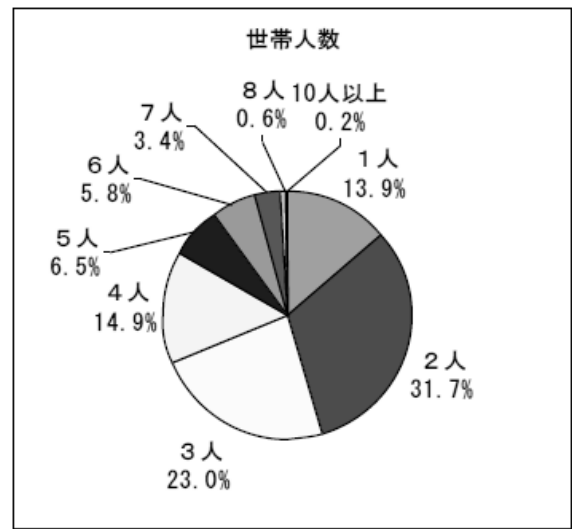
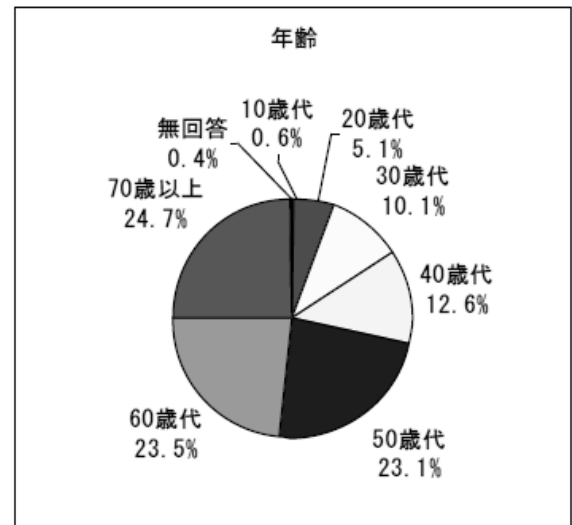
以下に回答者の居住地域、性別、年齢、世帯人数の属性データを示す。性別では前回との誤差は3ポイント以内であり、男女比はほとんど同じ結果となった。年齢別には今回から80歳以上の項目が追加されたが、70歳以上が4割を占める結果となり、前回と比較しても70歳以上の比率が大幅に増加している。世帯人数は「1人」と「5人」に若干の変動はあるが、おおむね前回と類似している。



本年度の属性データ



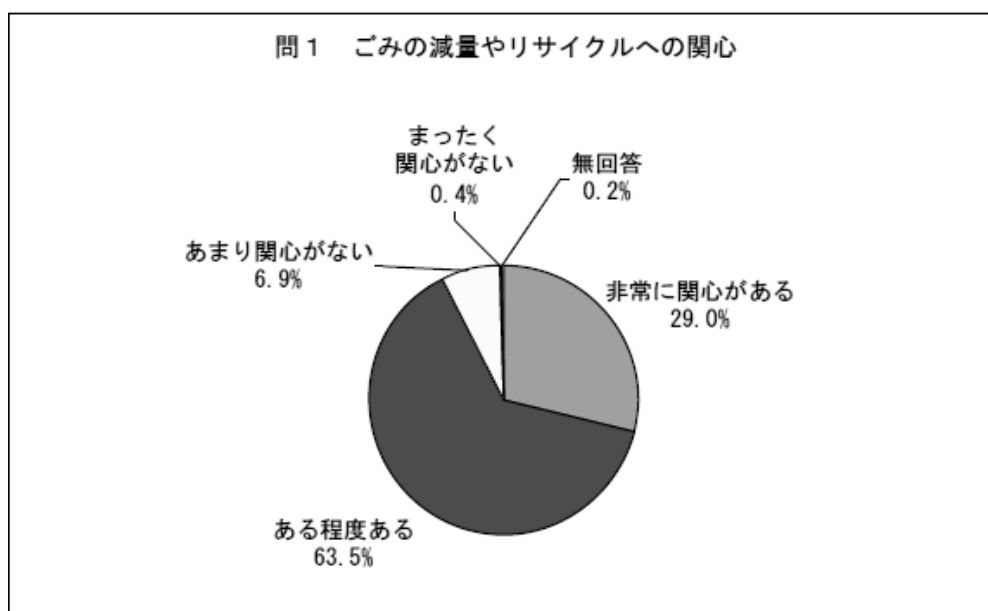
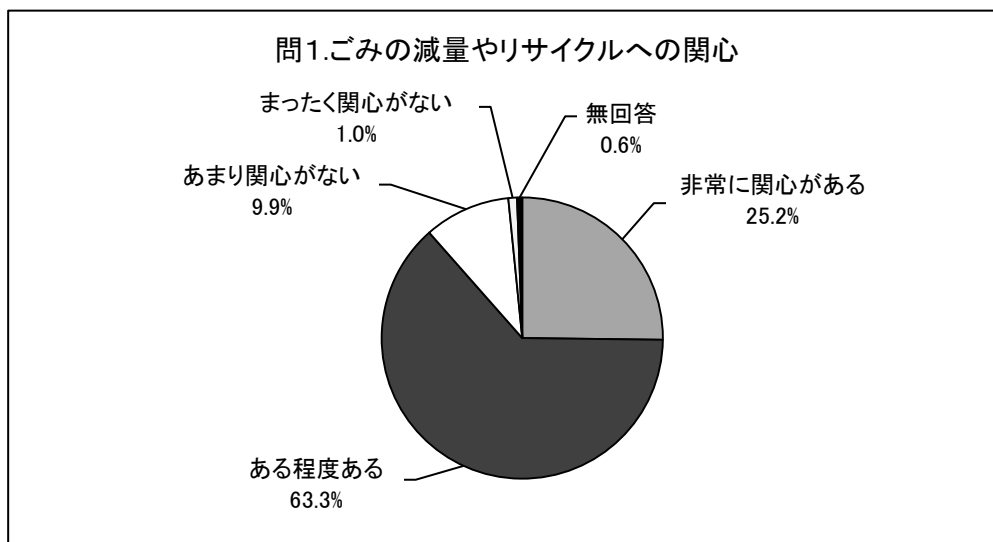
(参考) 前回 (平成20年度)



◇ アンケート結果

問1 ごみの減量とリサイクルへの関心

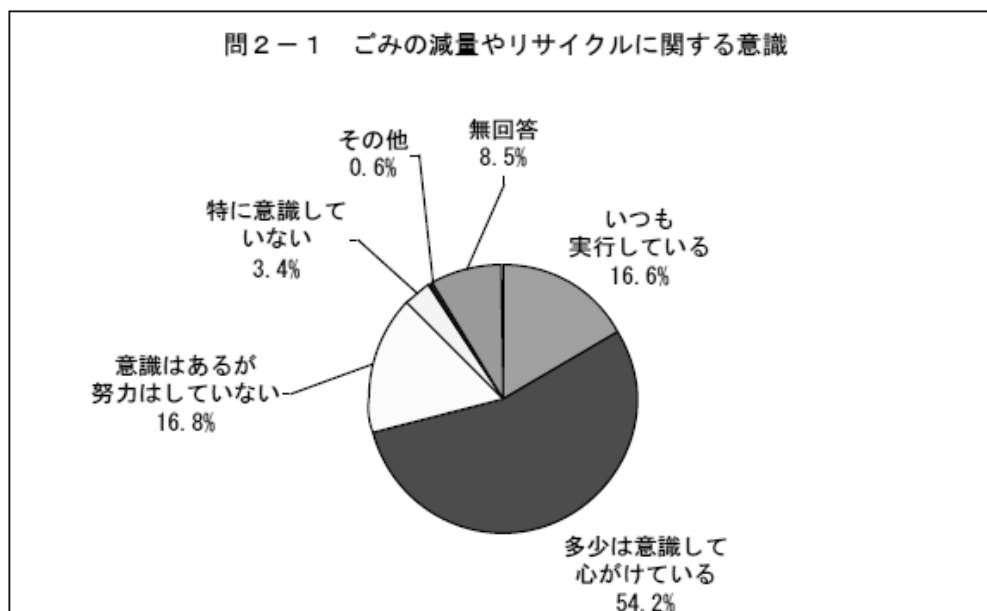
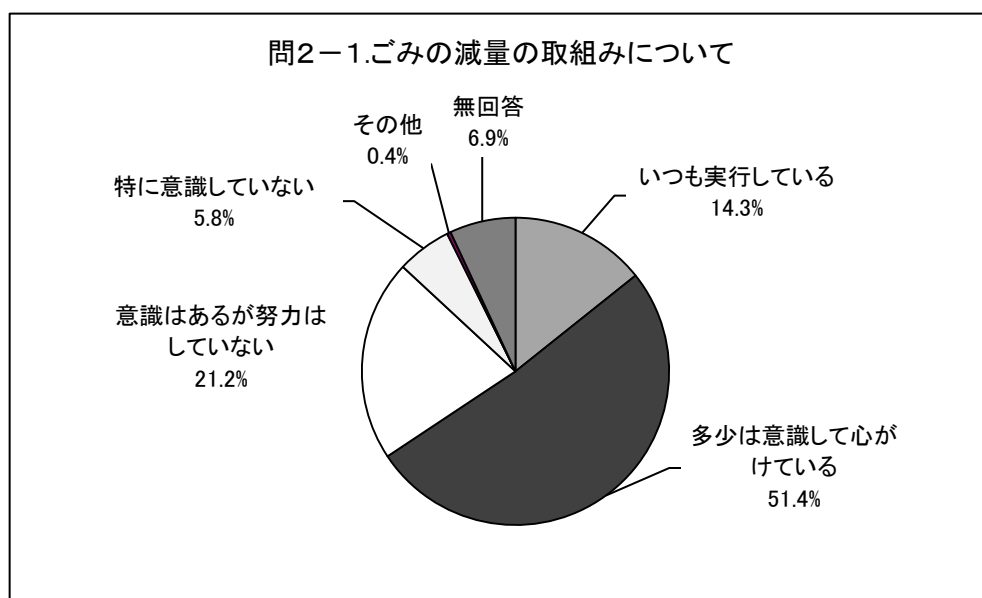
「非常に関心がある」25.2%（前回 29.0%[-3.8 ポイント]）と「ある程度ある」63.3%（前回 63.5%[-0.2 ポイント]）を合わせると 88.5%（前回 92.5%[-4 ポイント]）で減少しており、「まったく関心がない」1.0%（前回 0.4%[+0.6 ポイント]）と「あまり関心がない」9.9%（前回 6.9%[+3 ポイント]）が合わせて 10.9%（前回 7.3%[+3.6 ポイント]）で増加しており、関心を持っている方ではない回答者が1割を超えた。以上を踏まえると、前回に比べて意識の低下が見られる。



（参考）前回（平成20年度）

問2－1 ごみの減量の取組みについて

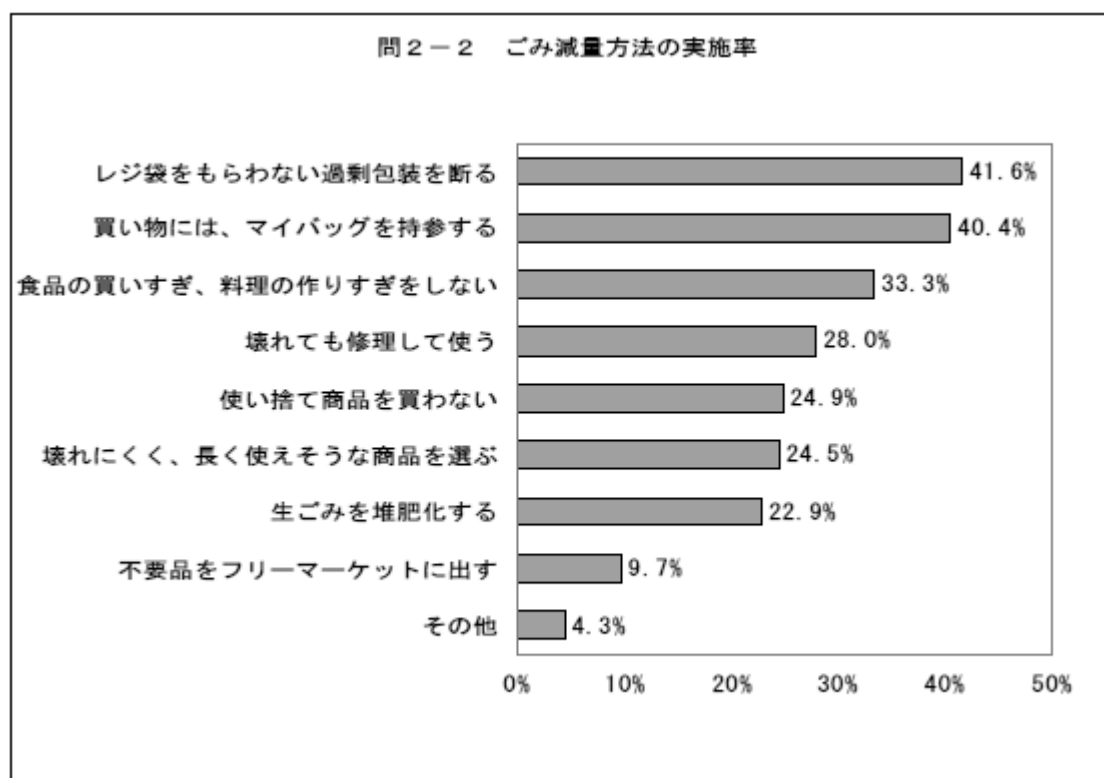
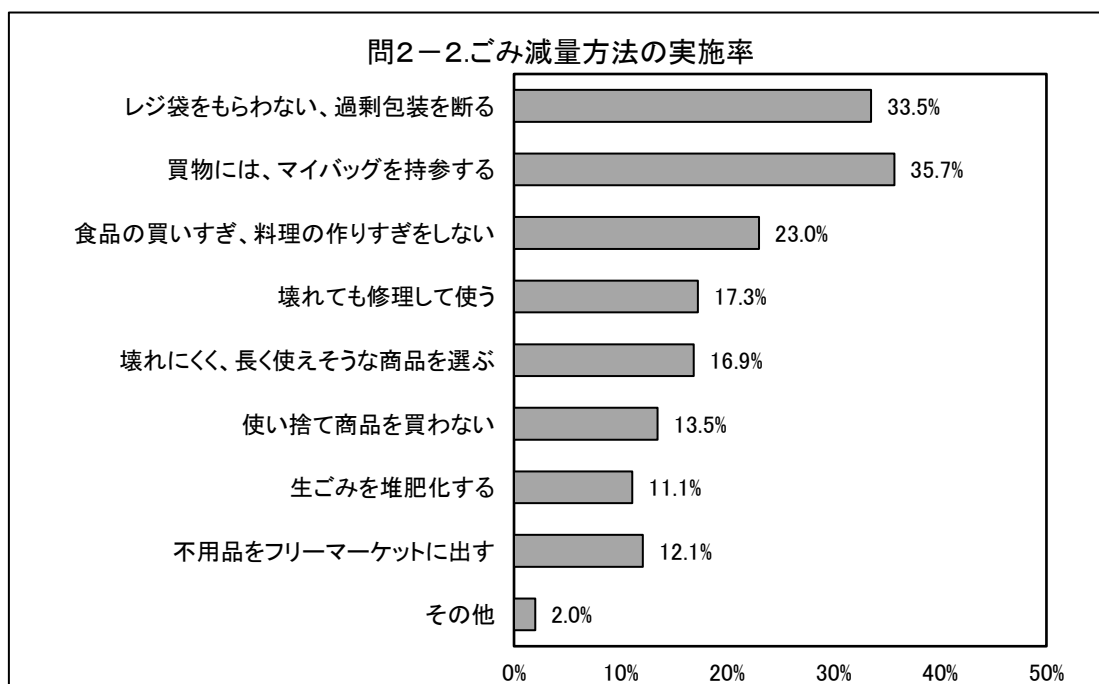
「いつも実行している」14.3%（前回 16.6%[-2.3 ポイント]）と「多少は意識して心がけている」51.4%（前回 54.2%[-2.8 ポイント]）を合わせると 65.7%（前回 70.8%[-5.1 ポイント]）となり、「意識はあるが努力はしていない」21.2%（前回 16.8%[+4.4 ポイント]）、「特に意識していない」5.8%（前回 3.4%[+2.4 ポイント]）、合わせると 27.0%（前回 20.2%[+6.8 ポイント]）と増加しており、市民の多くはごみの減量やリサイクルを意識していると言えるが、前回と比較すると意識の低下が見られる。



（参考）前回（平成20年度）

問2-2ごみ減量方法の実施率

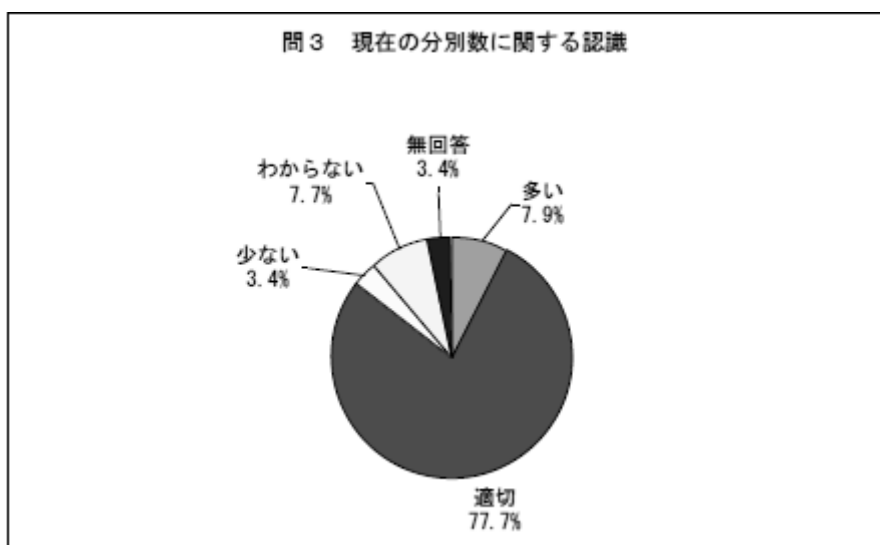
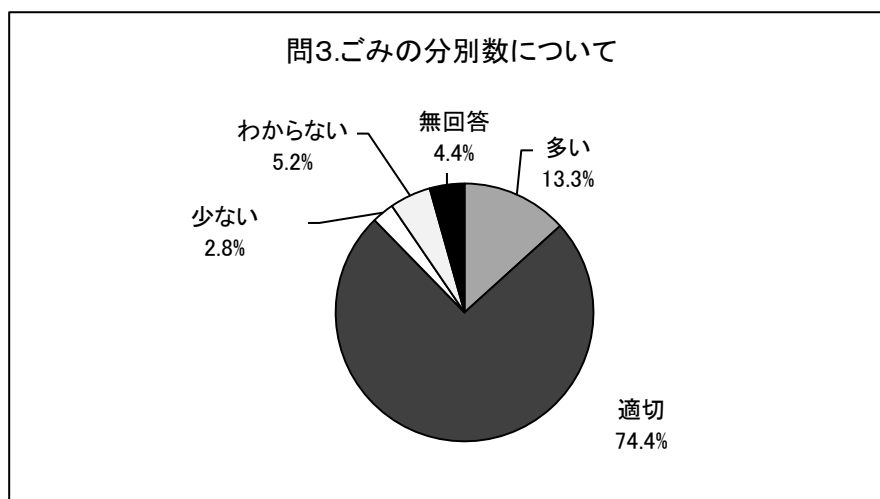
実施率は、各項目の回答数を総回答人数 504 人（前回 507 人）で割り、算出した。「マイバッグを持参」35.7%（前回 40.4%[-4.7 ポイント]）と「レジ袋をもらわない」33.5%（前回 41.6%[-8.1 ポイント]）のレジ袋削減に関する項目は前回より低下している。他の項目はいずれも 25%を下回っており、「フリーマーケットに出す」12.1%（前回 9.7%[+2.4 ポイント]）のみが増加している点と、「その他」を除く他の項目はいずれも約 7～12 ポイント減少しており、全体的に実施率が低下している。



（参考）前回（平成20年度）

問3 現在の分別数について

現在の 19 分別（前は 16 分別）に対して、「適切」74.4%（前 77.7%[-3.3 ポイント]）が最も多い結果となった。しかし、「多い」13.3%（前 7.9%[+5.4 ポイント]）という回答が増加しており、全体の 1 割を超えるようになった。



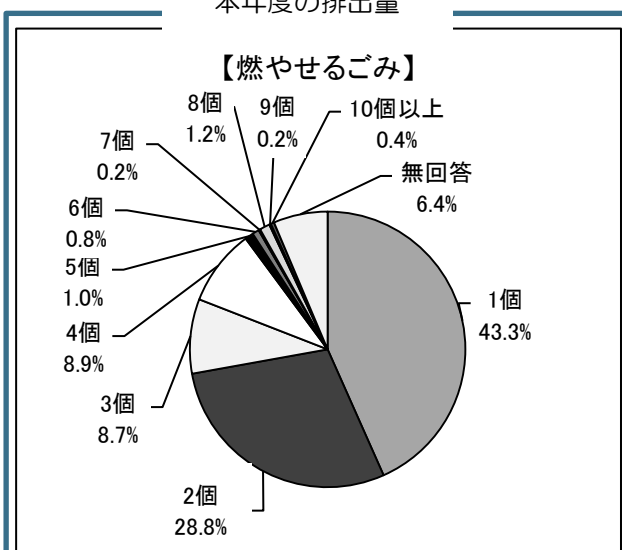
（参考）前（平成20年度）

問4 ごみの排出量について（10 リットルのレジ袋換算）

各項目の排出量は、収集日 1 回あたりに出すごみの量を 10 リットルのレジ袋に換算して算出した。

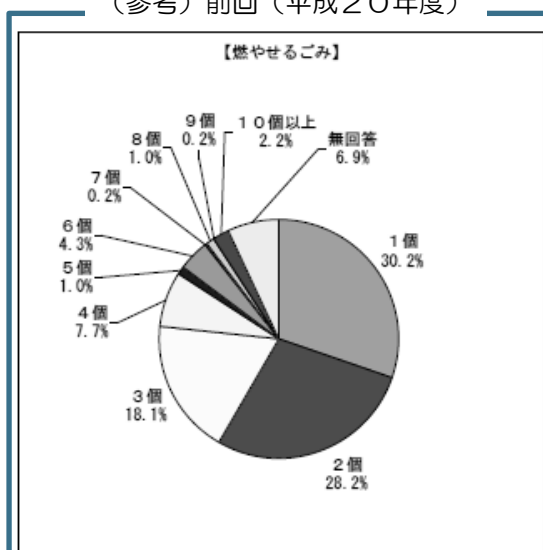
燃やせるごみ（週 3 回）の 1 回あたりの排出量は「1 個」43.3%（前回 30.2%[+13.1 ポイント]）の回答が増加、「3 個」8.7%（前回 18.1%[-9.4%]）の回答が減少した。「1 個」、「2 個」28.8%（前回 28.2%[+0.6 ポイント]）、「4 個」8.9%（前回 7.7%[+1.2 ポイント]）の順に多く、大部分は 3 個/回以下という結果となった。プラスチック容器包装（週 1 回）は「1 個」34.2%（前回 48.3%[-14.1 ポイント]）の回答が減少、「4 個」17.9%（前回 10.1%[+7.8 ポイント]）の回答が増加した。「1 個」が最も多く、約半数が 2 個/回以下であった。ペットボトル（月 2 回）は「1 個」47.7%（前回 57.0%[-9.3 ポイント]）の回答が減少、無回答が大幅に増加した。白色トレイ（月 1 回）、びん類（月 1 回）、金物類（月 1 回）、埋立ごみ（月 1 回）は大きな変化が無く、半数以上が 1 個/回であった。紙・布類は「1 個」29.2%（前回 33.7%[-4.5 ポイント]）、「2 個」26.4%（前回 28.6%[-2.2 ポイント]）であり、半数以上は 2 個/回以下であった。

本年度の排出量

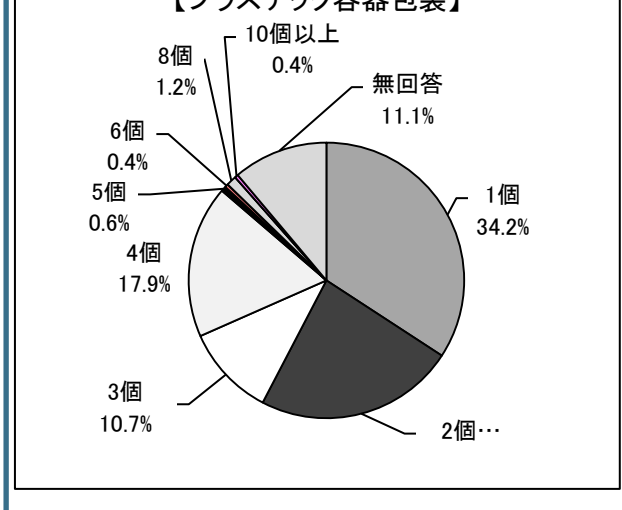


注)「10 個以上」の回答数は 2 人であり、それぞれ 10 個と 12 個である。

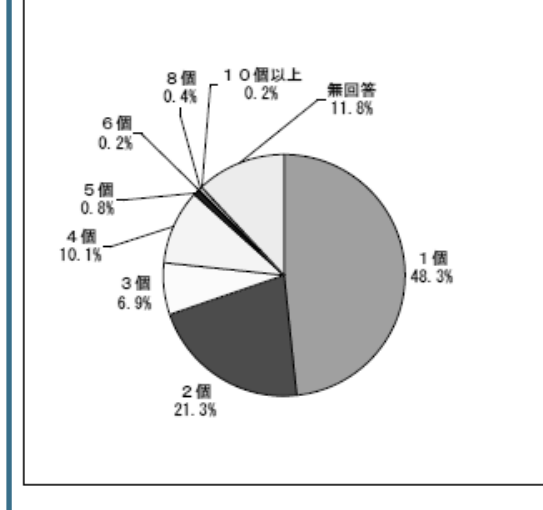
（参考）前回（平成20年度）



【プラスチック容器包装】



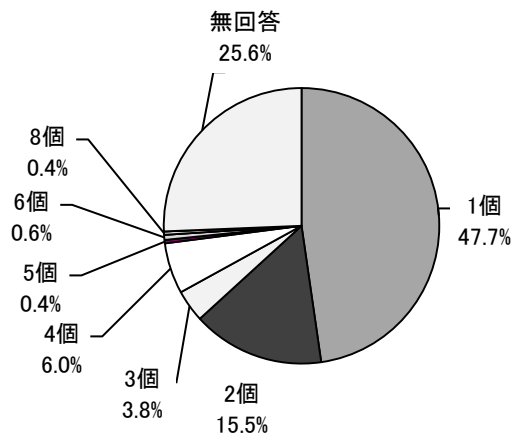
【プラスチック容器包装】



本年度の排出量

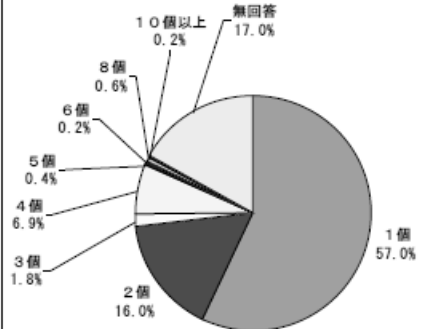
(参考) 前回 (平成20年度)

【ペットボトル】

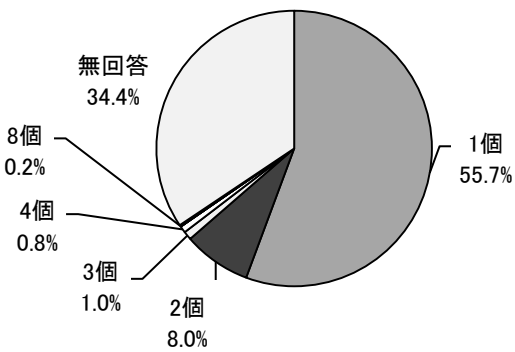


注) 「10 個以上」の回答数は2人であり、いずれも12個である。

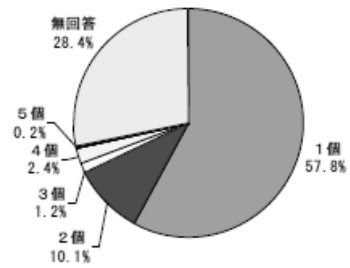
【ペットボトル】



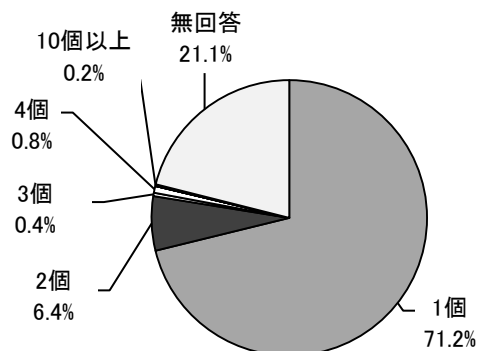
【白色トレイ】



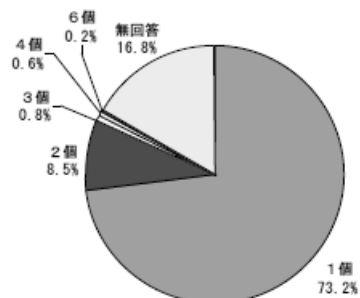
【白色トレイ】



【びん類】

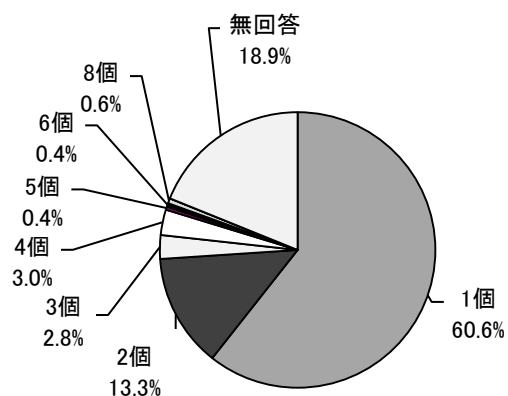


【びん類】

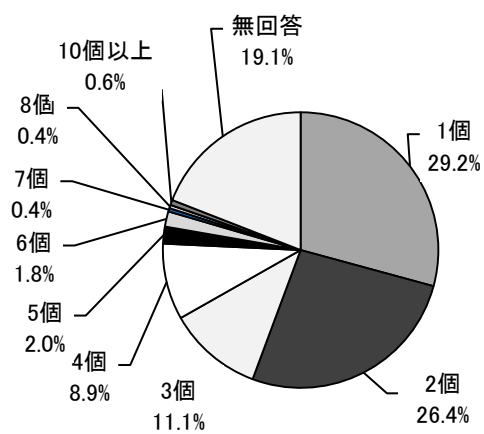


本年度の排出量

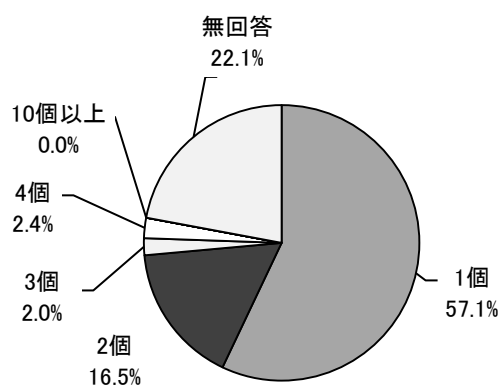
【金物類】



【紙・布類】

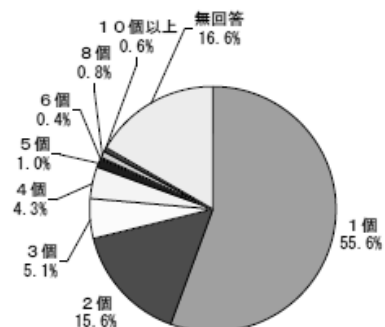


【埋立ごみ】



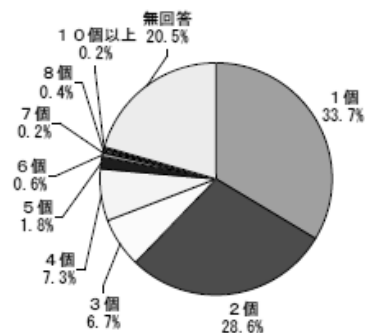
(参考) 前回 (平成20年度)

【金物類】



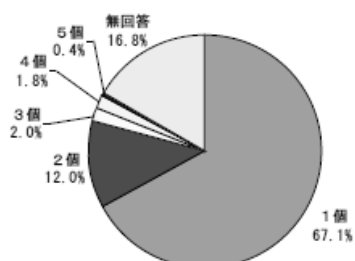
注) 「10個以上」の回答数は3人であり、内訳は「10個」1人(0.2%)、「12個」2人(0.4%)である。

【紙・布類】



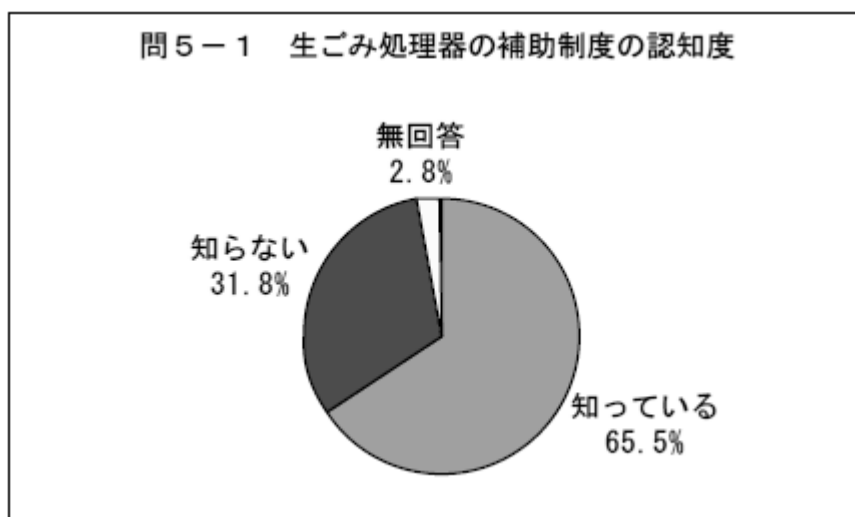
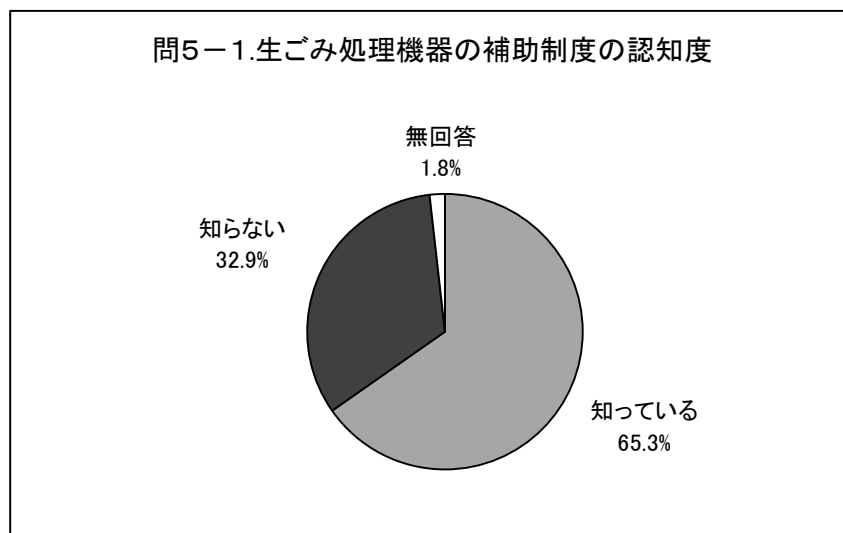
注) 「10個以上」の回答は「10個」1人である。

【埋立ごみ】



問5－1 生ごみ処理器設置費補助金制度について

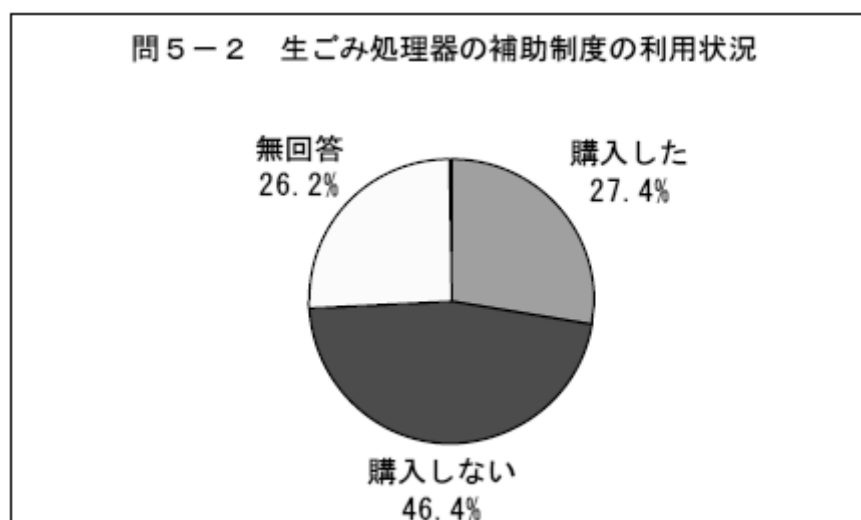
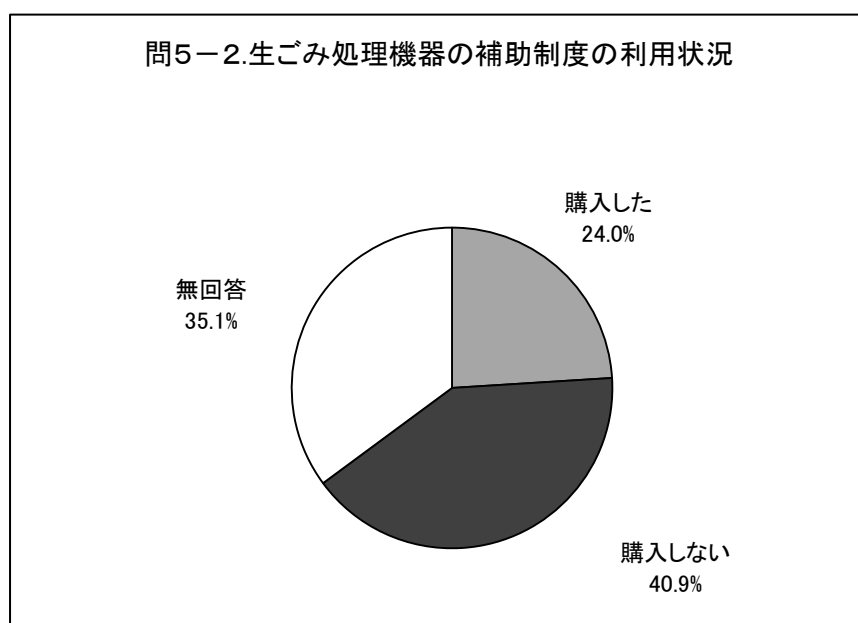
「知っている」65.3%(前回 65.5%[-0.2 ポイント]),「知らない」32.9%(前回 31.8%[+1.1])であり、前回とほぼ変わらず 3 人中 2 人が知っているという結果であったが、わずかながら認知度が低下している。



(参考) 前回 (平成20年度)

問5－2 生ごみ処理器設置費補助金制度の利用状況

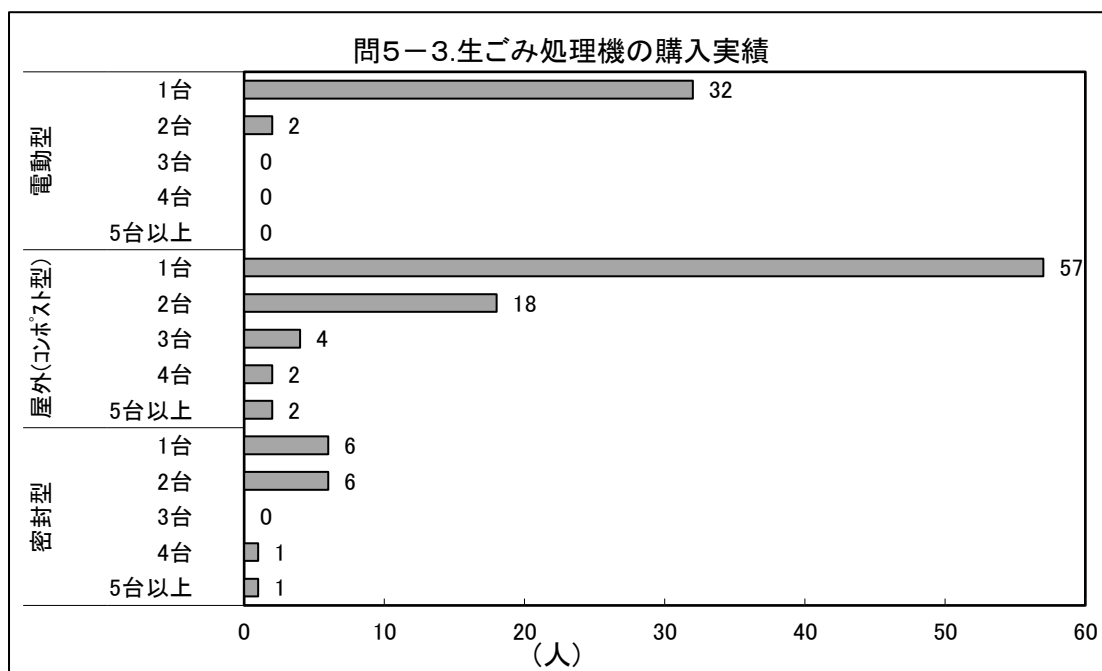
制度を知っていると回答したものの内、実際に制度を利用して「購入した」のは 24.0%（前回 27.4%[-3.4 ポイント]）であったため、購入率が減少している。



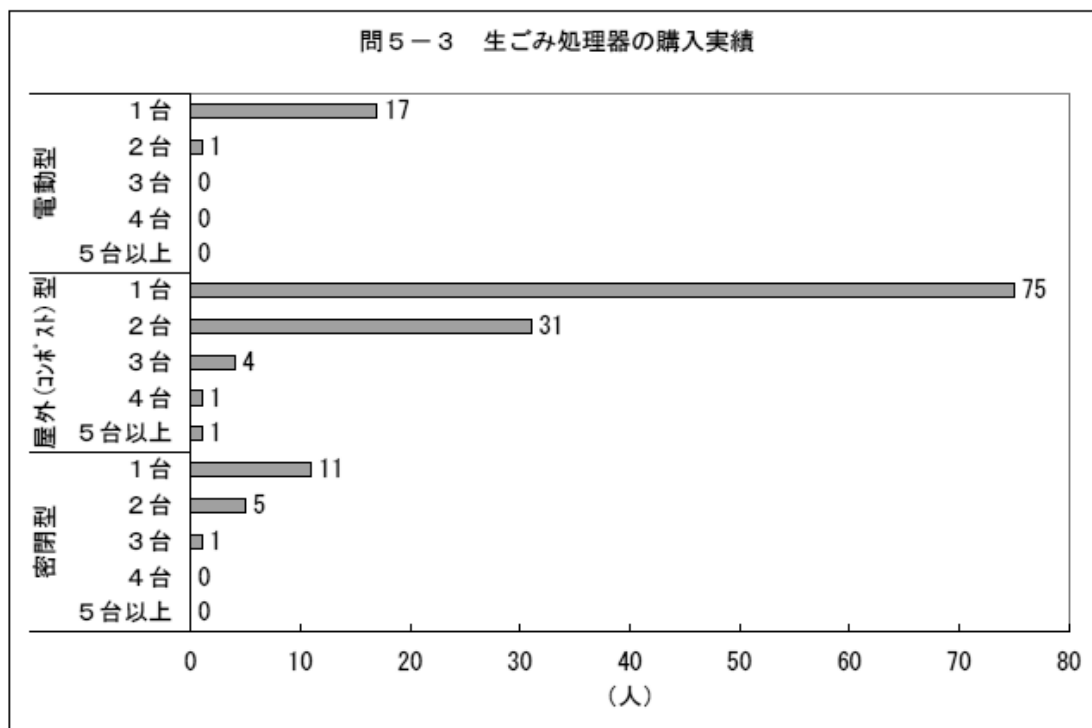
（参考）前回（平成20年度）

問5－3生ごみ処理機の購入実績

制度を利用して購入された生ごみ処理機は、屋外（コンポスト）型が圧倒的に多く、電動型の購入数が増加した。



注)「5台以上」の実数は屋外（コンポスト）型が「5台」と「6台」、密封型が「5台」である。

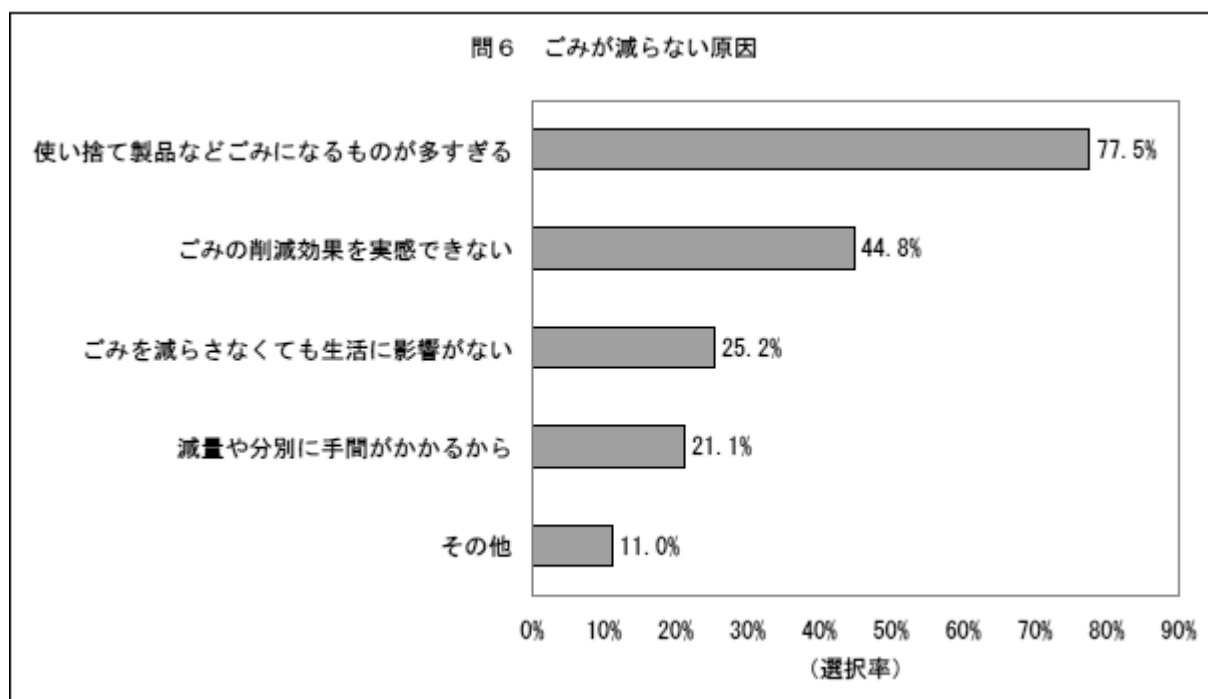
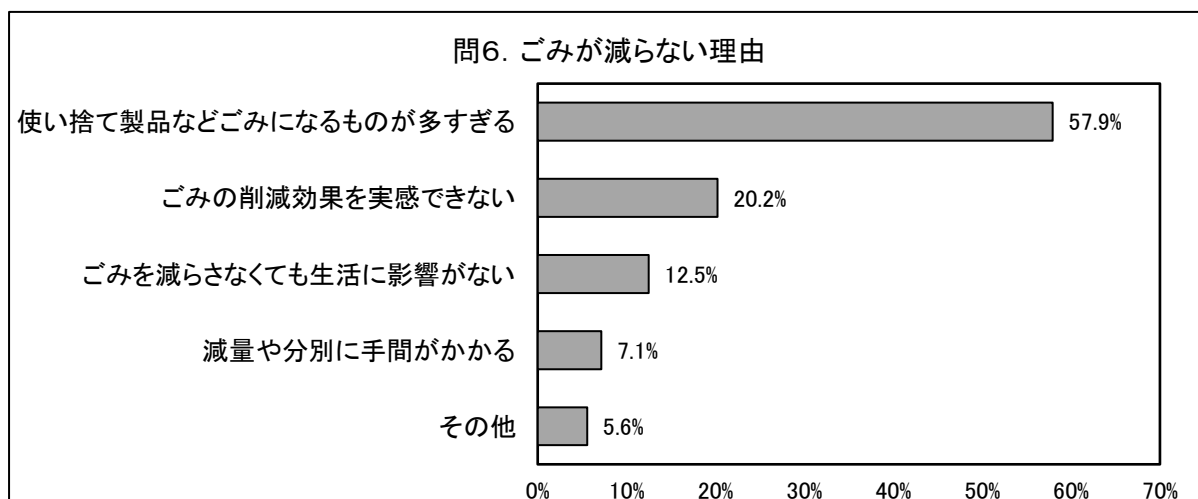


注) 屋外（コンポスト）型「5台以上」の実数は「8台」である。

(参考) 前回（平成20年度）

問6 ごみが減らない原因

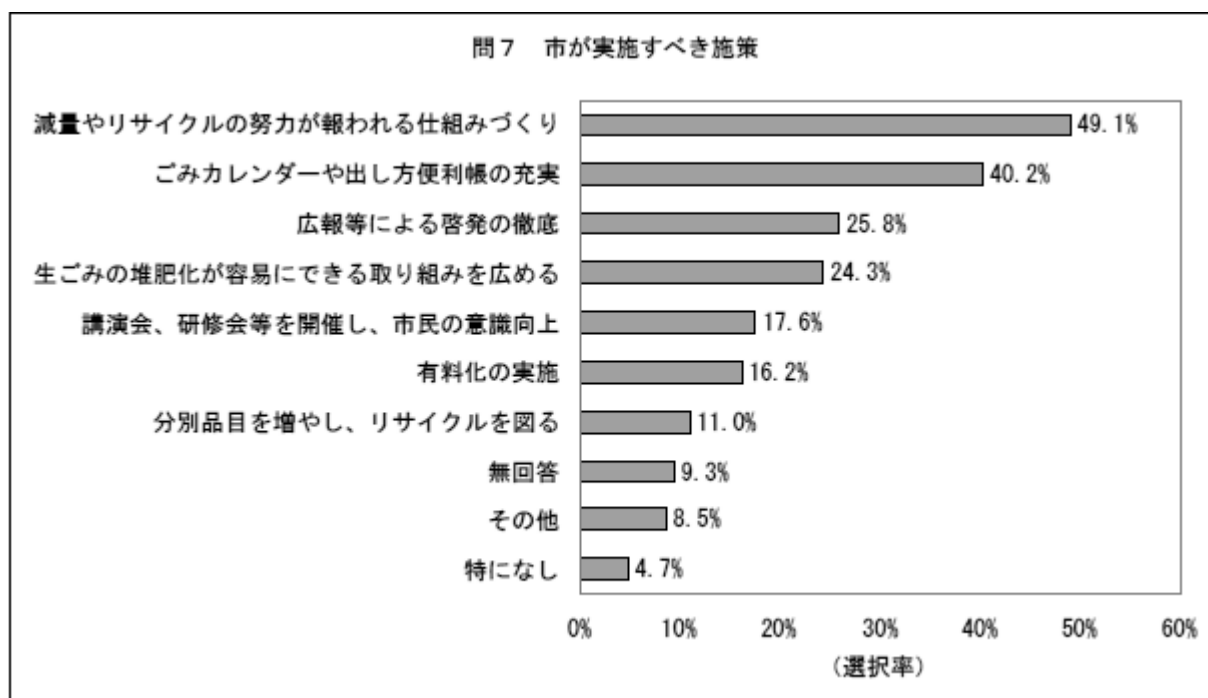
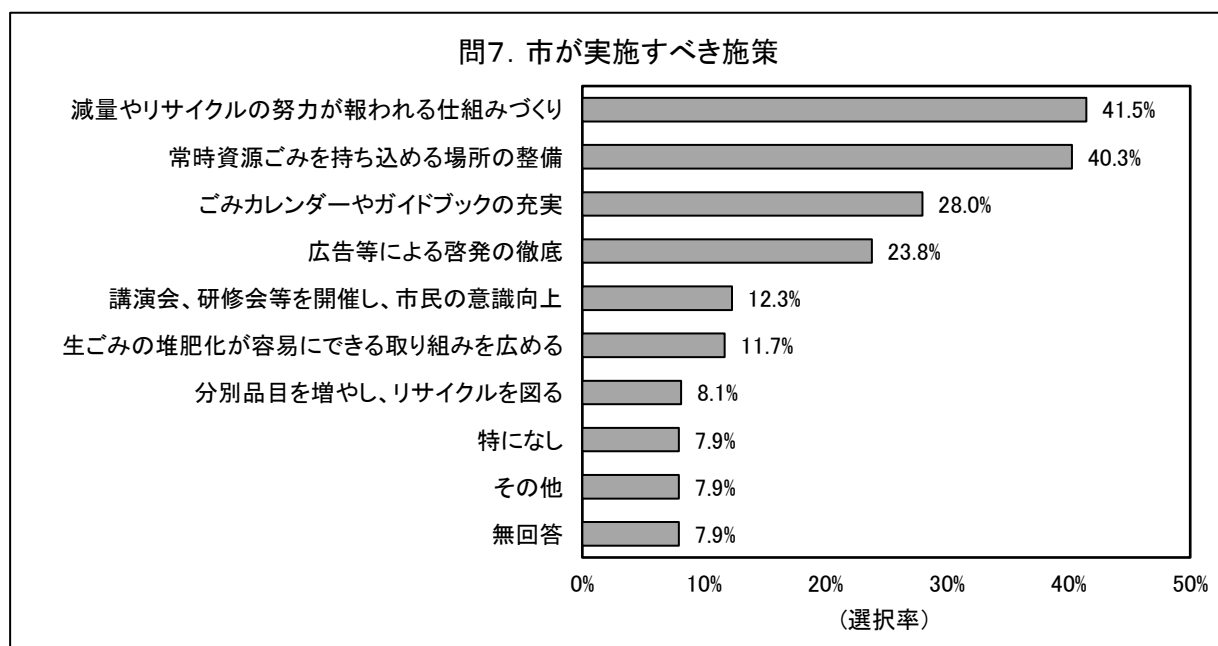
「使い捨て製品などごみになるものが多すぎる」57.9%（前回 77.5%[-19.6 ポイント]）が最も多く、過半数はごみが減らない一因はこの点にあると考えているが、前回から大幅に減少している。次いで「ごみの削減効果を実感できない」20.2%（前回 44.8%[-24.6 ポイント]）となっており、前回と比較して半分以上になった。全体的に選択率が下がっている。



(参考) 前回 (平成20年度)

問7 市が実施すべき施策

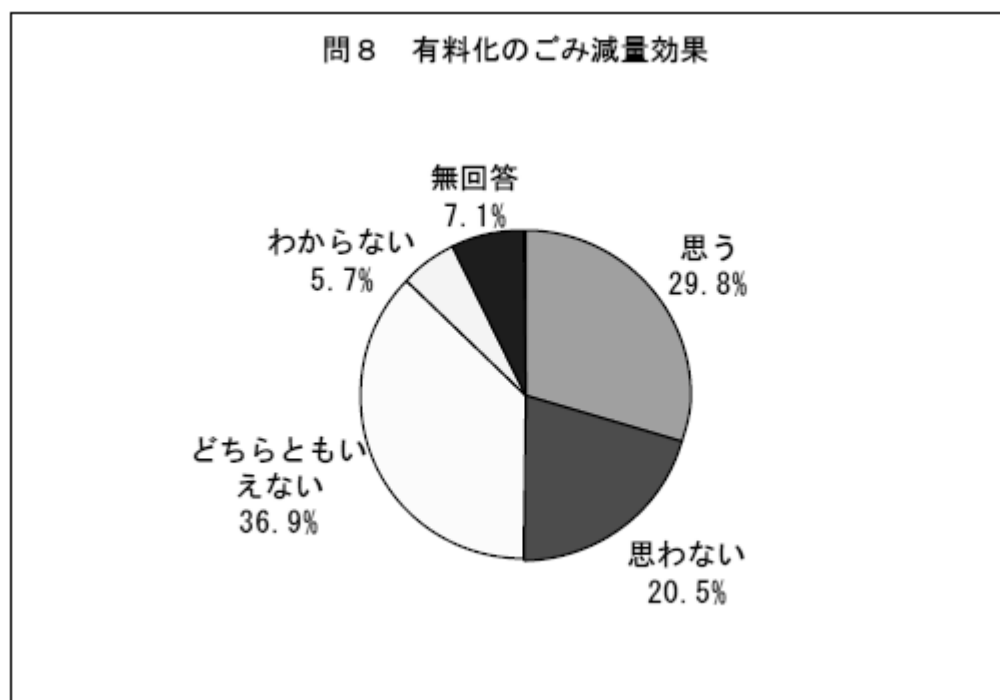
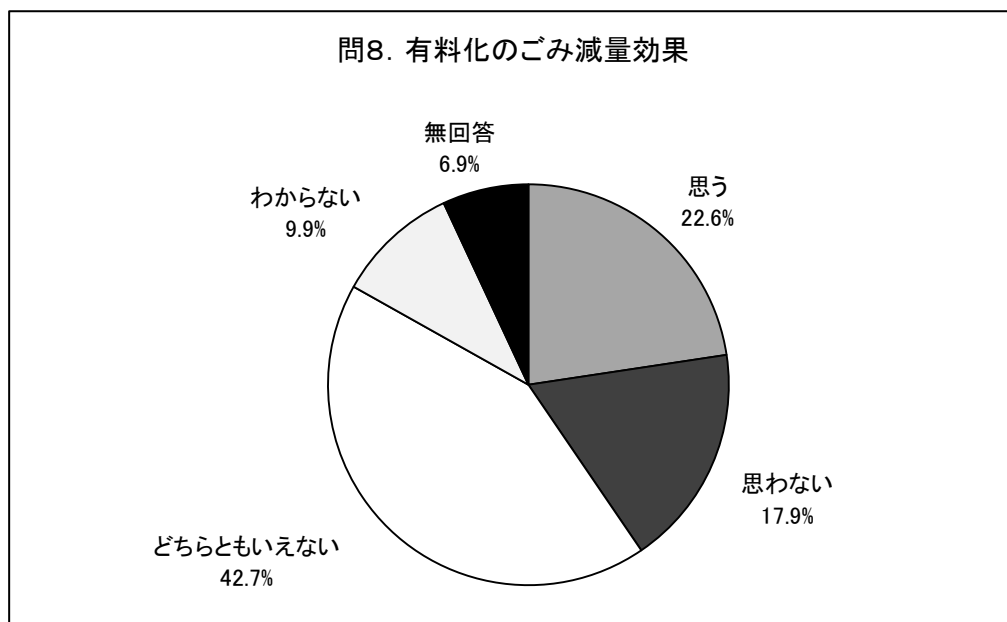
「減量やリサイクルの努力が報われる仕組みづくり」41.5%（前回 49.1%[-7.6 ポイント]）が最も多い結果となった。次いで、今回追加された「常時資源ごみを持ち込める場所の整備」40.3%となっており、ごみの排出における労力の低減や見返りが望まれている。一方、「分別品目を増やし、リサイクルを図る」8.1%（前回 11.0% [-2.9 ポイント] ）、「生ごみの堆肥化が容易にできる取り組みを広める」11.7%（前回 24.3% [-12.6 ポイント] ）、「講演会、研修会等を開催し、市民の意識向上」12.3%（前回 17.6% [-5.3 ポイント] ）の項目については選択率が低かった。



(参考) 前回（平成20年度）

問8 家庭ごみの有料化を実施した場合の考え方について

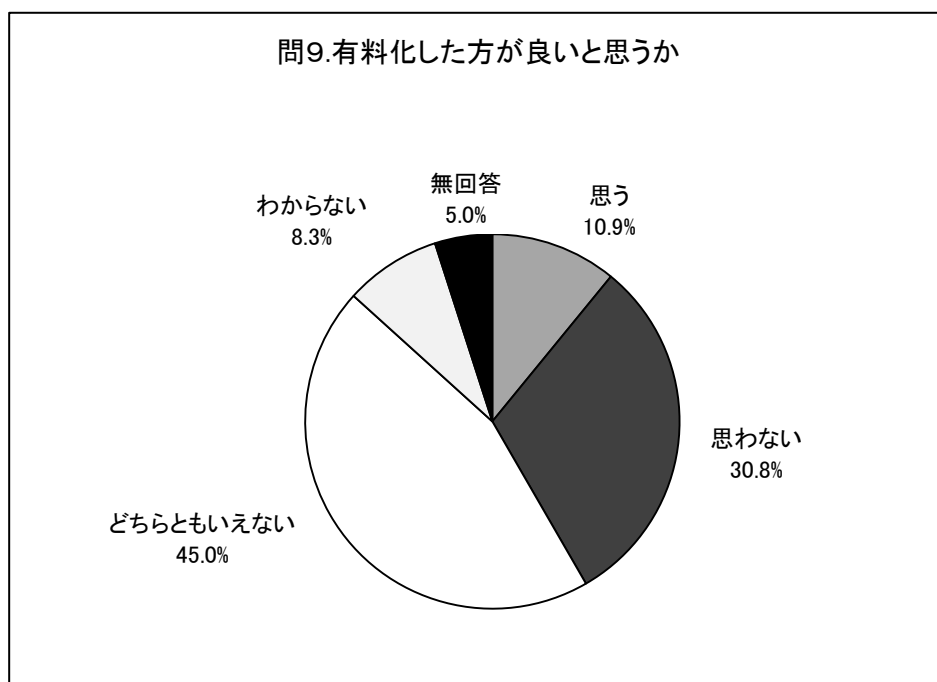
有料化により家庭ごみの減量に効果があると思うか、という問いに対して、「思う」22.6%（前回 29.8% [-7.2 ポイント] ）、「思わない」17.9%（前回 20.5% [-2.6 ポイント] ）となり、**「思う」が「思わない」を超えたものの、7.2 ポイントの減少という結果であった。**また、「どちらともいえない」42.7%（前回 36.9% [+5.8 ポイント] ）が最も多くなった。



（参考）前回（平成20年度）

問9 家庭ごみの有料化の実施について

本年度より追加された項目である。家庭ごみの有料化をした方が良いかという問いに対して、「どちらともいえない」45.0%が最も多く、「わからない」8.3%と合わせると、中立意見が過半数を占める結果となった。次いで、「思わない」30.8%が多く、「思う」10.9%の約3倍が有料化を望んでいないと見て取れる。



高校生アンケート

◇ 調査概要

1) 目的

2) 調査方法

③ 調査対象者

糸魚川市在住の高校生男女 63 人

④ 調査期間

令和元年 8 月 22 日～令和元年 9 月 12 日

⑤ 調査方法

郵送による自記入調査法

⑥ 回収結果

対象者数	63
回収数	63
回収率	100%

◇ アンケートの集計方法

本アンケート調査は、以下の方法で集計を行った。

1) 問1・2・3・5・8・9について

「問1・2・3・5・8・9」は、選択肢から当てはまるものを1つ回答する質問であるため、2つ以上の回答があった場合は以下の方法で集計を行った。

⑦ 隣接する2つの選択肢に回答があった場合は、番号の小さい選択肢を有効とした。

例) 「1 ② ③ 4」→「2」

⑧ 隣接しない2つの選択肢に回答があった場合は、無回答として集計した。

例) 「① 2 ③ 4」→「無回答」

⑨ 3つ以上の選択肢に回答があった場合は、無回答として集計した。

例) 「① ② 3 4」→「無回答」

2) 問4について

「問4」は、分別区分ごとの排出量を記載する質問であるため、巾のある回答や小数点以下の回答があった場合は以下の方法で集計を行った。

⑩ 巾のある回答があった場合は、最大値を有効とした。

例) 「2～3個」→「3個」

⑪ 小数点以下の回答があった場合は、小数点以下を繰り上げた値を有効とした。

例) 「0.5個」→「1個」

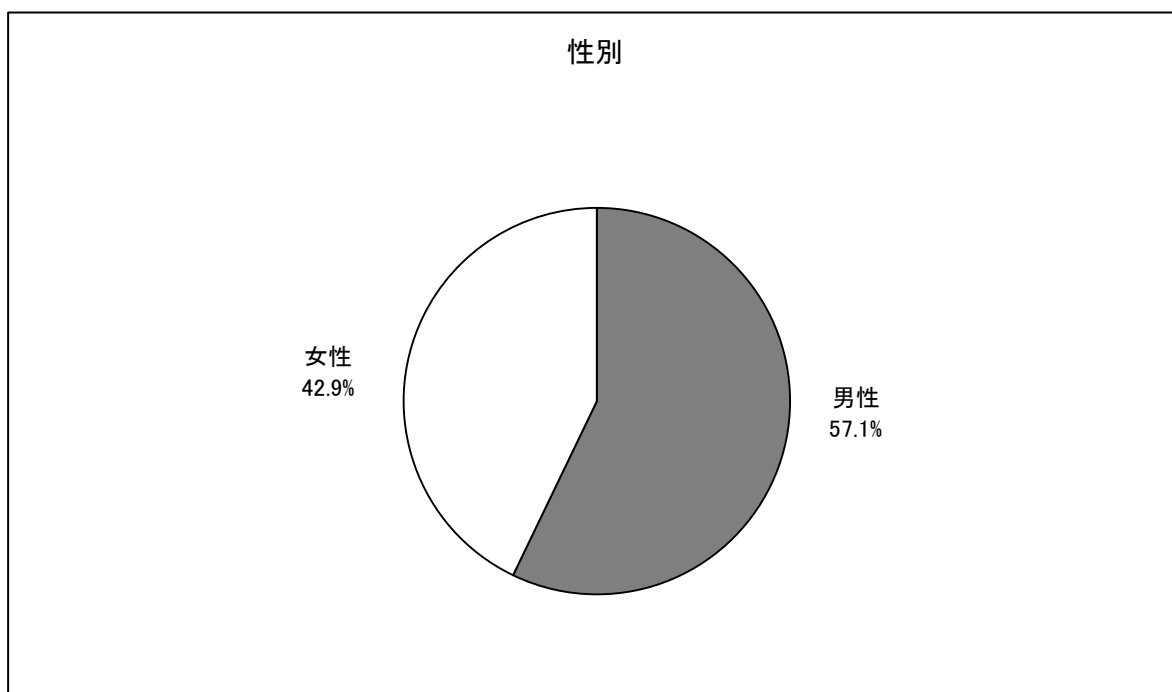
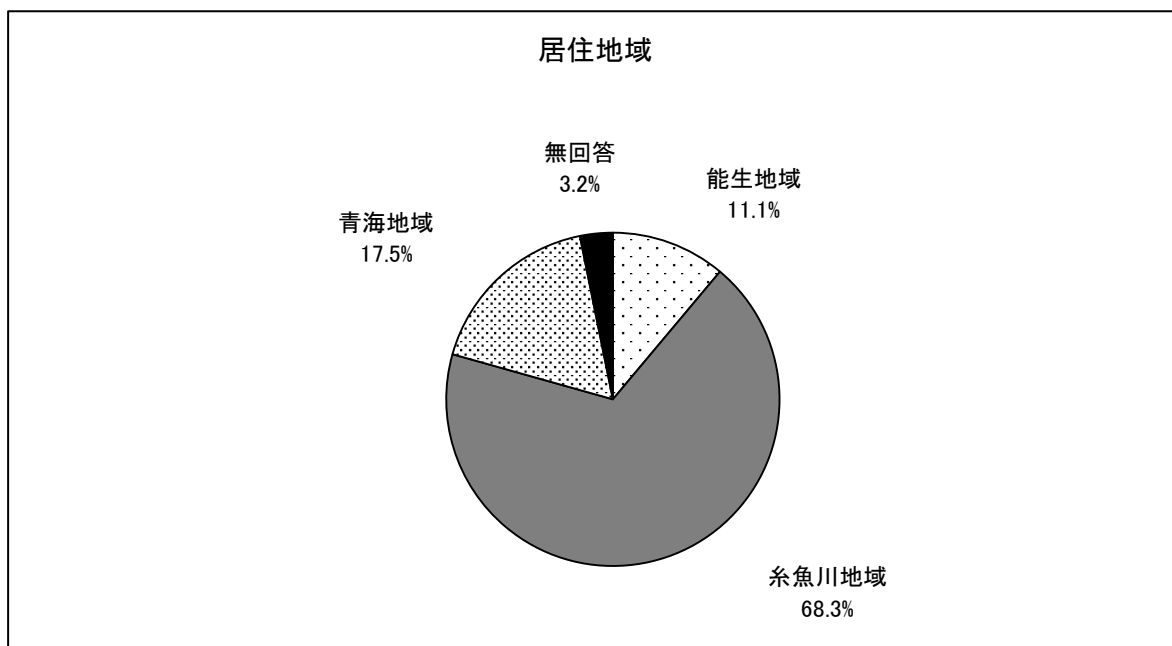
3) 問6について

「問6」は、選択肢から当てはまるものを1つ回答する質問であるが、2つ以上の回答があった場合も全て有効として集計を行った。

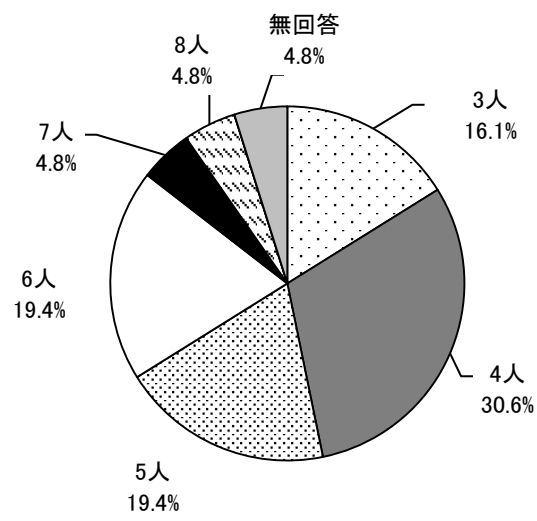
◇ サンプル（属性データ）

本アンケートは令和元年 8 月 22 日～令和元年 9 月 12 日に実施した。糸魚川市在住の高校生 63 人を対象に調査票を配布し、63 名（100%）の回答を得た。アンケートのサンプルは、本市内高校生の性別・居住地域別の構成をもとに層化抽出した。

以下に回答者の居住地域、性別、世帯人数の属性データを示す。性別では男性の回答が 57.1% で、男女比はやや男性が多い結果となった。世帯人数は 2 人以下の回答は無く、「3 人」と「4 人」が半分弱を占めている。



世帯人数

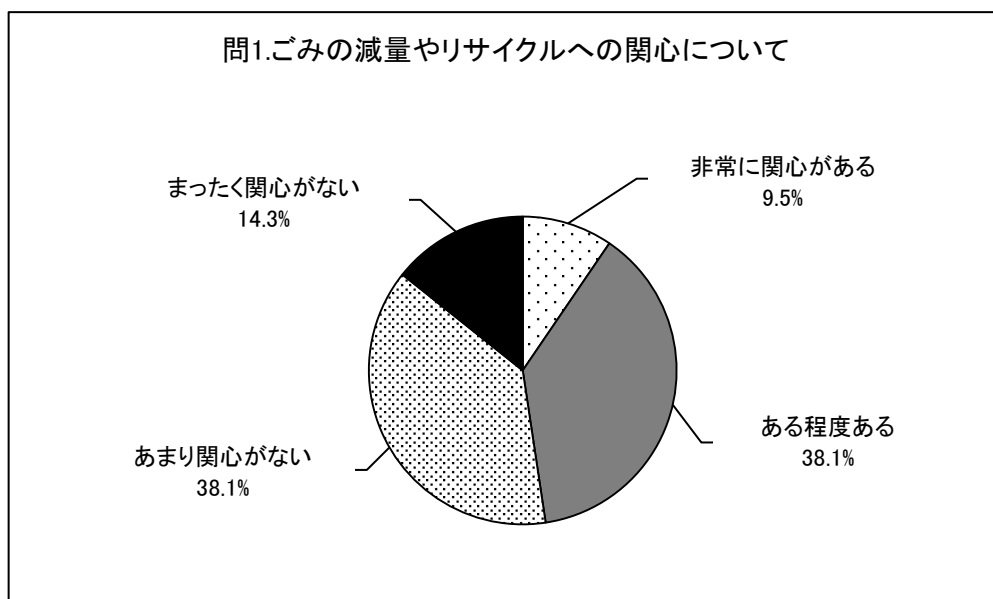


◇ アンケート結果

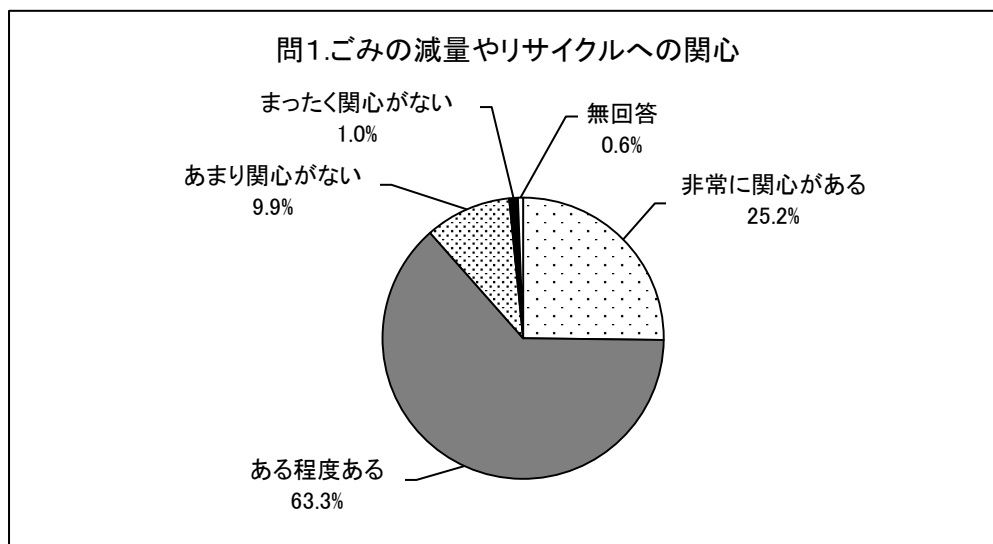
問1 ごみの減量とリサイクルへの関心

「非常に関心がある」9.5%と「ある程度ある」38.1%を合わせると 47.6%、「まったく関心がない」14.3%と「あまり関心がない」38.1%が合わせて52.4%で、関心を持っていない高校生が半数を超えており、若年層の認識の改善が今後の課題になると思われる。

同時に行った一般家庭全体の調査結果と比較すると、「非常に関心がある」が半分以下、「ある程度ある」が半分程度、とごみの減量とリサイクルへの関心が低いことが読み取れる。



今回の調査結果

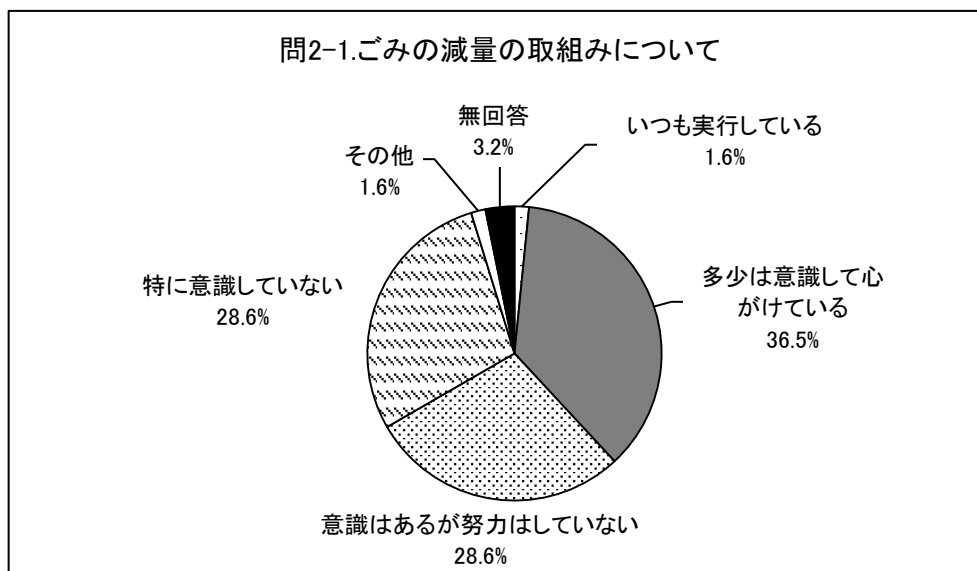


(参考) 一般家庭 (令和元年度)

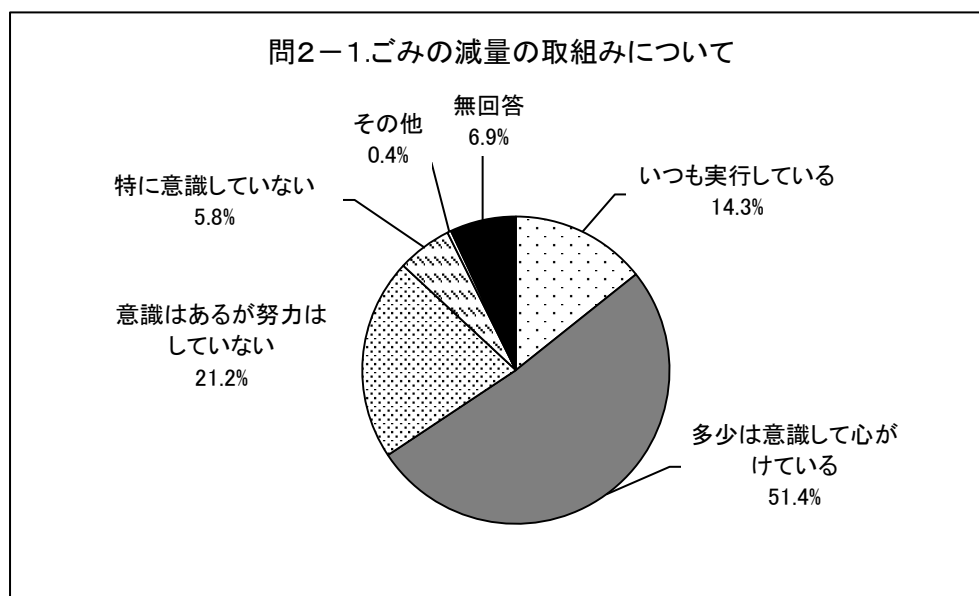
問2－1 ごみの減量の取組みについて

問1で関心があると答えた回答者の内、「いつも実行している」1.6%と「多少は意識して心がけている」36.5%を合わせても38.1%となり、4割にも満たず、「意識はあるが努力はしていない」28.6%、「特に意識していない」28.6%が同率で、合わせると**57.2%と半数を超えており、高校生の多くはごみの減量やリサイクルへの取組みに対して消極的**である事が見て取れる。

同時に行った一般家庭全体の調査結果と比較すると、「いつも実行している」が1/10程度であり、「多少は意識して心がけている」も低い。また、「特に意識していない」が3割程度あり一般家庭の5.8%と比べるとかなり高くなっており、**ごみ減量への関心が低い**ことが読み取れる。



今回の調査結果

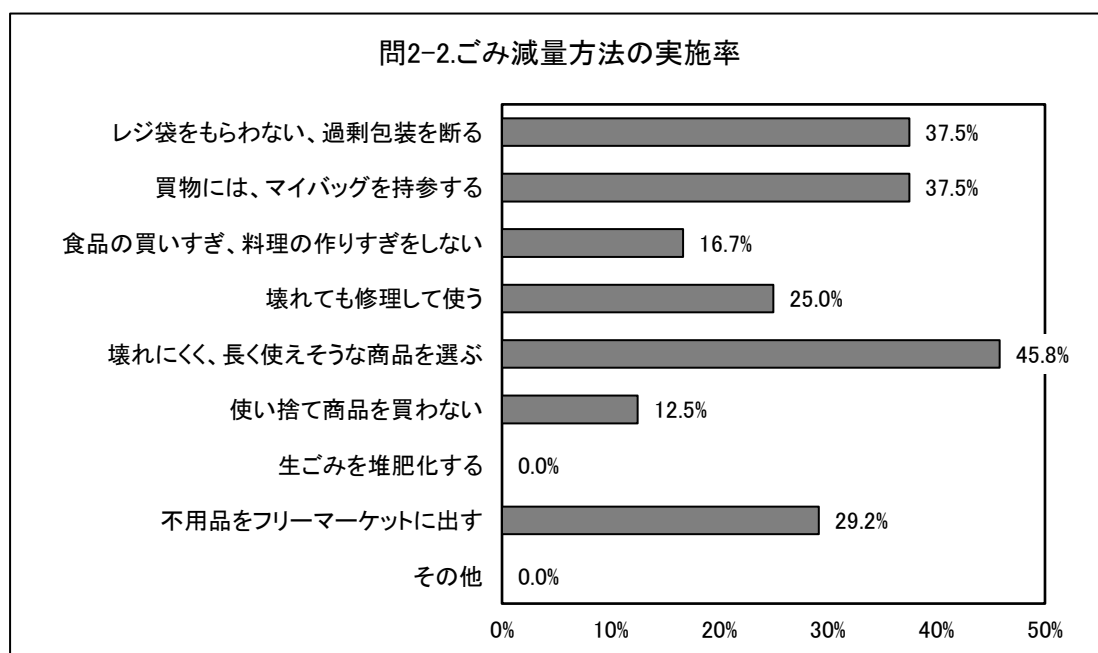


(参考) 一般家庭 (令和元年度)

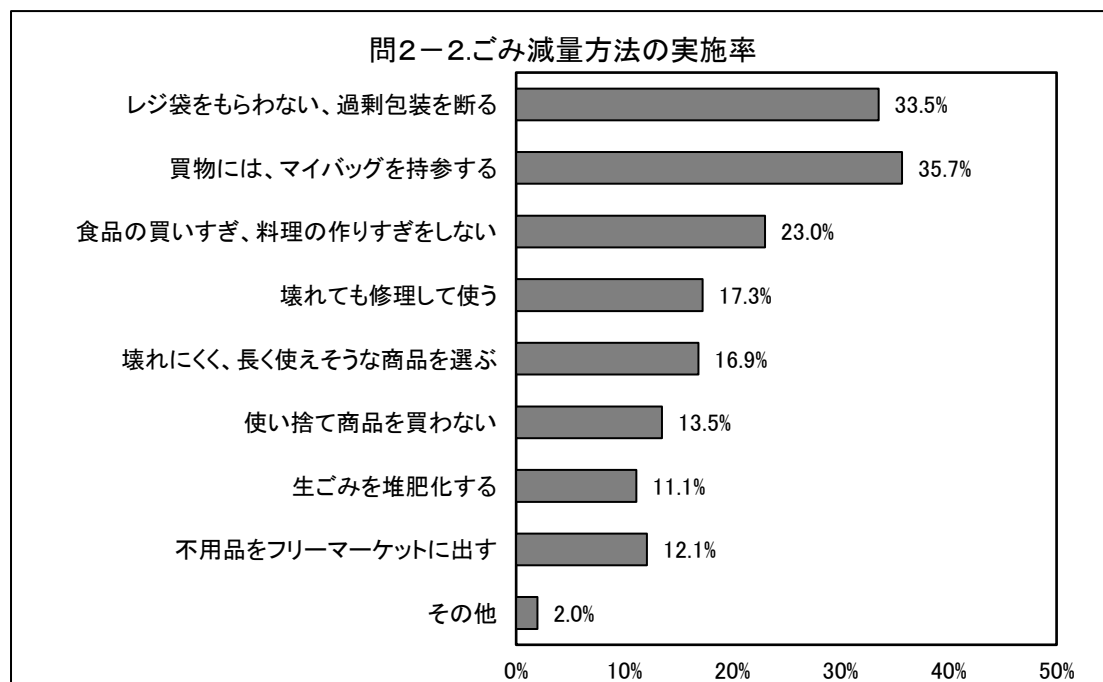
問2-2ごみ減量方法の実施率

実施率は、各項目の回答数を総回答人数 63 人で割り、算出した。「長く使えそうな商品を選ぶ」**45.8%が最も高く**、「レジ袋をもらわない」と「マイバックを持参」がともに 37.5%となっている。次いで「フリーマーケットに出す」が 29.2%、「修理して使う」が 25.0%となった。他の項目はいずれも 20%に満たなかった。

同時に行った一般家庭全体の調査結果と比較すると、「壊れにくく、長く使えそうな商品を選ぶ」が高い反面、「食品の買いすぎ、料理の作りすぎをしない」「生ごみをたい肥にする」などが低くなっている。



今回の調査結果

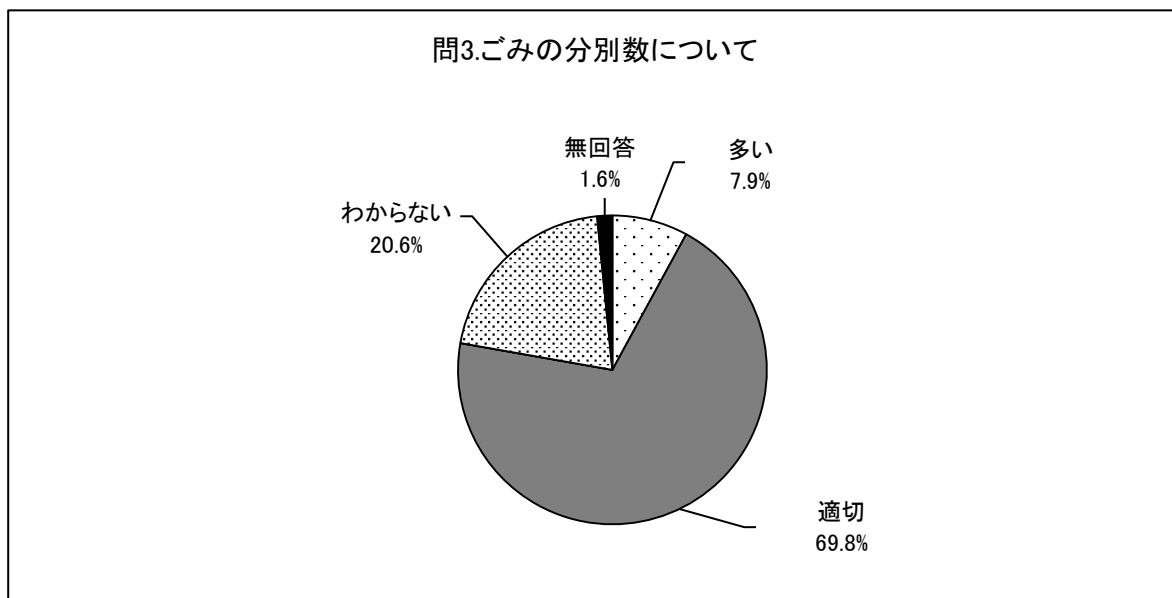


(参考) 一般家庭 (令和元年度)

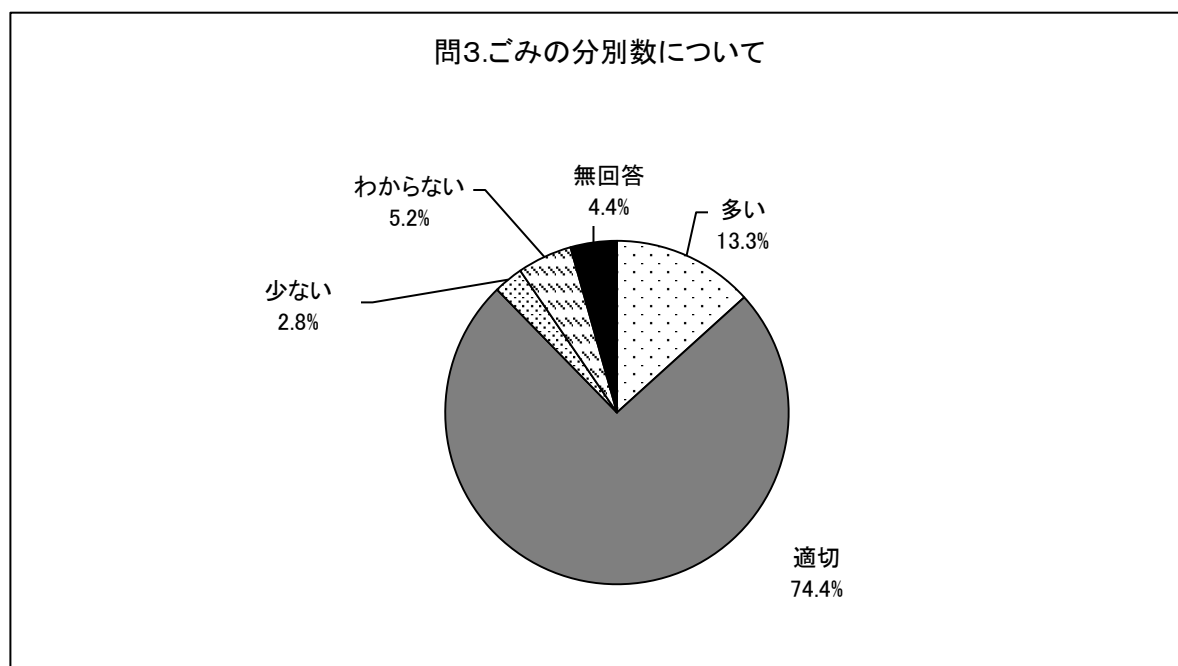
問3 現在の分別数について

現在の 19 分別に対して、「適切」69.8%が最も多い結果となり、少ないと答えた回答者はいなかった。

同時に行った一般家庭全体の調査結果と比較すると、「多い」が半分程度となった。



今回の調査結果



(参考) 一般家庭 (令和元年度)

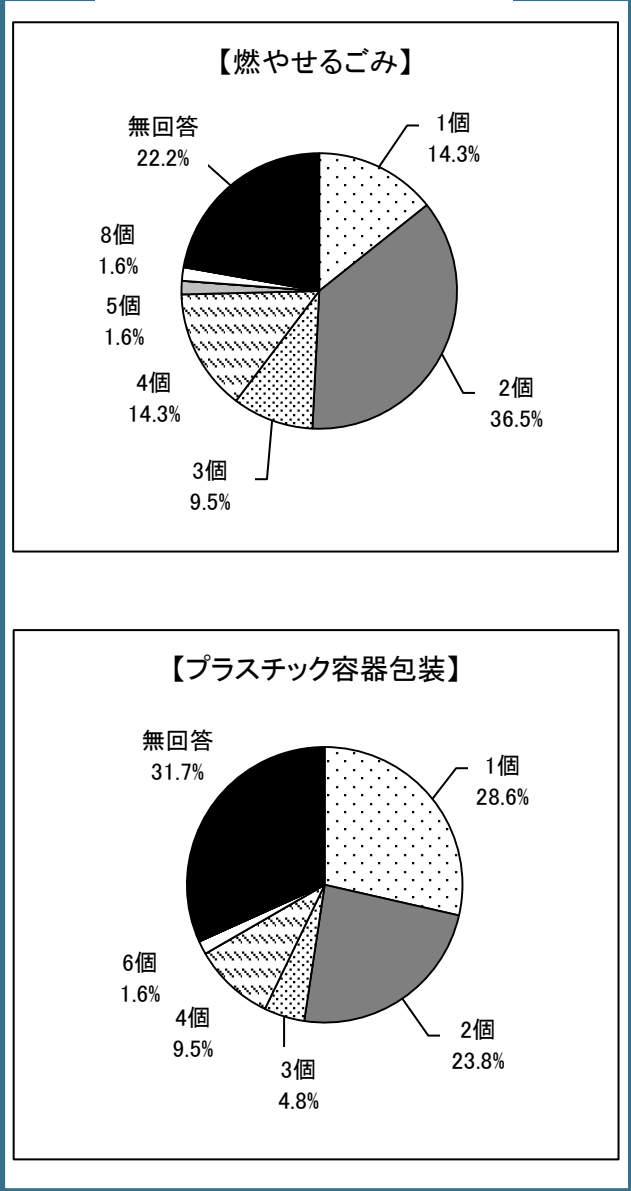
問4 ごみの排出量について（10 リットルのレジ袋換算）

各項目の排出量は、収集日 1 回あたりに出すごみの量を 10 リットルのレジ袋に換算して算出した。

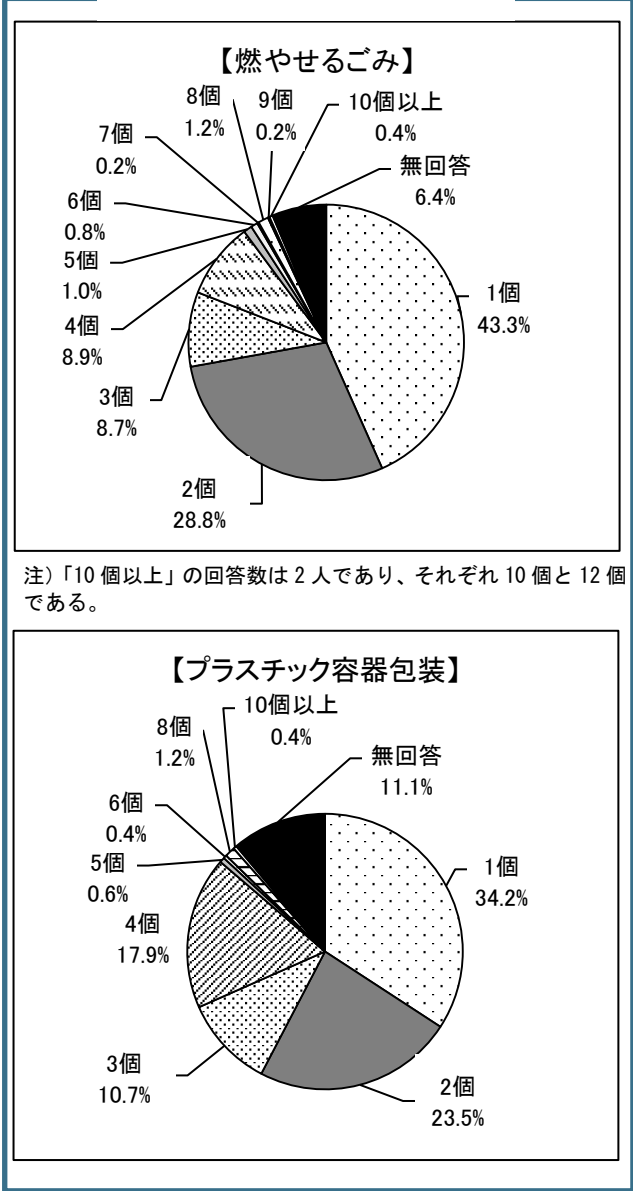
燃やせるごみ（週 3 回）の 1 回あたりの排出量は「2 個」36.5%の回答が最も多く、次いで「1 個」と「4 個」が同率で 14.3%の順となり、大部分は 4 個/回以下という結果となった。プラスチック容器包装（週 1 回）は「1 個」28.6%の回答が最も多く、「2 個」23.8%の回答が次に多く過半数が 2 個/回以下であった。ペットボトル（月 2 回）、白色トレイ（月 1 回）、びん類（月 1 回）、金物類（月 1 回）、埋立ごみ（月 1 回）紙・布類は総じて 2 個/回以下が殆どを占めている。

全体的に無回答の割合が高く、家庭のごみ排出状況を認識していない高校生が少なくない事が見て取れる。

高校生の回答

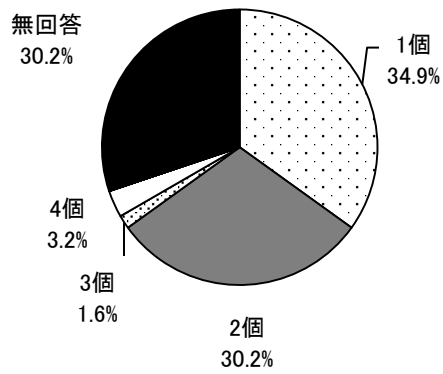


（参考）一般家庭（令和元年度）

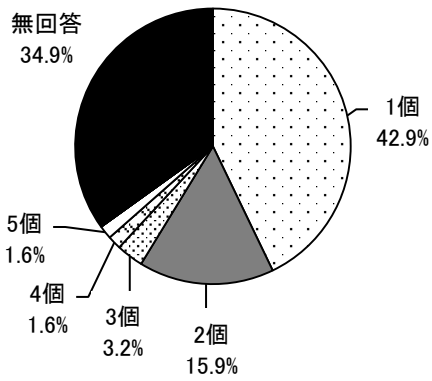


高校生の回答

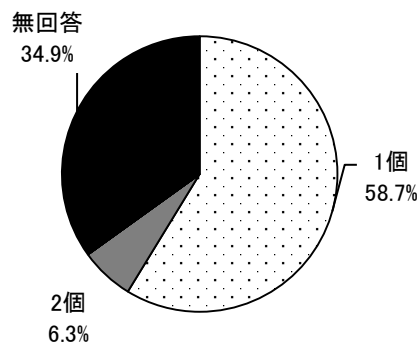
【ペットボトル】



【白色トレイ】

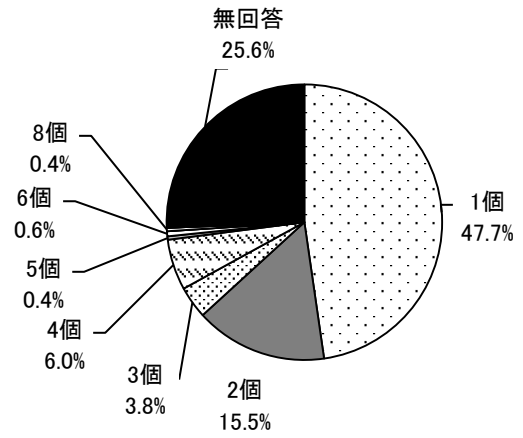


【びん類】

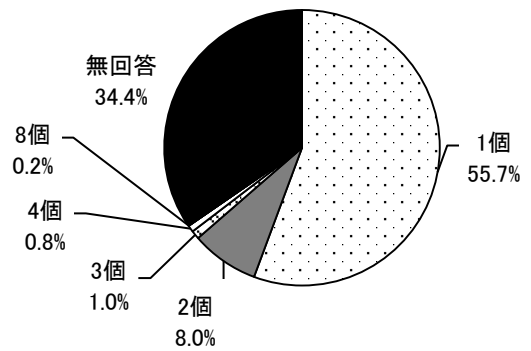


(参考) 一般家庭 (令和元年度)

【ペットボトル】

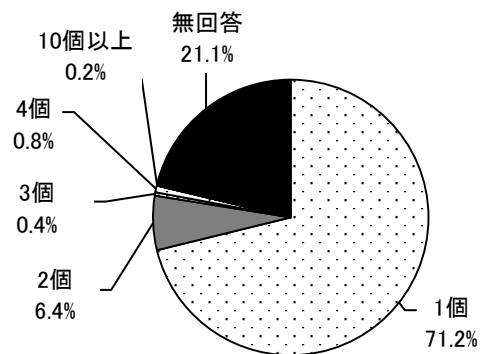


【白色トレイ】



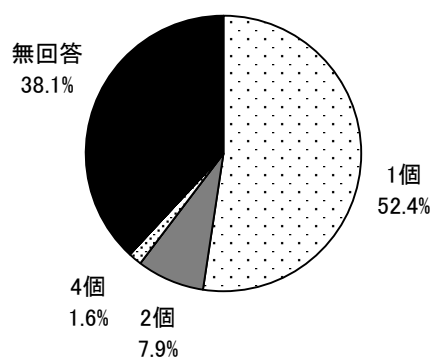
注)「10個以上」の回答数は2人であり、いずれも12個である。

【びん類】

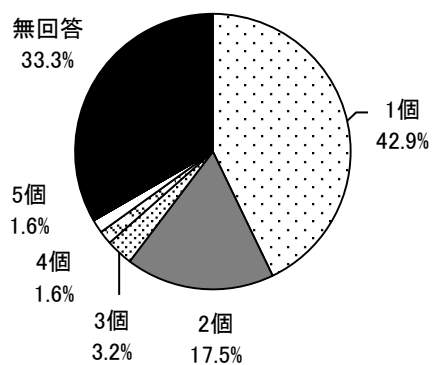


高校生の回答

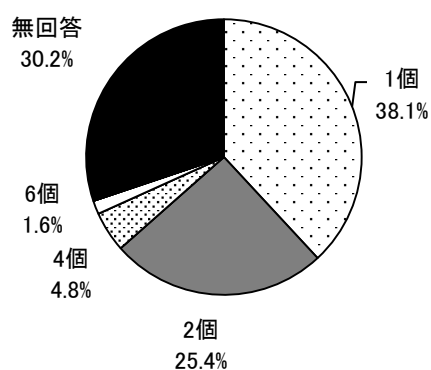
【金物類】



【紙・布類】

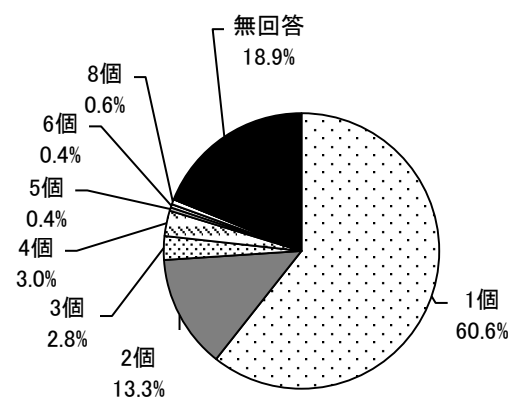


【埋立ごみ】

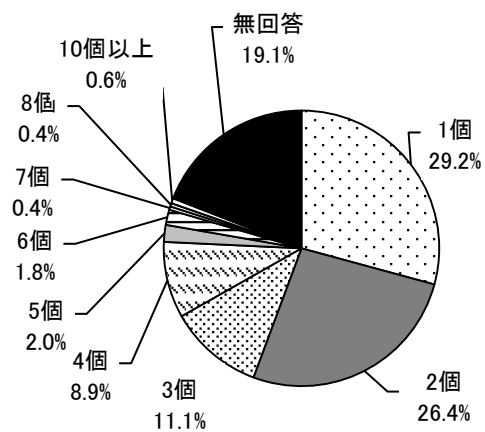


(参考) 一般家庭 (令和元年度)

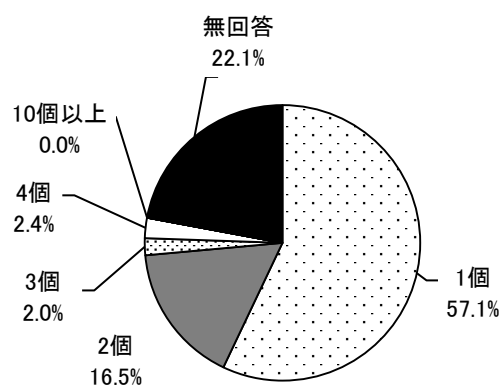
【金物類】



【紙・布類】



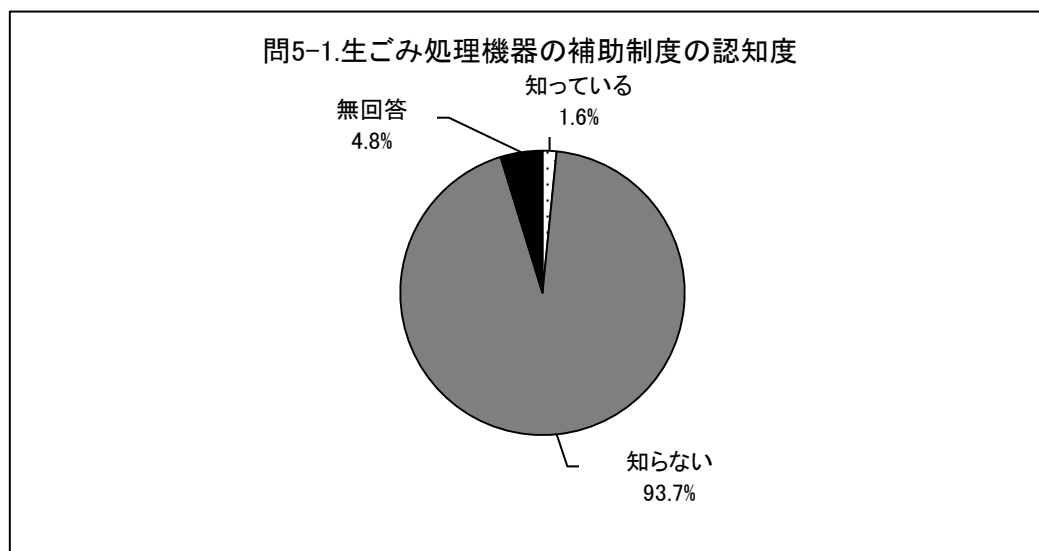
【埋立ごみ】



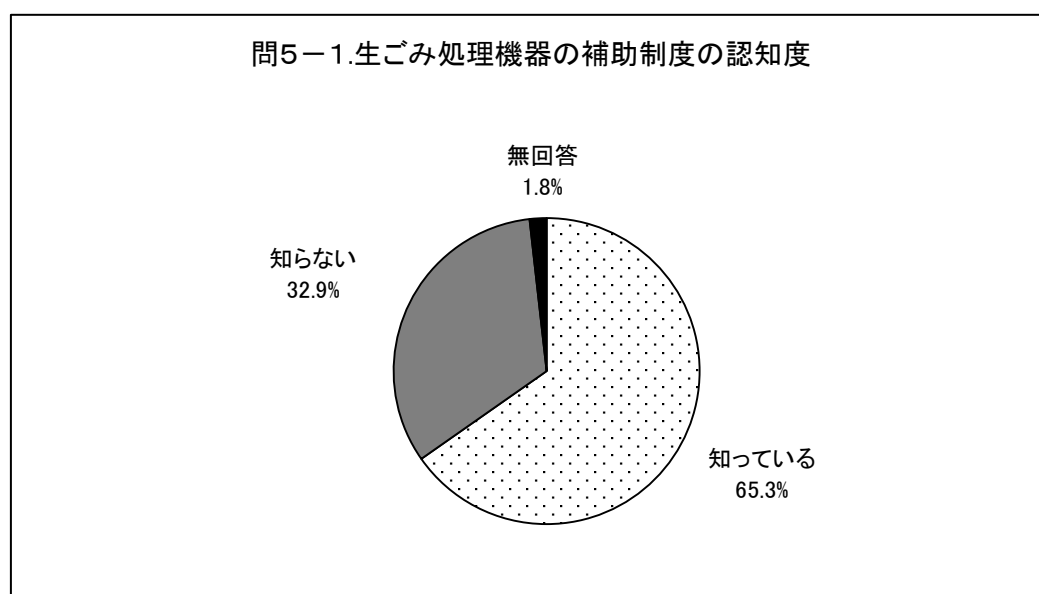
問5－1 生ごみ処理器設置費補助金制度について

「知っている」1.6%、「知らない」93.7%であり、高校生の9割以上は当制度を知らないという結果となった。

同時に行った一般家庭全体の調査結果と比較すると、ほとんどの高校生が制度を知らないという結果となった。



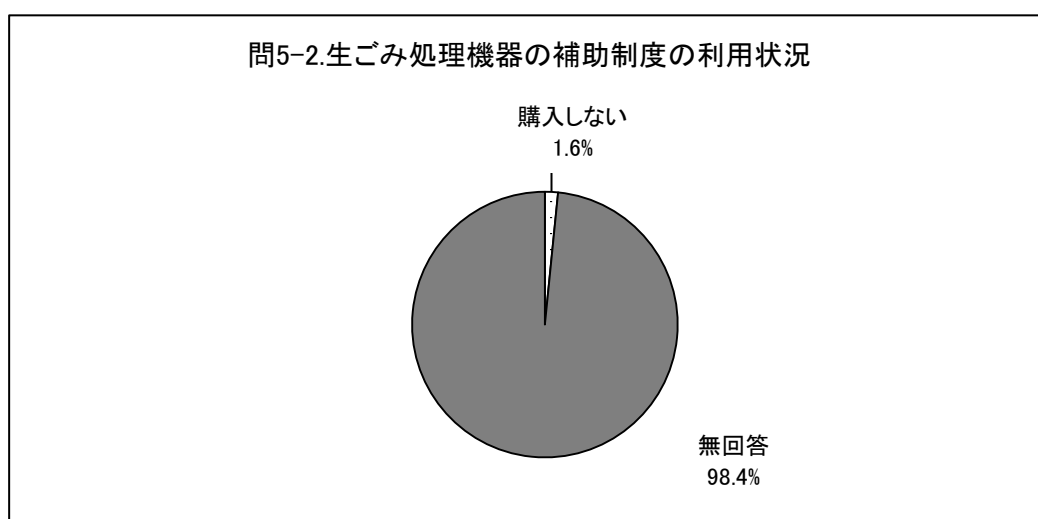
今回の調査結果



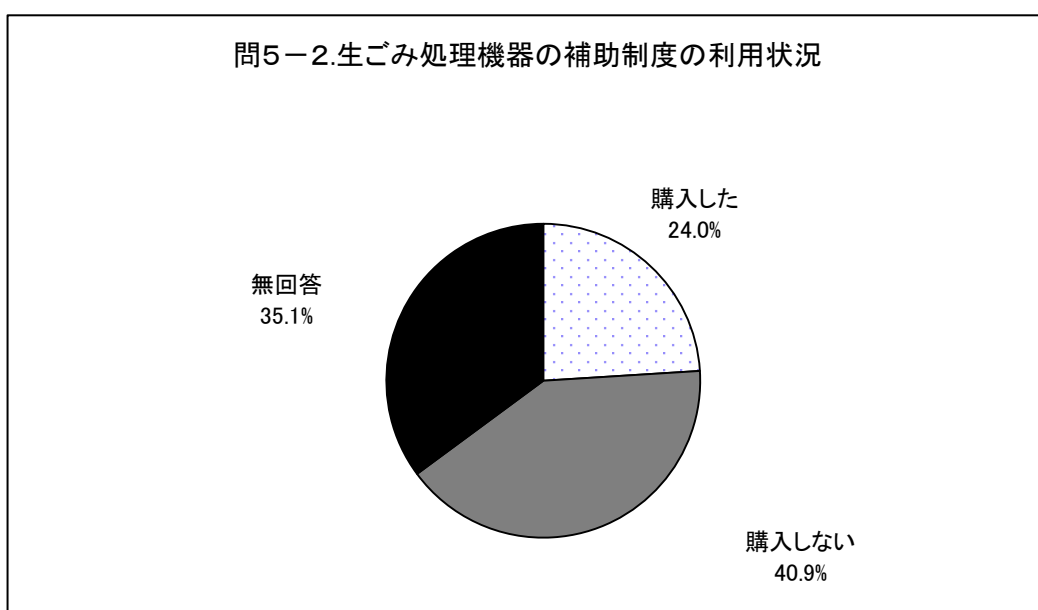
(参考) 一般家庭 (令和元年度)

問5－2生ごみ処理器設置費補助金制度の利用状況

制度を知っていると回答したものの中、実際に制度を利用して「購入した」のは0で、殆どが無回答であった。



今回の調査結果



(参考) 一般家庭 (令和元年度)

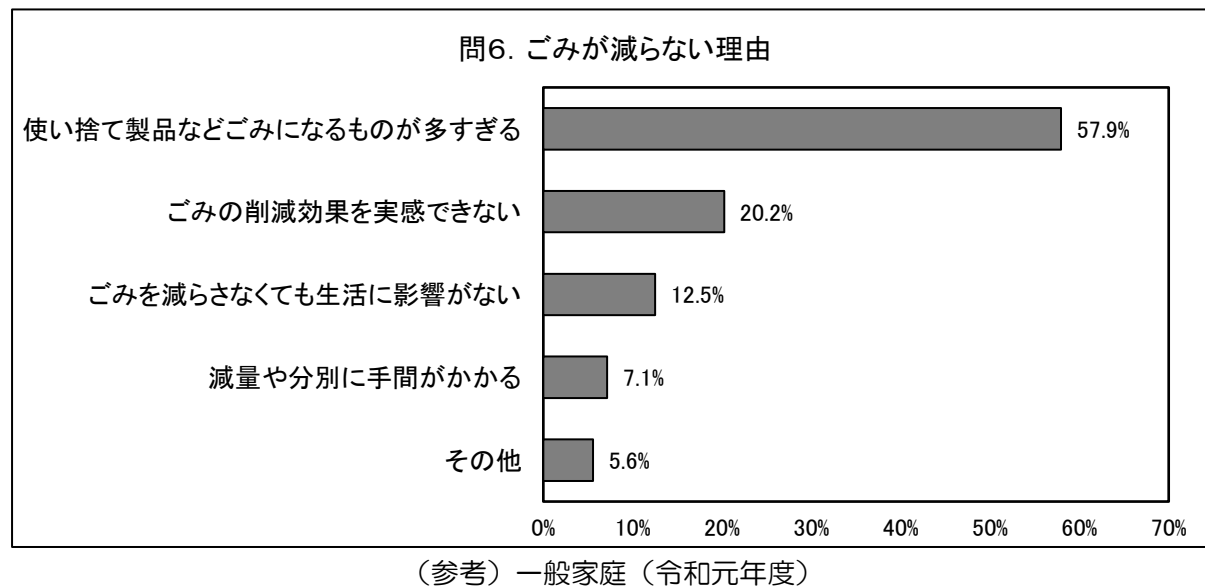
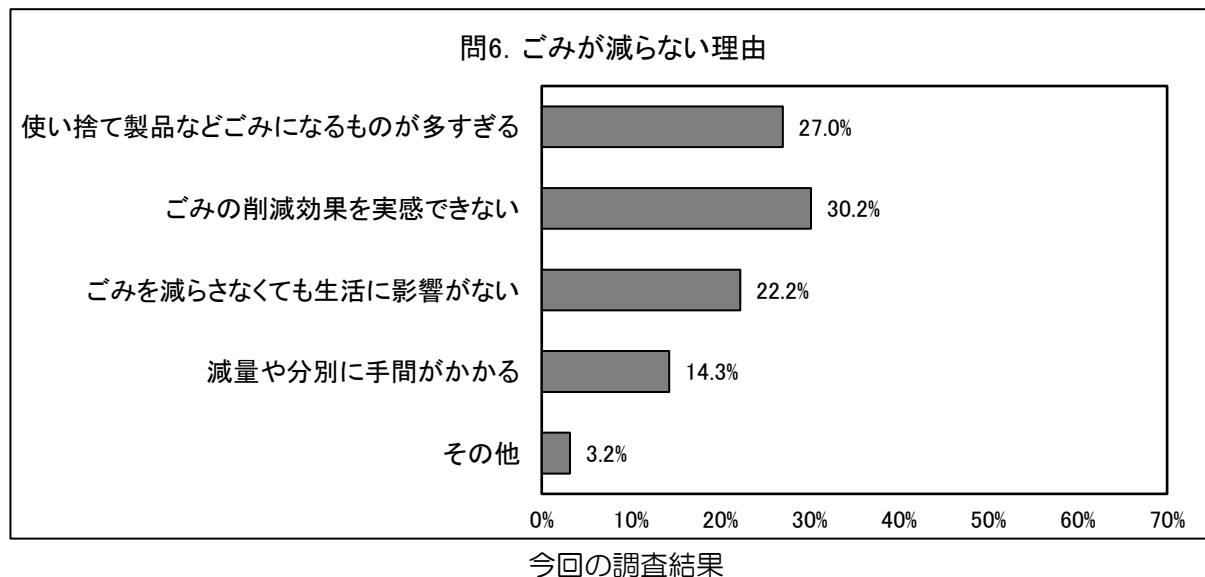
問5－3生ごみ処理器の購入実績

「制度を利用して購入した」の回答は0であった。

問6 ごみが減らない原因

「ごみの削減効果を実感できない」30.2%が最も多く、次いで「使い捨て製品などが多すぎる」27.0%、「生活に影響がない」が22.2%となっており、ごみを減らす必要性の理解が不足していると思われる。

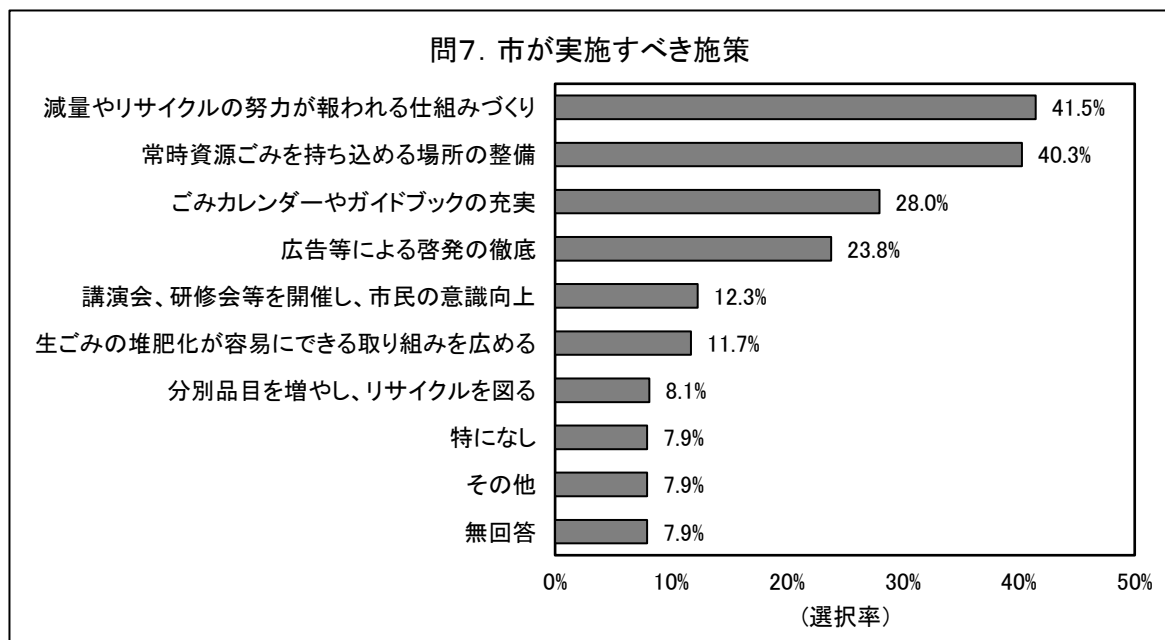
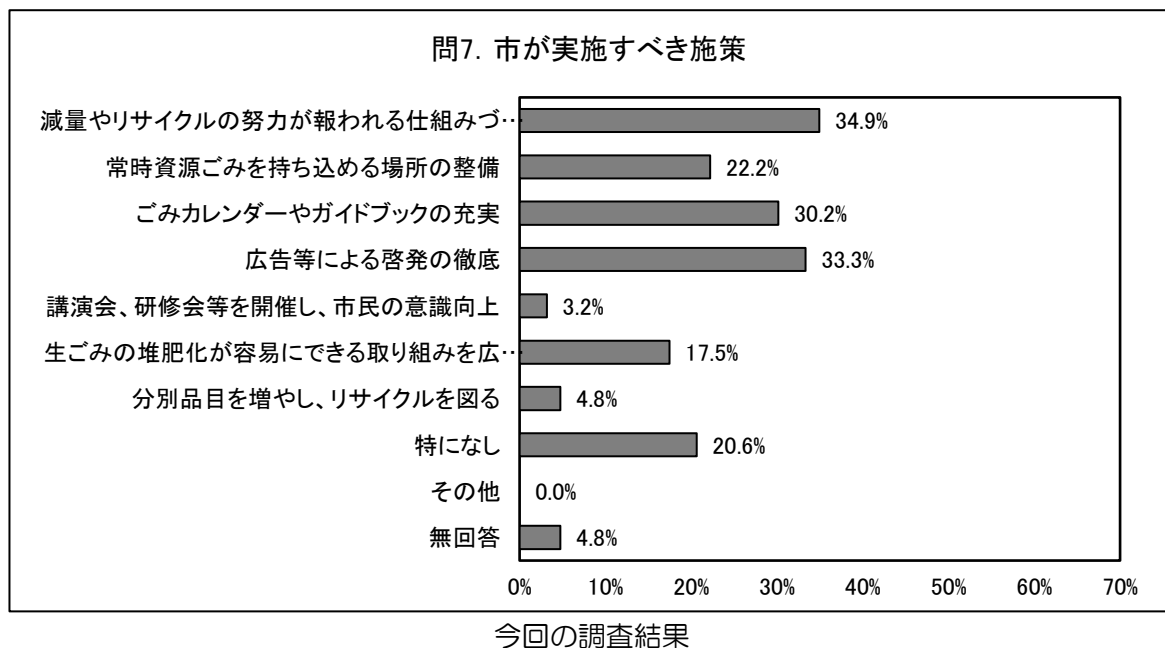
同時に行った一般家庭全体の調査結果と比較すると、「使い捨て製品などごみになるものが身の回りに多すぎるから」が半分以上となった。「ごみの削減効果を期待できない。」「ごみを減らさなくても自分たちの生活に影響がないから。」が一般家庭と比べ高かった。



問7 市が実施すべき施策

「減量やリサイクルの努力が報われる仕組みづくり」34.9%が最も多い結果となった。次いで、「広告等による啓発の徹底」33.3%、「ごみカレンダーやガイドブックの充実」30.2%の上位3つが多かった。一方、「分別品目を増やし、リサイクルを図る」4.8%、「講演会、研修会等を開催し、市民の意識向上」3.2%の項目については選択率が極端に低かった。

同時に行った一般家庭全体の調査結果と比較すると、「ごみカレンダーやごみの分別ガイドブックなどの内容を充実する」「広告等による啓発を徹底する」が高く、「減量やリサイクルの努力が報われる仕組みづくり」「常時資源ごみを持ち込める場所を整備する」などが低くなっている。

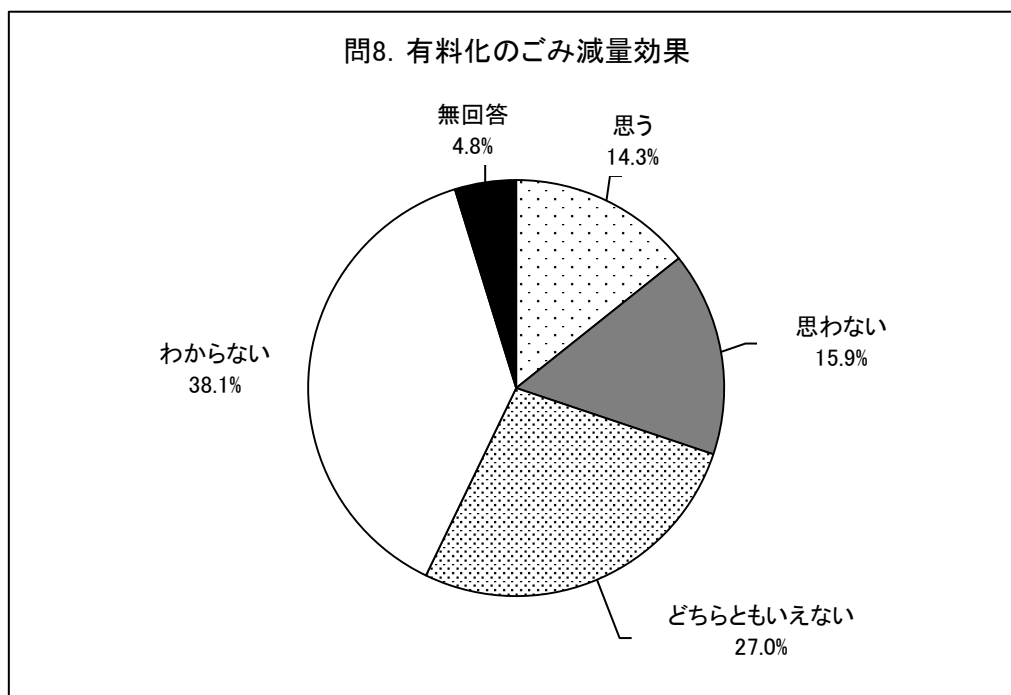


(参考) 一般家庭 (令和元年度)

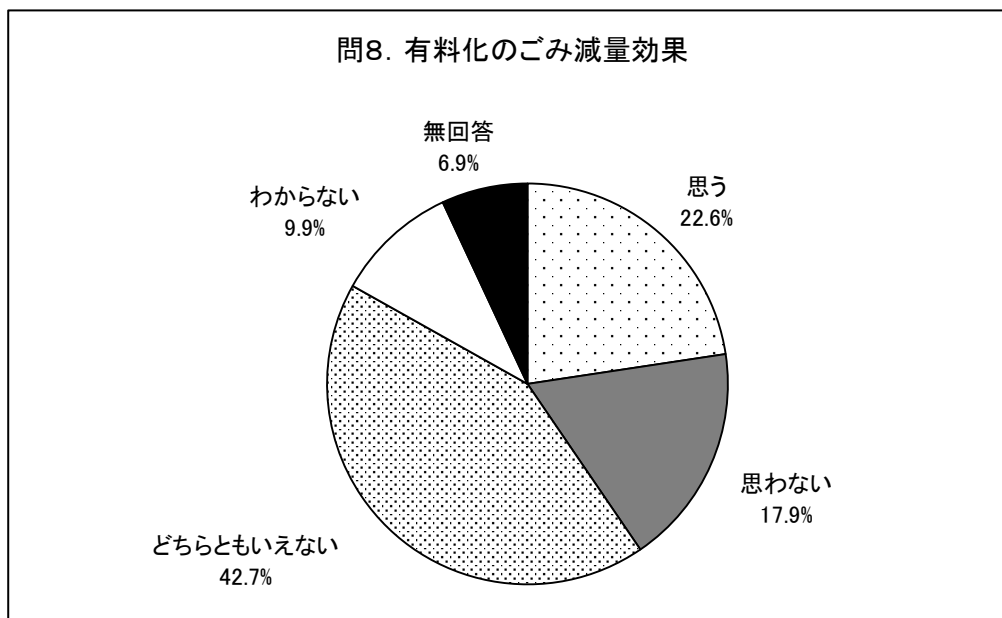
問8 家庭ごみの有料化を実施した場合の考え方について

有料化により家庭ごみの減量に効果があると思うか、という問いに対して、「思う」14.3%、「思わない」15.9%となり、「どちらともいえない」27.0%が上記の両回答を上回っており、「わからない」38.1%が最も多く、合わせると中立的意見が65.1%を占める結果となった。

同時に行った一般家庭全体の調査結果と比較すると、ごみ減量化効果に対してあると「思う」は半分程度となった。また、「わからない」という意見が突出していた。



今回の調査結果

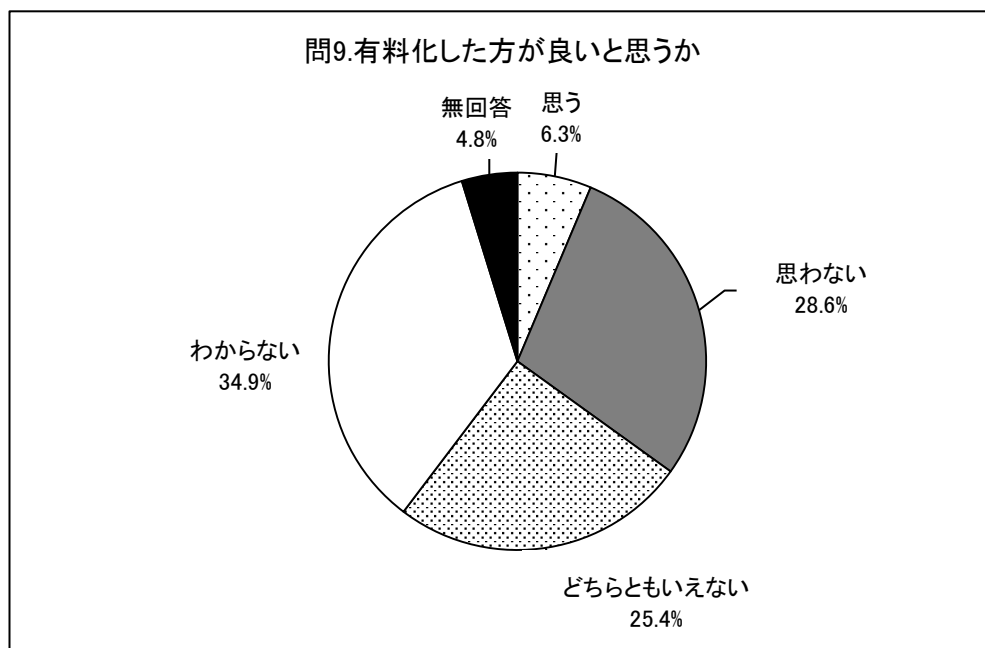


(参考) 一般家庭 (令和元年度)

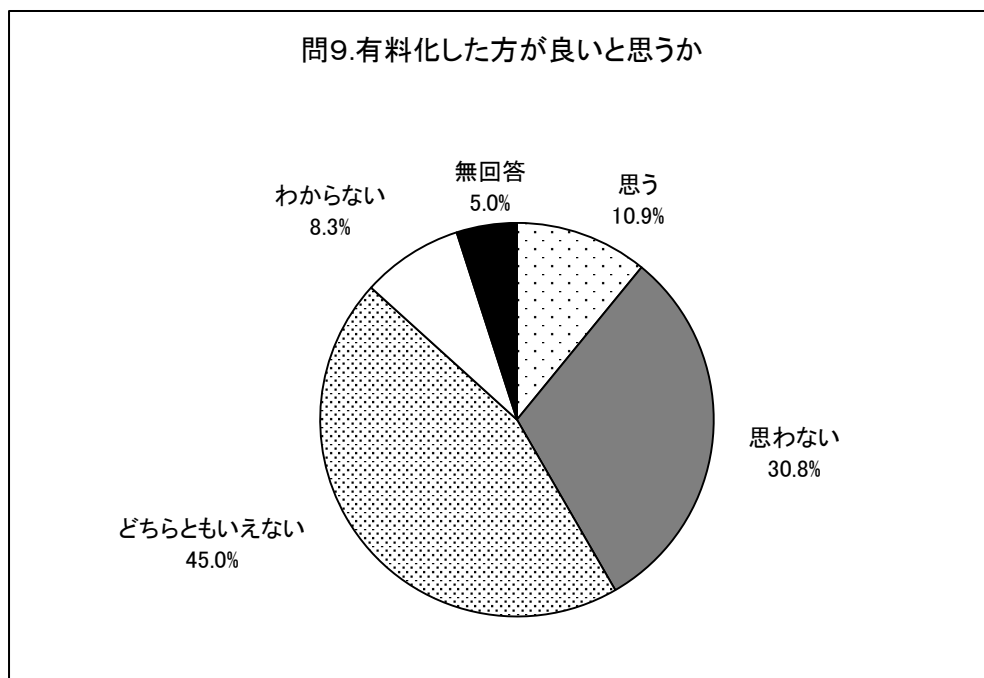
問9 家庭ごみの有料化の実施について

本年度より追加された項目である。家庭ごみの有料化をした方が良いかという問いに対して、「わからない」34.9%が最も多く、「どちらともいえない」25.4%と合わせると、中立意見が60.3%を占める結果となった。次いで、「思わない」28.6%が多かった。

同時に行った一般家庭全体の調査結果と比較すると、「思う」「思わない」「どちらともいえない」が低く、「わからない」という意見が突出していた。



今回の調査結果



(参考) 一般家庭 (令和元年度)

事業所アンケート

◇ 調査概要

1) 目的

2) 調査方法

- ① 調査対象者
糸魚川市内の事業所 83 件
- ② 調査期間
令和元年 5 月 20 日～令和元年 6 月 5 日
- ③ 調査方法
郵送による自記入調査法
- ④ 回収結果

対象者数	83
回収数	61
回収率	73.5%

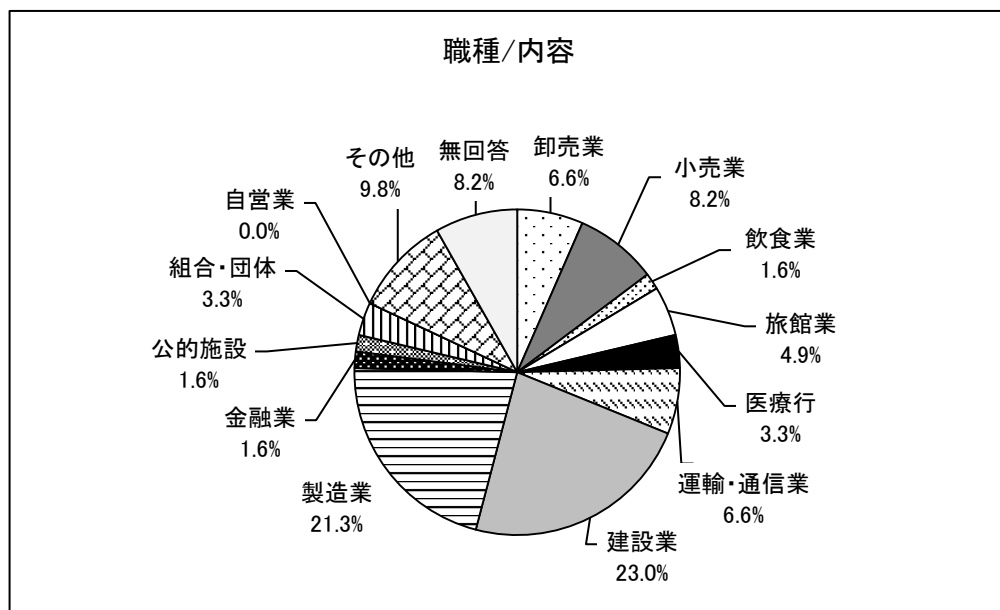
◇ アンケート結果

本アンケートは令和元年 5 月 20 日～令和元年 6 月 5 日に実施した。糸魚川市内の事業所 83 件を対象に調査票を郵送で配布し、61 件（73.5%）の回答を得た。

問1 事業所の概要について

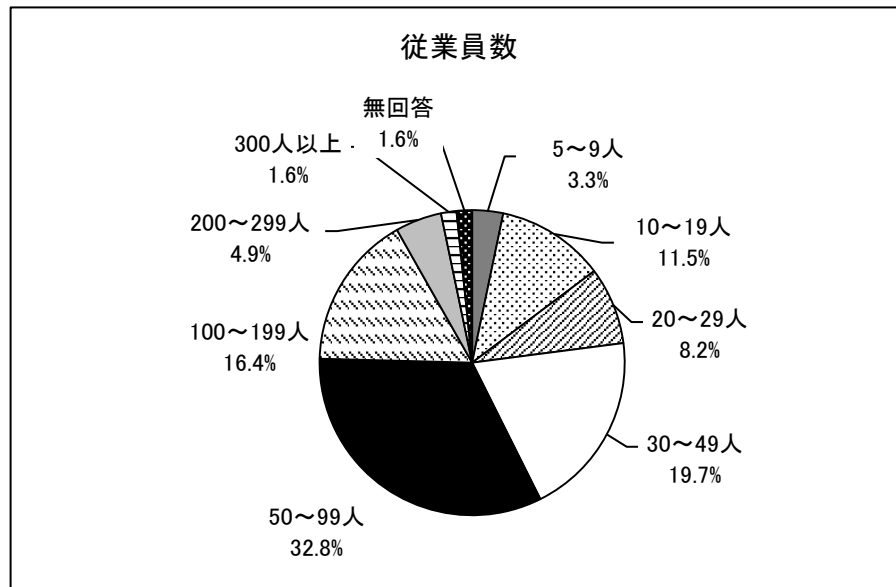
(1) 業種／内容

「建設業」23.0%が最も多く、次いで「製造業」21.3%となっており、他業種は 1 割未満という結果となった。回答を得ている業種のうち、約半数が二次産業である事がうかがえる。



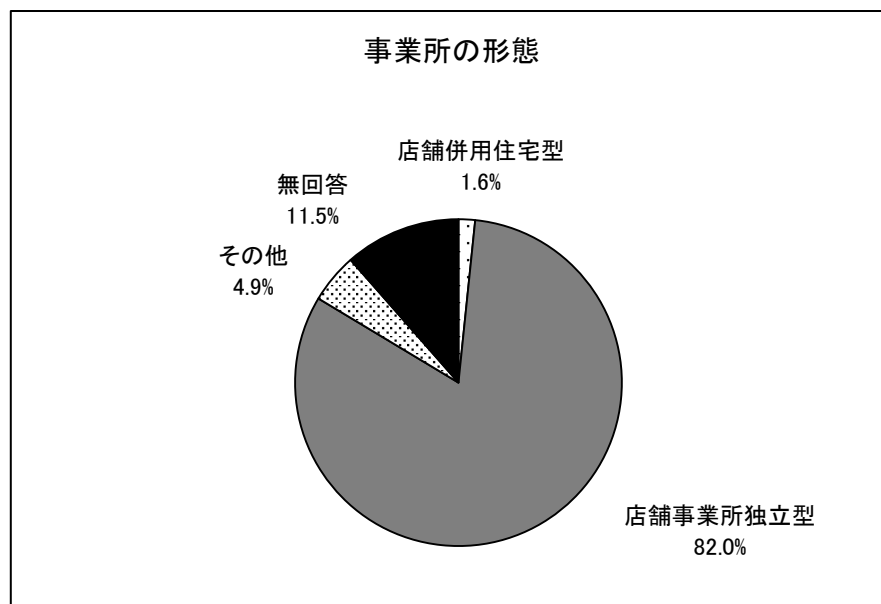
(2) 従業員数

従業員数を総務省統計局の経済センサスを基準として分類した結果、「50～99人」32.8%が最も多く、次いで「30～49人」、「100～199人」の順となった。「1～4人」からの回答数は0であった。尚、「300人以上」と答えたのは1件で、1,217人であった。



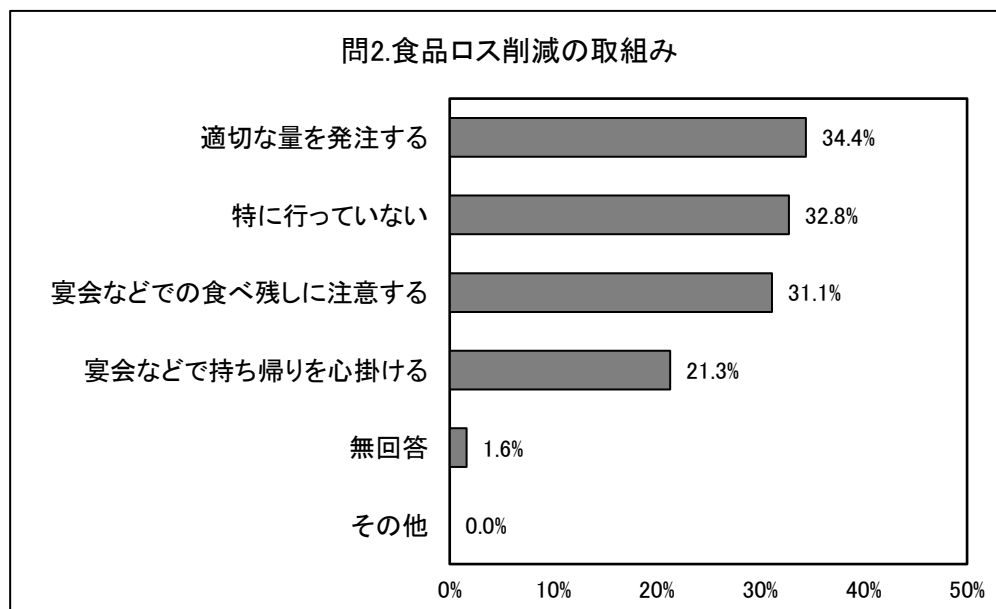
(3) 事業所の形態

「店舗事業所独立型」82.0%が圧倒的に多く、8割以上の事業所は独立している事がうかがえる。対して、「店舗併用住宅型」1.6%の回答数は1件のみである。



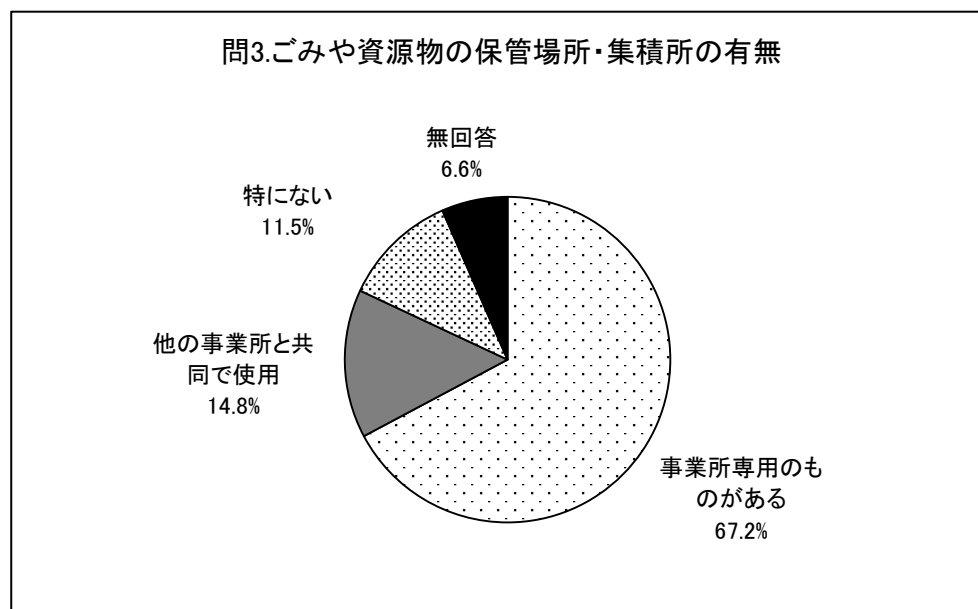
問2 事業所として行っている食品ロス削減の取組み

「適切な量を発注する」34.4%が最も多く、次いで「特に行っていない」32.8%、「宴会などでの食べ残しに注意する」31.1%の順となっており、回答を得られた事業所の内3分の1が食品ロス削減の取組みを行っていないことがうかがえるが、問1（1）で回答を得た業種の内、業務上で食品を扱うものの割合が低いため異常な結果ではないと考えられる。



問3 ごみや資源物の保管場所・集積所の有無

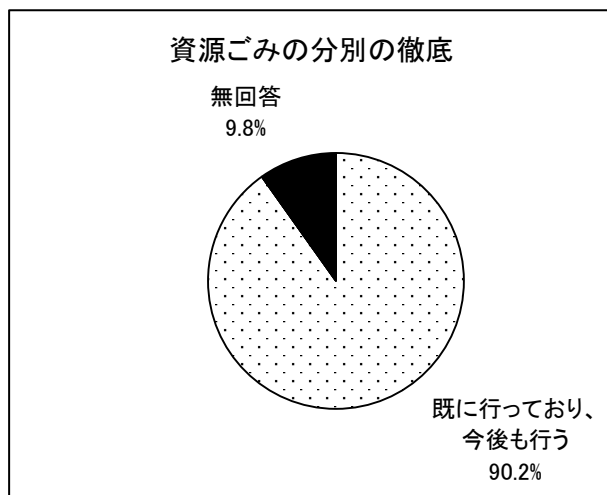
「事業所専用のものがある」67.2%が最も多く、次いで「他の事業所と共同で使用」14.8%の結果となった。また、1割を超える事業所が保管・集積を行う場所を有していない事がうかがえる。



問4 ごみの減量やリサイクル等への取組み

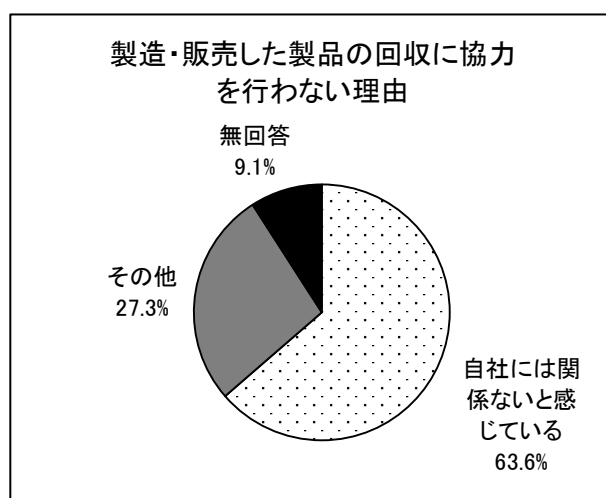
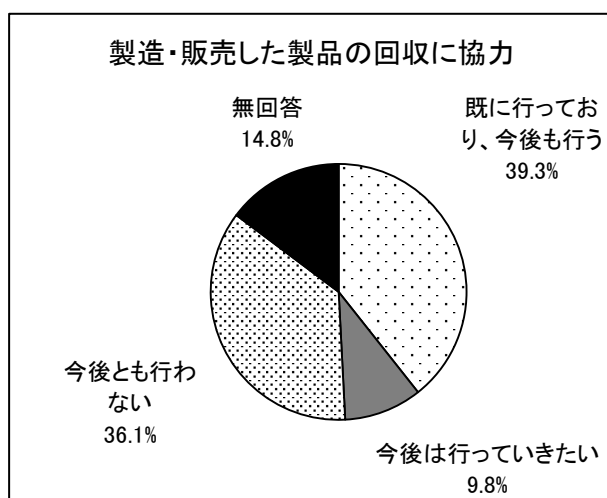
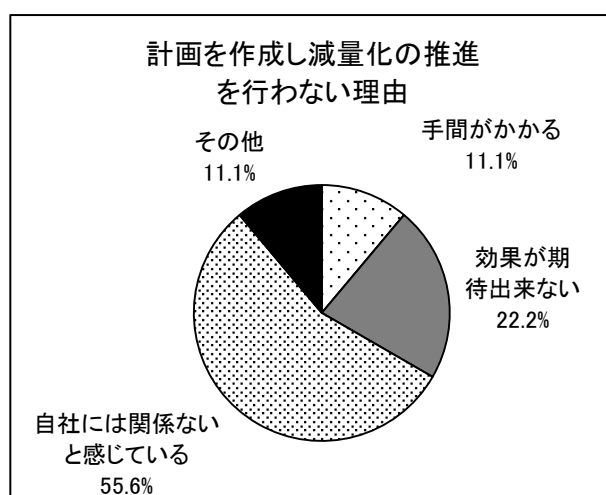
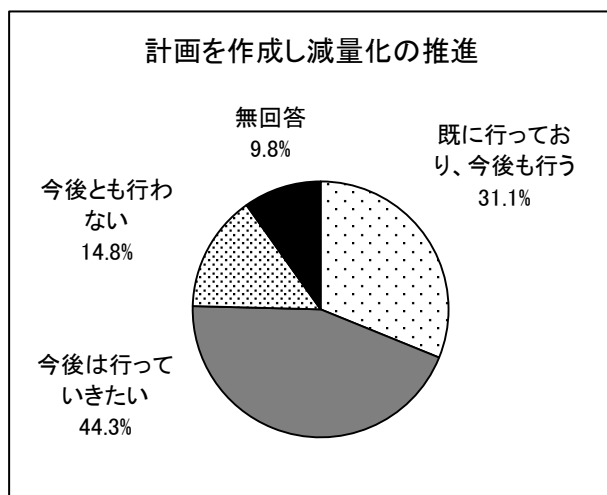
「資源ごみの分別の徹底」を、90.2%の事業者が実施しており、次いで「食品廃棄物の減量」が50.0%の実施率であった。「資源ごみの分別の徹底」を除いた全ての取組みについて、14.8～36.1%の事業者が「今後とも行わない」を選択しており、共通して理由のほとんどが「自社には関係ないと感じている」という結果であった。

取組みの実態

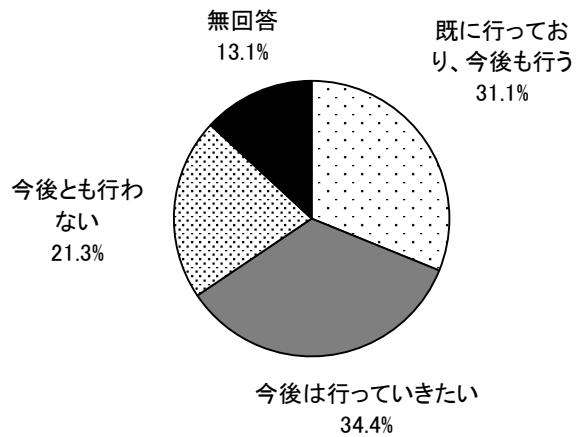


行わない理由

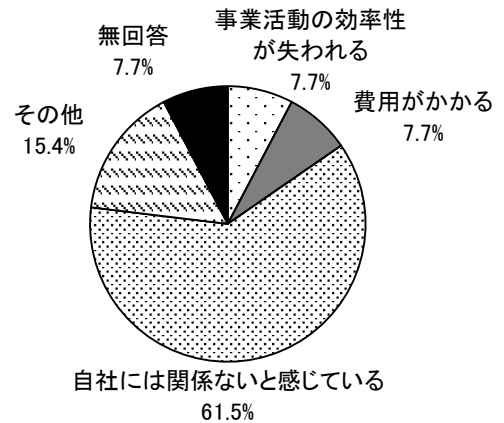
「今後とも行わない」
の回答が0



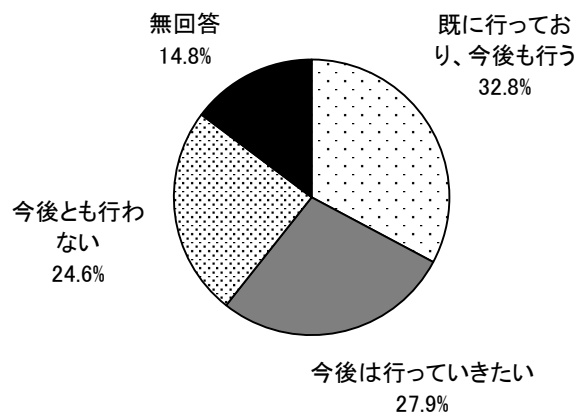
環境負荷の低い原料・製品の採用



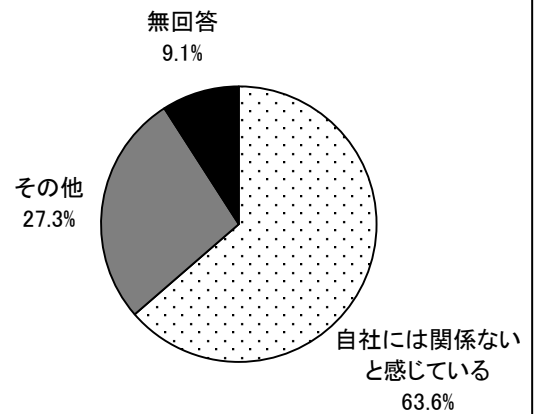
環境負荷の低い原料・製品の採用
を行わない理由



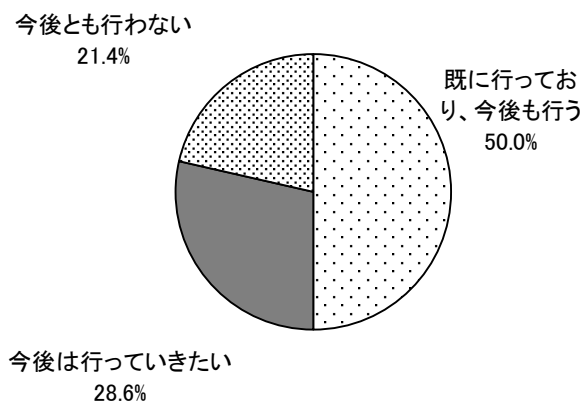
処理・リサイクルの容易性を考慮した
製品の製造・販売



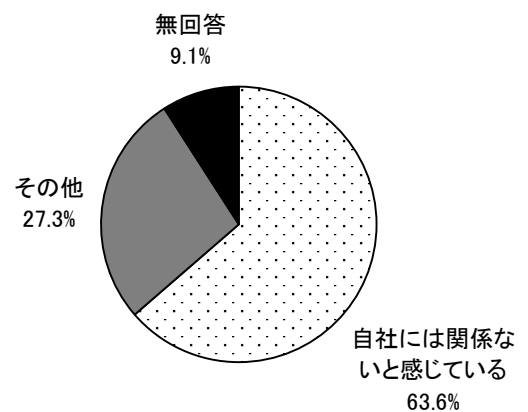
処理・リサイクルの容易性を考慮した
製品の製造・販売を行わない理由



食品廃棄物の減量
(食料品の取扱店のみ)

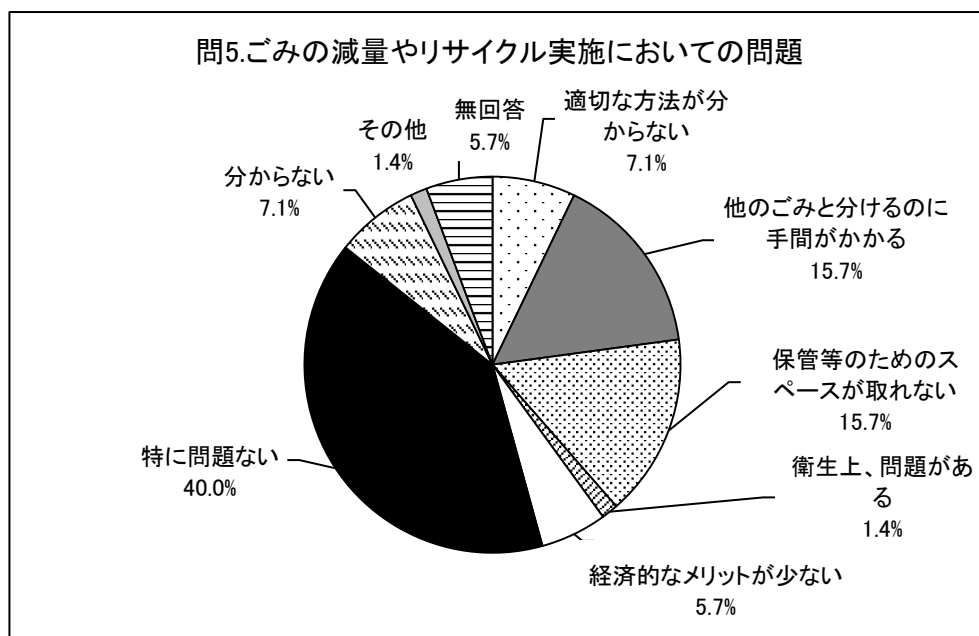


食品廃棄物の減量を行わない理由
(食料品の取扱店のみ)



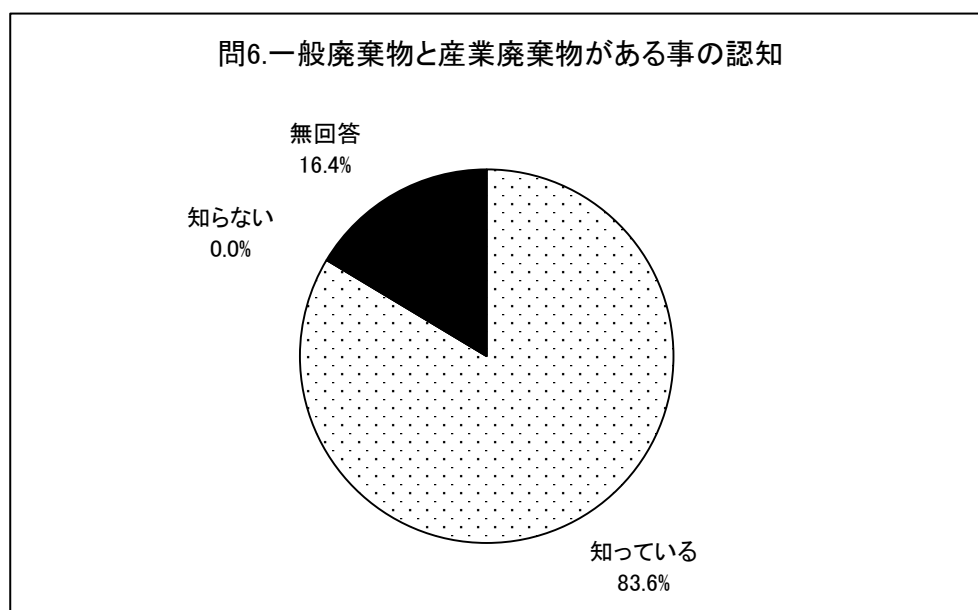
問5 ごみの減量やリサイクルを行う上での問題点

「特に問題ない」40.0%が最も多く、次いで「他のごみと分けるのに手間がかかる」15.7%と「保管のためのスペースが取れない」15.7%が同率で多かった。問題点として考えられている部分に注視すると、分ける手間、スペース、衛生的な問題を合わせて 32.8%であり、物理的な問題が最も多いことがうかがえる。



問6 一般廃棄物と産業廃棄物があることの認知

「知っている」83.6%、「知らない」0.0%の結果となり、8割以上の事業者が認知しているという結果となった。

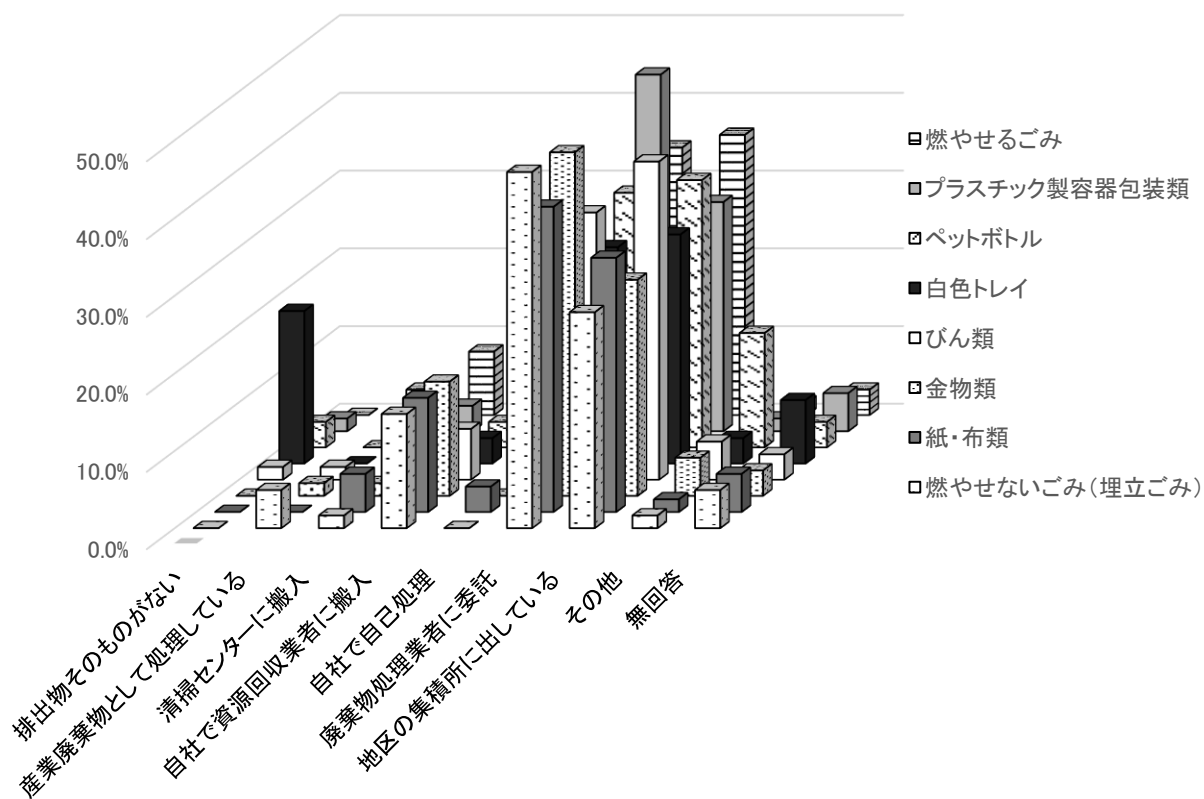


問7 廃棄物の主な処理方法

全体的に見て、「廃棄物処理業者に委託」平均 38.1%と「地域の集積所に出している」平均 32.4%が圧倒的に多い結果となった。他の回答率はほとんどが1割未満であり、一部「自社で資源回収業者に搬入」するなどしている。また、「白色トレイ」のみ、「排出物そのものがない」という回答が多かった。

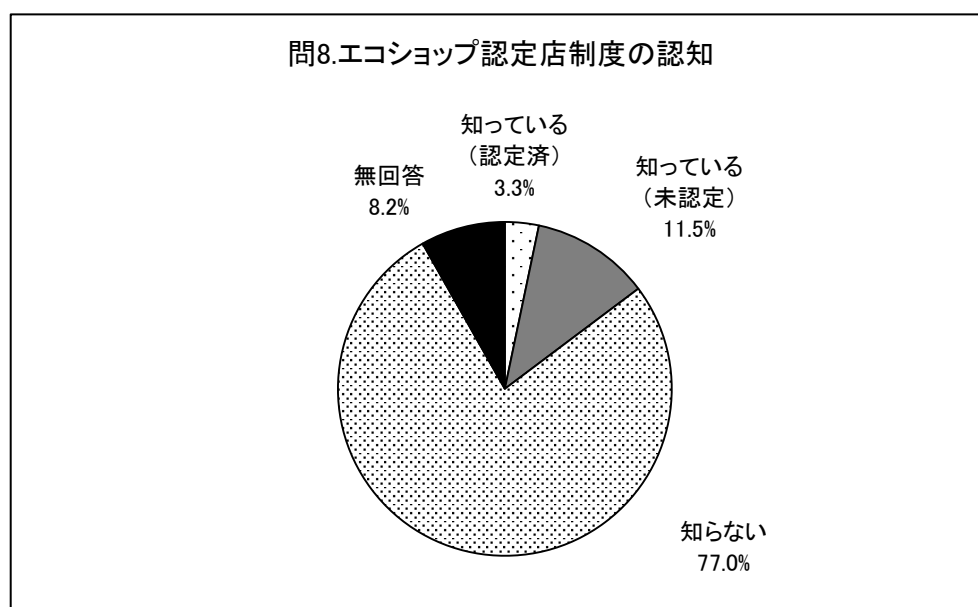
	調査数	排出物 そのもの がない	産業廃棄物 として 処理 している	清掃 センター に 搬入	自社で 資源 回収	自社で 自己 処理	廃棄物 処理 業者 に 委託	地区の 集積 所に 出して いる	その他	無 回 答
燃やせるごみ	61 11.5%	0 0.0%	2 3.3%	5 8.2%	5 8.2%	2 3.3%	21 34.4%	22 36.1%	1 1.6%	2 3.3%
プラスチック製容器包装類	61 6.6%	1 1.6%	1 1.6%	2 3.3%	5 8.2%	1 1.6%	28 45.9%	18 29.5%	1 1.6%	3 4.9%
ペットボトル	61 4.9%	2 3.3%	0 0.0%	1 1.6%	2 3.3%	1 1.6%	20 32.8%	21 34.4%	9 14.8%	2 3.3%
白色トレイ	61 21.3%	12 19.7%	0 0.0%	1 1.6%	2 3.3%	1 1.6%	17 27.9%	18 29.5%	2 3.3%	5 8.2%
びん類	61 4.9%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.6%	4 6.6%	0 0.0%	21 34.4%	25 41.0%	3 4.9%	2 3.3%
金物類	61 3.3%	0 0.0%	1 1.6%	1 1.6%	9 14.8%	0 0.0%	27 44.3%	17 27.9%	3 4.9%	2 3.3%
紙・布類	61 4.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.9%	9 14.8%	2 3.3%	24 39.3%	20 32.8%	1 1.6%	3 4.9%
燃やせないごみ(埋立ごみ)	61 6.6%	0 0.0%	3 4.9%	1 1.6%	9 14.8%	0 0.0%	28 45.9%	17 27.9%	1 1.6%	3 4.9%

問7. 廃棄物の主な処理方法



問8 エコショップ認定店制度の認知

「知らない」77.0%が圧倒的に多く、認知度は4人に1人程という結果となった。「知っている（認定済）」3.3%であり、現状全体的に見ても認定店は非常に少ない事がうかがえる。また、「知っている（未認定）」11.5%の結果より、認知されている中でも認定を受ける事業所はおよそ5分の1程度であり、認知度の低さを除いて見ても認定率は高いとは言い難い現状である事がうかがえる。





第2次糸魚川市一般廃棄物処理基本計画

令和2年3月

糸魚川市 市民部 環境生活課

〒941-8501 新潟県糸魚川市一の宮 1-2-5

TEL. 025-552-1511

FAX. 025-552-8250

E-mail/ kankyo@city.itoigawa.lg.jp